

平成 21 年度

平成 22 年度

業務年報／業務計画

(第 54 号)



八戸市農業交流研修センター

表紙写真解説～夏秋いちご 「サマーレビー」～

いちごは、国内の端境期にあたる 6～11 月にかけては、アメリカなどから年間約 4,000t が輸入され、ケーキ用などに使われています。

製菓業界などにおいては、安全・安心などの観点から国産いちごを使用したいという意向が強まっているほか、大手量販店でも夏場の生食用として販売を検討しているところではあります。

国産の夏秋いちごの需要は、さらに高まると予想されており、当センターにおいても、寒冷地の冷涼な気候を活用し、夏秋期に安定的に生産できるよう各種栽培調査に取り組んでいます。

目次

第1 施設の概要及び機構	1
第2 業務報告	
2-1 気象	3
2-2 調査成績（施設野菜）	
No. 1 いちごの促成栽培調査（継続 H18～22）	6
No. 2 いちごの普通促成栽培調査（継続 H18～22）	8
No. 3 いちごの半促成栽培における品種比較調査（継続 H17～22）	10
No. 4 高設バットによるいちごの夏秋どり栽培調査（継続 H17～21）	12
No. 5 きゅうりの半促成栽培における品種比較調査（継続 H15～21）	14
No. 6 きゅうりの抑制栽培における品種比較調査（継続 H15～21）	16
No. 7 冬期間の施設利用によるこまつなの品種比較調査（継続 H15～21）	18
No. 8 トマトの半促成栽培における品種比較調査（継続 H20～21）	20
No. 9 トマトの夏秋栽培における品種比較調査（継続 H18～21）	23
No.10 トマトの抑制栽培における品種比較調査（継続 H18～21）	26
No.11 ミニトマトの半促成栽培における品種比較調査（継続 H20～21）	29
No.12 ミニトマトの夏秋栽培における品種比較調査（継続 H19～22）	32
No.13 ミニトマトの抑制栽培における品種比較調査（継続 H14～22）	35
2-3 調査成績（露地野菜）	
No. 1 ねぎの品種比較調査（継続 H14～21）	38
No. 2 養液土耕によるピーマンの品種比較調査（継続 H14～21）	42
No. 3 ながいも栽培における生分解性ネット調査（継続 H16～21）	45
No. 4 ながいものマルチ栽培に関する調査（継続 H19～21）	46
No. 5 ながいもの摘心位置による品質・収量調査（継続 H19～21）	48
No. 6 ながいもの元肥一発施肥による調査（継続 H17～21）	50
No. 7 にんにくの品種・種子重量別収量調査（継続 H18～22）	52
No. 8 ながいもの品種比較調査（継続 H18～22）	55
No. 9 ヤマノイモ新系統委託栽培調査（継続 H19～21）	58
No.10 ながいも年子の違いによる内部品質調査（新規 H21～23）	62
2-4 調査成績（花き）	
No. 1 エラータム系デルフィニウムの周年栽培調査（継続 H20～21）	64
No. 2 アルストロメリアの新品種比較調査（継続 H20～22）	67
No. 3 秋輪菊の栽培調査（季咲き）（継続 H20～22）	69
No. 4 秋菊の栽培調査（11月出荷）（継続 H20～22）	71
No. 5 小輪アスターの輪作栽培調査（9月出荷）（継続 H19～21）	73
No. 6 ハボタン(切花)の栽培調査（継続 H20～22）	77
No. 7 トルコギキョウの品種比較調査（8月出荷）（継続 H7～26）	79
No. 8 トルコギキョウの品種比較調査（9月出荷）（継続 H12～26）	83
2-5 土壌分析	86
2-6 植物組織培養	90
2-7 市民農園設置事業	90
2-8 農業体験学習	91
2-9 農業講座開催実績	91
2-10 施設利用実績	92

第3 業務計画

3-1 調査計画（施設野菜）

No. 1 いちごの促成栽培調査（継続 H18～22）	93
No. 2 いちごの普通促成栽培調査（継続 H18～22）	94
No. 3 いちごの半促成栽培における品種比較調査（継続 H17～22）	95
No. 4 夏秋どりいちごの品種比較調査（新規 H22～24）	96
No. 5 夏秋どりいちごの栽培管理別比較調査（新規 H22～24）	97
No. 6 きゅうりの半促成栽培における品種比較調査（新規 H22～24）	98
No. 7 きゅうりの抑制栽培における品種比較調査（新規 H22～24）	98
No. 8 冬期間の施設利用によるこまつなの品種比較調査（新規 H22～24）	99
No. 9 トマトの促成栽培における品種比較調査（新規 H22～24）	99
No.10 トマトの夏秋栽培における品種比較調査（新規 H22～24）	100
No.11 トマトの抑制栽培における品種比較調査（新規 H22～24）	100
No.12 ミニトマトの促成栽培における品種比較調査（新規 H22～24）	101
No.13 ミニトマトの夏秋栽培における品種比較調査（継続 H19～22）	101
No.14 ミニトマトの抑制栽培における品種比較調査（継続 H14～22）	102

3-2 調査計画（露地野菜）

No. 1 ねぎの品種比較調査（新規 H22～24）	103
No. 2 養液土耕によるピーマンの品種比較調査（新規 H22～24）	103
No. 3 ながいも追肥省略型肥料における施肥効果の調査（新規 H22～24）	104
No. 4 ながいも年子の違いによる内部品質調査（継続 H21～23）	105
No. 5 ながいもの品種比較調査（継続 H18～22）	105
No. 6 にんにくの品種・種子重量別収量調査（継続 H18～22）	106

3-3 調査計画（花き）

No. 1 エラータム系デルフィニウムの周年栽培調査（新規 H22～24）	107
No. 2 アルストロメリアの新品種比較調査（継続 H20～22）	108
No. 3 秋輪菊の栽培調査（季咲き）（継続 H20～22）	109
No. 4 秋菊の栽培調査（11月出荷）（継続 H20～22）	110
No. 5 ハボタン（切花）の栽培調査（継続 H20～22）	111
No. 6 トルコギキョウの品種比較調査（8月出荷）（継続 H7～26）	112
No. 7 トルコギキョウの品種比較調査（9月出荷）（継続 H12～26）	113

3-4 土壌分析	114
----------	-----

3-5 植物組織培養	115
------------	-----

3-6 市民農園設置事業	115
--------------	-----

3-7 農業体験学習	115
------------	-----

3-8 栽培展示計画表	116
-------------	-----

第1 施設の概要及び機構

目的

八戸市農業交流研修センターは、農業振興への先進的な役割を担う技術拠点施設として、技術の高度化・多様化等に対応するため、新技術の普及や地域に密着した産地づくり等に資するとともに、自然に親しみ潤いのある市民生活を推進するため市民農園等を併設し、農業を体験する機会を市民に提供しながら、農業生産の仕組みや農業の果たしている役割など農業知識の普及啓発を図ることを目的としています。

事業の概要

- 栽培技術指導
 - 施設・露地野菜や花き及び地域特産作物の栽培調査及び技術指導
 - 新しい作型・作物・品種・資材の比較調査及び普及指導
 - 植物組織培養によるウイルスフリー苗の育成及び調査
 - 土壌分析及び土壌改良指導
 - 農業講座、野菜・花き現地検討会の開催や農産物の調理実習の実施
- 市民農園設置と利用者への栽培指導や農作業体験学習、家庭菜園栽培講習会の開催

組織図及び職員数（平成22年度）

組織図及び職員数 <7名>

場長	主幹	庶務担当・土壌分析担当	2名
	(研修業務 GL)	施設野菜	1名
		露地野菜・花き・植物組織培養・市民農園担当	2名

施設の概要

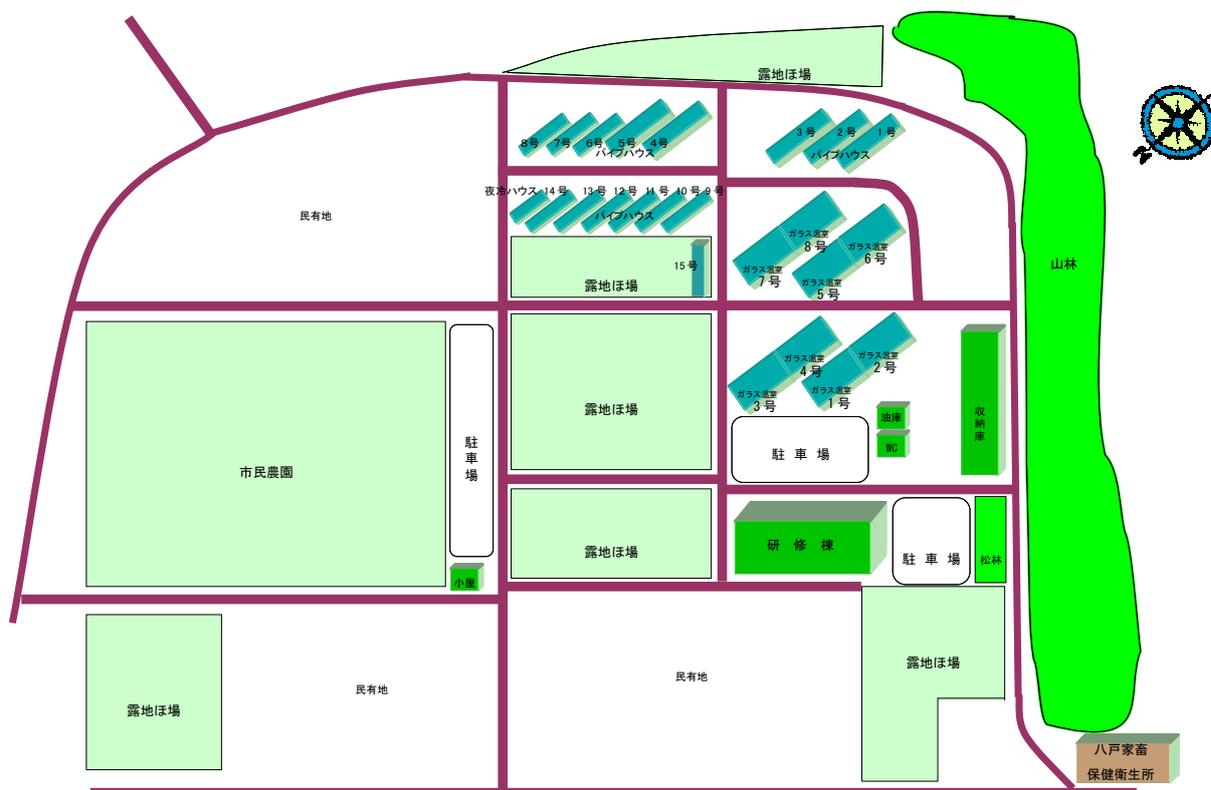
土地利用区分

総面積	115,334 m ²
管理施設用地	
建物等	1,471
駐車場・通路等	5,958
ほ場	
施設	14,842
ガラス温室	
パイプハウス	
露地	24,235
市民農園	18,237
山林	46,075
原野他	4,516

主要施設

研修棟<鉄骨造平家建>	1棟	713 m ²
多目的研修室		
調理実習室		
会議室		
土づくり相談室		
バイオ体験室		
ガラス温室(鉄骨造)	4棟(8室)	1,498 m ²
パイプハウス	15棟	1,927 m ²
収納庫<鉄骨造平家建>	1棟	450 m ²
屋外トイレ	1棟	28 m ²
油庫	1棟	10 m ²
農業用水施設	1式	
気象観測施設	1式	

場内案内図



沿革

- 昭和 30.5 青森県農事試験場南部支場委託蔬菜展示農場として三戸郡大館村（新井田常光田地区）に発足
- 昭和 32.4 三戸郡大館村に移管し、大館村蔬菜展示農場に改称
- 昭和 33.9 合併により八戸市立そ菜展示農場に改称
- 昭和 36.1 八戸市農村青年研修所を併設
- 昭和 36.4 八戸市立園芸指導農場に改称
- 昭和 45.1 十日市天摩地区に移転し、八戸市農業センターに改組
- 昭和 57.4 八戸市都市緑化植物公園（現八戸公園）開設により、尻内町毛合清水地内に移転し、八戸市農業研修センターに改称
- 昭和 63.4 花き（切花）部門・植物組織培養（バイテク）設置
- 平成 2.4 市民農園開設
- 平成 12.1 高規格道路等建設計画により現在地に移転し、八戸市農業交流研修センターに改称

業務報告

平成 21 年度

場 長	金 谷	弘 毅
研修業務 グループリーダー	大久保	聡 一 郎
技 査	久 保	昌 広
主 事	佐 藤	靖 代
技 師	田 茂	竜 児
技 師	福 田	悠 紀
技 師	菊 谷	武 夫
技 師	兼 田	知 幸

第2 業務報告

2-1 気象

平成21年の平均気温・日照時間・降水量													
月	旬	平均気温 (°C)			日照時間 (h)				降水量 (mm)				
		平年値	21年	差	八戸特別地域気象観測所	平年値	21年	差	八戸特別地域気象観測所	平年値	21年	差	八戸特別地域気象観測所
1	上旬	-1.1	0.3	1.4	1.1	41.5	32.7	-8.8	30.4	14.7	60.5	45.8	75.5
	中旬	-1.7	-1.3	0.5	-0.7	39.7	45.9	6.2	47.9	9.4	12.0	2.6	16.5
	下旬	-2.2	-0.1	2.0	0.4	52.4	44.2	-8.2	43.8	13.6	24.5	10.9	26.5
	月	-1.7	-0.4	1.3	0.3	133.7	122.8	-10.9	122.1	37.7	97.0	59.3	118.5
2	上旬	-1.8	-0.2	1.6	0.3	50.3	51.9	1.6	50.8	11.0	8.9	-2.1	6.0
	中旬	-1.1	-0.4	0.7	0.3	53.1	38.0	-15.1	34.5	11.5	18.0	6.5	13.0
	下旬	-0.1	-0.4	-0.2	0.5	44.4	38.5	-5.9	37.8	11.2	5.0	-6.2	1.5
	月	-1.0	-0.3	0.7	0.4	147.7	128.4	-19.3	123.1	33.7	31.9	-1.8	20.5
3	上旬	0.4	1.7	1.3	2.4	58.4	72.5	14.1	71.2	12.5	6.0	-6.5	5.0
	中旬	1.9	4.9	3.0	5.5	57.5	49.2	-8.3	51.5	15.0	5.5	-9.5	6.0
	下旬	3.8	1.8	-2.0	2.3	69.3	64.9	-4.4	67.1	15.0	19.5	4.5	22.5
	月	2.0	2.8	0.8	3.4	185.1	186.6	1.5	189.8	42.5	31.0	-11.5	33.5
4	上旬	6.2	8.3	2.0	8.8	63.9	77.5	13.6	81.5	17.2	2.5	-14.7	2.5
	中旬	8.0	8.5	0.5	8.7	63.0	71.3	8.3	75.6	21.0	17.5	-3.5	16.5
	下旬	10.2	8.4	-1.8	9.1	69.0	51.8	-17.2	52.1	20.7	99.0	78.4	147.0
	月	8.2	8.4	0.2	8.9	195.9	200.6	4.7	209.2	58.9	119.0	60.2	166.0
5	上旬	11.2	14.7	3.4	14.7	66.3	66.7	0.4	68.2	26.6	0.0	-26.6	0.0
	中旬	13.3	12.7	-0.6	13.1	63.8	72.7	8.9	79.9	20.3	20.5	0.2	17.5
	下旬	14.2	13.7	-0.4	14.0	74.5	46.7	-27.8	50.2	30.0	21.5	-8.5	32.5
	月	12.9	13.7	0.8	14.0	204.6	186.1	-18.5	198.3	76.8	42.0	-34.8	50.0
6	上旬	14.9	14.3	-0.6	14.6	63.7	28.8	-34.9	37.9	17.7	99.5	81.8	122.5
	中旬	16.4	13.5	-2.8	14.0	58.0	18.7	-39.3	24.0	39.0	41.0	2.0	39.5
	下旬	17.3	20.9	3.6	21.2	56.8	72.4	15.6	84.3	34.0	3.0	-31.0	3.5
	月	16.2	16.3	0.1	16.6	178.5	119.9	-58.6	146.2	90.7	143.5	52.8	165.5
7	上旬	18.2	19.0	0.8	19.4	50.9	40.8	-10.1	51.2	53.5	51.5	-2.0	41.5
	中旬	19.4	21.2	1.7	21.8	47.7	53.0	5.3	60.3	46.3	71.0	24.7	68.5
	下旬	21.9	19.2	-2.7	19.4	64.0	26.1	-37.9	31.8	32.3	129.0	96.8	138.0
	月	19.8	19.8	-0.1	20.2	162.6	119.9	-42.7	143.3	132.0	251.5	119.5	248.0
8	上旬	22.3	19.3	-3.0	19.7	63.0	15.0	-48.0	19.8	37.9	25.5	-12.4	28.5
	中旬	21.5	21.8	0.3	22.4	52.3	38.6	-13.7	43.0	38.6	49.5	10.9	56.0
	下旬	21.3	20.1	-1.2	21.0	60.7	43.2	-17.5	44.0	54.3	27.0	-27.3	30.0
	月	21.7	20.4	-1.3	21.0	176.0	96.8	-79.2	106.8	130.7	102.0	-28.7	114.5
9	上旬	20.0	18.5	-1.5	19.2	49.2	55.1	5.9	54.2	55.1	49.0	-6.1	41.0
	中旬	18.4	17.0	-1.4	17.8	48.3	58.6	10.3	57.9	83.5	35.0	-48.5	39.5
	下旬	16.1	16.7	0.6	17.5	52.6	51.7	-0.9	44.4	41.6	6.5	-35.1	6.5
	月	18.2	17.4	-0.8	18.1	150.1	165.4	15.3	156.5	180.3	90.5	-89.8	87.0
10	上旬	14.1	14.2	0.1	14.9	48.8	45.3	-3.5	37.7	45.8	112.0	66.3	121.0
	中旬	12.7	13.6	0.9	14.2	55.7	68.7	13.0	62.6	18.5	4.0	-14.5	4.0
	下旬	10.7	11.5	0.8	12.1	56.9	67.6	10.7	68.7	32.2	26.5	-5.7	19.0
	月	12.5	13.1	0.6	13.7	161.4	181.6	20.2	169.0	96.4	142.5	46.1	144.0
11	上旬	8.6	10.2	1.5	10.6	49.6	42.7	-6.9	45.7	24.4	12.0	-12.4	2.0
	中旬	6.0	5.7	-0.3	6.6	41.0	21.9	-19.1	18.2	22.4	48.5	26.1	10.0
	下旬	4.5	5.0	0.4	5.3	41.3	46.2	4.9	46.6	20.0	4.5	-15.5	5.0
	月	6.4	7.0	0.5	7.5	131.9	110.8	-21.1	110.5	66.8	65.0	-1.8	17.0
12	上旬	2.4	3.5	1.1	4.1	39.0	37.9	-1.1	36.4	16.9	30.0	13.1	34.0
	中旬	0.4	-0.3	-0.7	0.4	38.5	31.3	-7.2	31.7	11.7	5.0	-6.7	4.5
	下旬	-0.0	0.2	0.2	0.9	42.5	41.1	-1.4	40.0	16.7	4.5	-12.2	2.0
	月	0.9	1.1	0.2	1.8	120.1	110.3	-9.8	108.1	45.3	39.5	-5.8	40.5
平成21年		9.7	9.9	0.3	10.5	1,947.6	1,729.2	-218.4	1,782.9	991.7	1,155.4	163.7	1,205.0

※農業交流研修センター気象観測 (斜体数値は気象庁HPより引用)

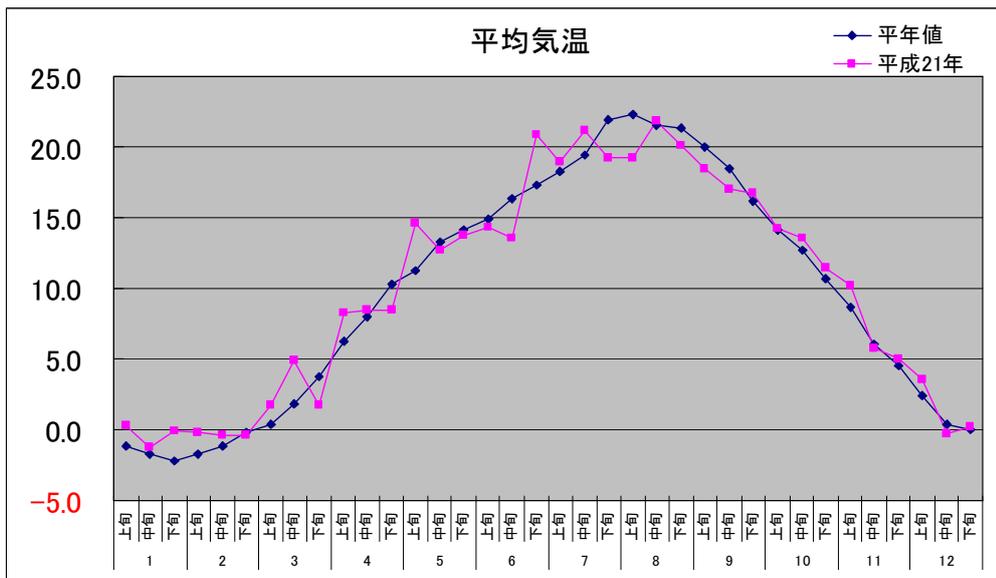
四捨五入により表示端数齟齬あり

平成21年気象表

農業交流研修センター観測

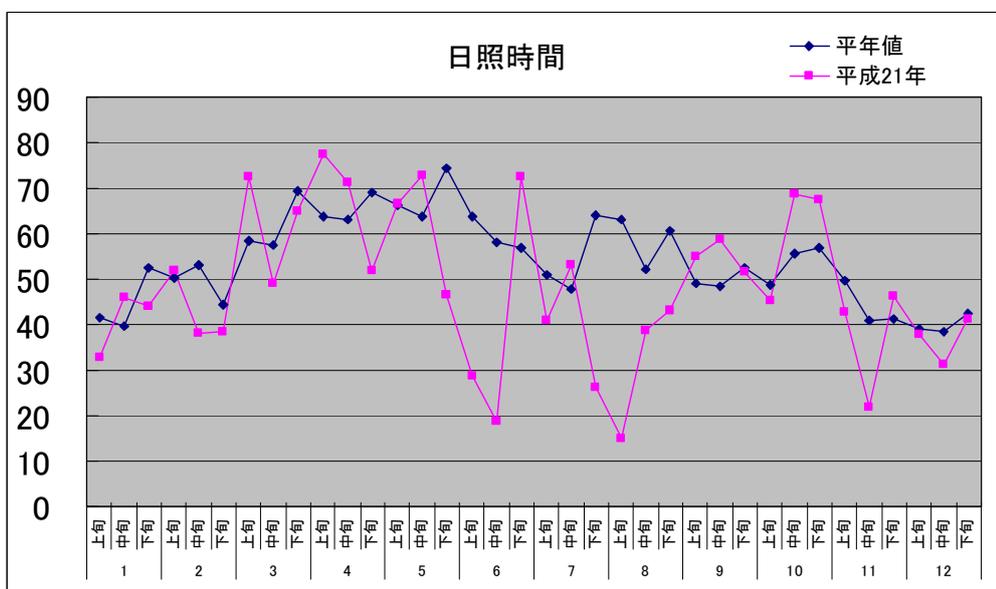
月	旬	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日照時間 (h)	降水量 (mm)	平均湿度 (%)	平均地温(°C)		
								0 c m	10 c m	20 c m
1	上旬	0.3	5.4	-5.8	32.7	60.5	72.8	1.4	2.4	3.4
	中旬	-1.3	7.1	-9.0	45.9	12.0	75.4	0.9	1.7	2.3
	下旬	-0.1	10.3	-8.7	44.2	24.5	77.7	0.6	1.5	2.1
	平均・極値・計	-0.4	10.3	-9.0	122.8	97.0	75.3	1.0	1.9	2.6
2	上旬	-0.2	7.0	-6.2	51.9	8.9	71.6	0.6	1.3	1.9
	中旬	-0.4	11.1	-7.6	38.0	18.0	73.2	0.8	1.3	1.7
	下旬	-0.4	6.1	-7.2	38.5	5.0	66.3	0.2	0.9	1.4
	平均・極値・計	-0.3	11.1	-7.6	128.4	31.9	70.4	0.5	1.2	1.7
3	上旬	1.7	11.6	-6.0	72.5	6.0	62.9	0.7	1.0	1.4
	中旬	4.9	18.9	-4.5	49.2	5.5	66.2	3.7	3.4	3.1
	下旬	1.8	14.5	-4.9	64.9	19.5	69.6	3.4	4.2	4.4
	平均・極値・計	2.8	18.9	-6.0	186.6	31.0	66.2	2.6	2.9	3.0
4	上旬	8.3	21.8	-2.9	77.5	2.5	57.4	6.5	5.8	5.4
	中旬	8.5	22.4	-1.8	71.3	17.5	67.8	8.7	8.3	7.8
	下旬	8.4	22.1	0.0	51.8	99.0	73.1	8.3	8.5	8.4
	平均・極値・計	8.4	22.4	-2.9	200.6	119.0	66.1	7.9	7.6	7.2
5	上旬	14.7	25.8	7.6	66.7	0.0	66.6	12.6	11.7	10.7
	中旬	12.7	26.1	3.2	72.7	20.5	70.2	12.2	12.4	11.9
	下旬	13.7	25.5	8.7	46.7	21.5	81.8	14.1	14.0	13.4
	平均・極値・計	13.7	26.1	3.2	186.1	42.0	72.9	13.0	12.7	12.0
6	上旬	14.3	25.7	6.8	28.8	99.5	87.1	14.5	14.4	13.9
	中旬	13.5	24.7	10.1	18.7	41.0	93.3	15.6	15.7	15.3
	下旬	20.9	32.1	13.7	72.4	3.0	73.7	19.2	18.8	17.7
	平均・極値・計	16.3	32.1	6.8	119.9	143.5	84.7	16.4	16.3	15.7
7	上旬	19.0	27.0	12.7	40.8	51.5	87.2	19.7	19.7	19.0
	中旬	21.2	27.6	16.3	53.0	71.0	82.5	21.1	21.2	20.4
	下旬	19.2	29.2	14.1	26.1	129.0	95.4	21.2	21.5	21.1
	平均・極値・計	19.8	29.2	12.7	119.9	251.5	88.3	20.7	20.8	20.2
8	上旬	19.3	25.3	15.7	15.0	25.5	96.3	21.5	21.8	21.4
	中旬	21.8	28.9	17.8	38.6	49.5	88.6	22.8	23.1	22.5
	下旬	20.1	29.1	11.9	43.2	27.0	78.0	21.4	22.1	22.0
	平均・極値・計	20.4	29.1	11.9	96.8	102.0	87.7	21.9	22.3	22.0
9	上旬	18.5	25.1	11.2	55.1	49.0	84.6	19.8	20.4	20.4
	中旬	17.0	24.9	10.2	58.6	35.0	80.8	18.6	19.3	19.4
	下旬	16.7	26.7	8.8	51.7	6.5	80.4	18.0	18.6	18.7
	平均・極値・計	17.4	26.7	8.8	165.4	90.5	81.9	18.8	19.4	19.5
10	上旬	14.2	22.6	5.8	45.3	112.0	82.6	15.6	16.4	16.9
	中旬	13.6	21.5	5.3	68.7	4.0	71.4	13.7	14.3	14.8
	下旬	11.5	19.7	1.8	67.6	26.5	73.3	12.6	13.3	13.9
	平均・極値・計	13.1	22.6	1.8	181.6	142.5	75.8	14.0	14.7	15.2
11	上旬	10.2	20.4	-1.7	42.7	12.0	78.5	10.9	11.5	12.1
	中旬	5.7	16.3	-0.7	21.9	48.5	81.2	8.8	9.7	10.6
	下旬	5.0	13.0	-0.5	46.2	4.5	75.6	6.5	7.2	8.0
	平均・極値・計	7.0	20.4	-1.7	110.8	65.0	78.4	8.7	9.4	10.2
12	上旬	3.5	10.7	-3.2	37.9	30.0	75.1	5.1	5.9	6.7
	中旬	-0.3	11.5	-6.7	31.3	5.0	71.8	2.8	3.8	4.9
	下旬	0.2	6.7	-6.2	41.1	4.5	71.9	1.3	1.9	3.0
	平均・極値・計	1.1	11.5	-6.7	110.3	39.5	72.9	3.1	3.9	4.9
年平均・極値・計		9.9	32.1	-9.0	1,729.2	1,155.4	76.7	10.7	11.1	11.2

平成 21 年気象図 (八戸市農業交流研修センター観測)



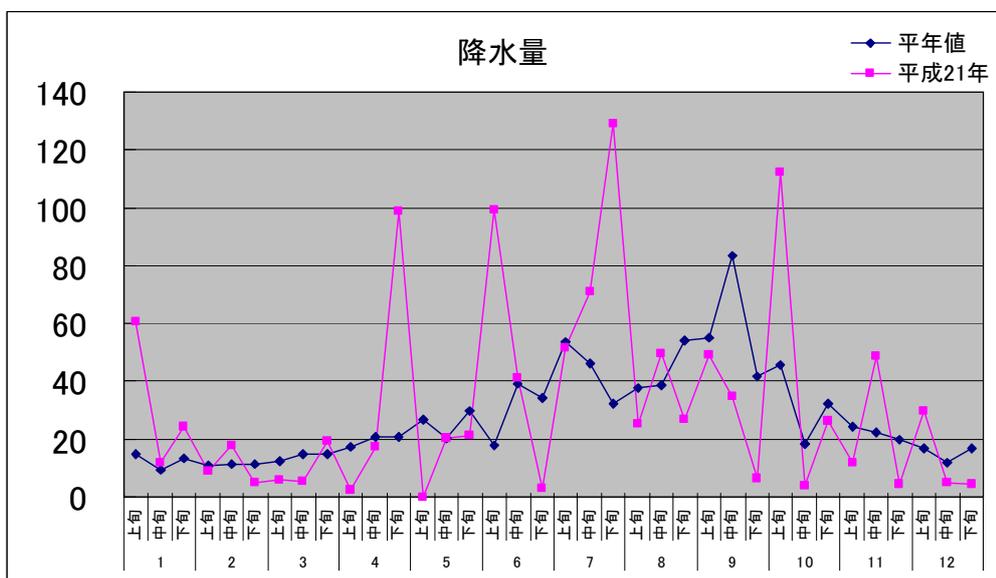
平均気温の比較では、高いのは1月 (+1.3℃)。低いのは、8月 (-1.3℃) である。

年平均気温は 9.9℃で、平年より 0.3℃高い。



日照時間の比較では、低いのは 6月 (-58.6時間)、7月 (-42.7時間)、8月 (-79.2時間)。

年間日照時間は、1,729.2時間であり、平年よりも-218.4時間であり、短い。



降水量の比較では、平年より多いのは7月 (+119.5mm)。

少ないのは 9月 (-89.8mm)。

年間降水量は 1,155.4mmであり、平年よりも 163.7mm多い。

2-2 調査成績（施設野菜）

施設野菜の部 No.1																									
調 査 名	いちごの促成栽培調査（平成 18 年度～平成 22 年度）																								
目 的	いちご促成栽培について調査し、栽培上の資料とする。																								
供 用 施 設	パイプハウス 14 号 (99 m ² : 約 30 坪)																								
調査区の構成	1 調査区 4 区 (1 品種 1 区制 10 株) 2 供試品種 2 品種 (1) とちおとめ (2) さちのか 3 栽植距離 (1) 15 cm (2) 18 cm																								
耕 種 概 要	1 栽培方法 養液土耕栽培 2 ポット受期 平成 20 年 7 月 3 日～ 3 夜冷処理期間 平成 20 年 8 月 11 日～9 月 9 日 4 夜冷処理日数 30 日 5 夜冷処理方法 短日処理 8 時間日長 (16 時 30 分～8 時 30 分遮光) 低温処理 13～15℃ (16 時 30 分～8 時 30 分) 6 育苗日数 71 日 7 定植年月日 平成 20 年 9 月 11 日 8 栽植距離 畦幅 110 cm×株間 15・18 cm×2 条・千鳥植え 9 定植株数 848 株/棟 (株間 15 cm)、704 株/棟 (株間 18 cm) 10 施肥量 (パイプハウス 1 棟 : 99 m ²)																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">資材名</th> <th style="width: 20%;">施肥量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥 (バーク堆肥)</td> <td style="text-align: center;">200 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td style="text-align: center;">15 kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>LP コート S100</td> <td style="text-align: center;">2 kg</td> <td>N : 40</td> </tr> <tr> <td>硫酸加里</td> <td style="text-align: center;">11 kg</td> <td>K : 50</td> </tr> <tr> <td>ウォーターシリカ</td> <td style="text-align: center;">10 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マルチサポート 1 号</td> <td style="text-align: center;">14 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイクド 40</td> <td style="text-align: center;">12.5 kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	資材名	施肥量	摘 要	堆肥 (バーク堆肥)	200 kg		ハイフミンデルマ	15 kg	微生物資材	LP コート S100	2 kg	N : 40	硫酸加里	11 kg	K : 50	ウォーターシリカ	10 kg		マルチサポート 1 号	14 kg		ハイクド 40	12.5 kg	
	資材名	施肥量	摘 要																						
	堆肥 (バーク堆肥)	200 kg																							
	ハイフミンデルマ	15 kg	微生物資材																						
	LP コート S100	2 kg	N : 40																						
	硫酸加里	11 kg	K : 50																						
	ウォーターシリカ	10 kg																							
	マルチサポート 1 号	14 kg																							
	ハイクド 40	12.5 kg																							
	土壌溶液 EC 濃度 0.5～1.0 (生育ステージによる) 養液土耕肥料 (大塚化学株) 使用による 平成 20 年 9 月 11 日～平成 20 年 12 月 2 日 : 養液土耕 5 号 平成 20 年 12 月 3 日～平成 21 年 6 月 22 日 : 養液土耕 6 号 N : P : K = 4.17 : 3.43 : 5.18 (kg/99 m ²)																								
	11 収穫期間	平成 20 年 12 月 26 日～平成 21 年 6 月 22 日																							
	12 保温・加温	平成 20 年 10 月 27 日～10℃設定、 内カーテン、温風暖房機による																							
	13 薬剤散布	37 回 (成分回数) オンシツコナジラミ対策として ラノーテープ剤を畦毎 1 本、作物に触れない株上の 位置に設置した。																							
結果の概要	<p>病害虫については、生育初期からハダニ類が発生したため、薬剤散布回数が多くなってしまった。その他の病害虫については予防に努めたため、特に問題はなかった。</p> <p>生育状況は、草丈は「さちのか」が優り、次いで「とちおとめ」の傾向であった。</p> <p>品種別収量は、個数、10a 当たり換算収量ともに「とちおとめ」が優っていた。株間別収量は、10a 当り換算収量で「株間 15 cm」が「株間 18 cm」を上回った。これらの結果から、本年の調査では、品種では「とちおとめ」が、株間比較調査では「株間 15 cm」が良い成績であった。</p> <p>これらの結果を踏まえ、次年度も引き続き調査を実施したい。</p>																								

表1 生育調査（調査月日：平成20年12月26日）

調査区名		草丈	展開葉数	クラウンの太さ
品種名	株間	cm	枚	mm
とちおとめ	15cm	11.0	7.2	14.1
とちおとめ	18cm	10.2	7.8	13.0
さちのか	15cm	12.3	7.0	12.9
さちのか	18cm	12.0	6.7	14.5

表2 品種別収量調査（10株当たり）

（単位：g, 個）

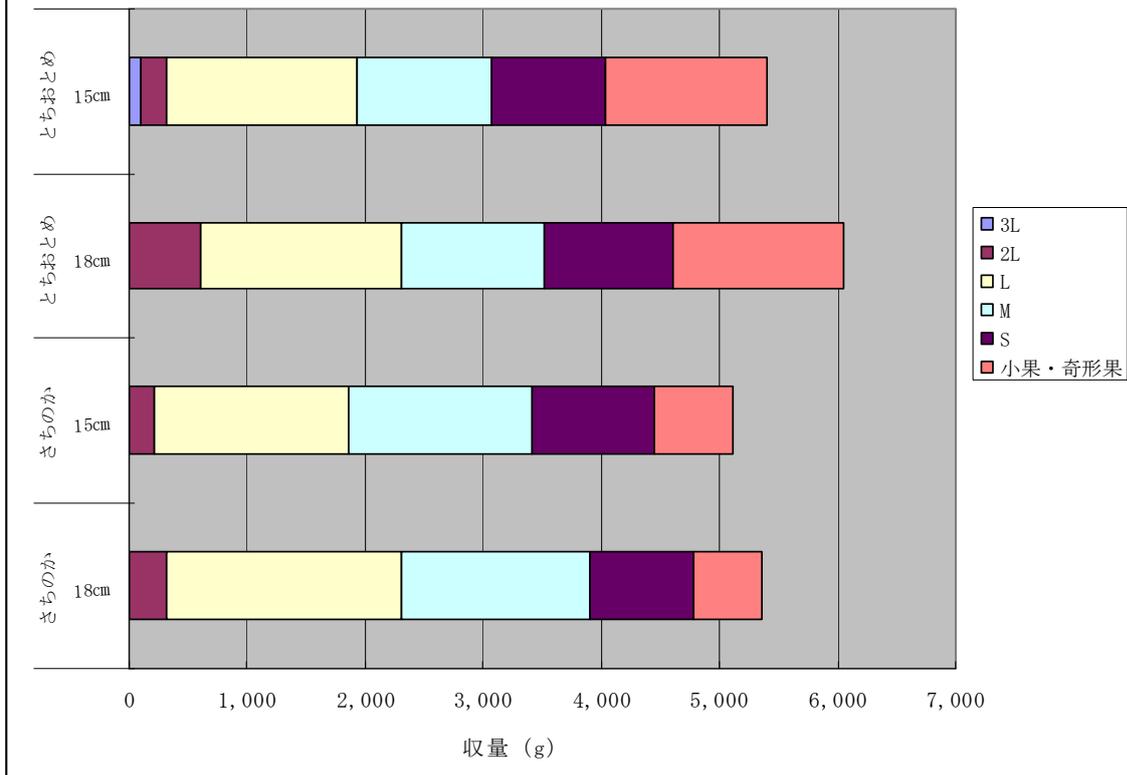
調査区名		3L		2L		L		M		S	
品種名	株間	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量
とちおとめ	15cm	3	108	8	215	94	1,603	92	1,137	110	968
とちおとめ	18cm	0	0	24	610	94	1,696	98	1,206	124	1,090
さちのか	15cm	0	0	8	218	88	1,636	127	1,555	122	1,046
さちのか	18cm	0	0	12	317	106	1,987	130	1,593	102	880

調査区名		小果・奇形果		合計		等級割合 (%)					
品種名	株間	個数	収量	個数	収量	3L	2L	L	M	S	小果・奇形果
とちおとめ	15cm	186	1,365	493	5,396	0.6	1.6	19.1	18.7	22.3	37.7
とちおとめ	18cm	169	1,454	509	6,056	0.0	4.7	18.5	19.3	24.4	33.2
さちのか	15cm	83	657	428	5,112	0.0	1.9	20.6	29.7	28.5	19.4
さちのか	18cm	90	584	440	5,361	0.0	2.7	24.1	29.5	23.2	20.5

※等級割合については個数ベース

調査区名		平均1果重	1棟当たり換算	10a当たり換算
品種名	株間	(g)	収量 (kg)	収量 (t)
とちおとめ	15cm	10.9	457.6	4.62
とちおとめ	18cm	11.9	426.3	4.31
さちのか	15cm	11.9	433.5	4.38
さちのか	18cm	12.2	377.4	3.81

図1 調査区別収量調査（10株当たり）



施設野菜の部 No.2																									
調査名	いちごの普通促成栽培調査（平成18年度～平成22年度）																								
目的	いちご普通促成栽培について調査し、栽培上の資料とする。																								
供用施設	パイプハウス7号（99㎡：約30坪）																								
調査区の構成	1 調査区 4区（1品種 1区制 10株） 2 供試品種 2品種（1）とちおとめ（2）さちのか 3 栽植距離 （1）15cm（2）18cm																								
耕種概要	1 栽培方法 養液土耕栽培 2 ポット受期 平成20年7月3日～ 3 短日処理期間 平成20年8月11日～9月11日 4 短日処理日数 32日 5 短日処理方法 短日処理 8時間日長（16時30分～8時30分遮光） 6 育苗日数 78日 7 定植年月日 平成20年9月18日 8 栽植距離 畦幅110cm×株間15・18cm×2条・千鳥植え 9 定植株数 848株/棟（株間15cm）、704株/棟（株間18cm） 10 施肥量 （パイプハウス1棟：99㎡） <table border="1" data-bbox="691 801 1409 1111"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>施肥量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>100kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td>15kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>LPコートS100</td> <td>2kg</td> <td>N：40</td> </tr> <tr> <td>硫酸加里</td> <td>19kg</td> <td>K：50</td> </tr> <tr> <td>ウォーターシリカ</td> <td>10kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マルチサポート1号</td> <td>4kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイクド40</td> <td>4kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 土壌溶液EC濃度0.5～1.0（生育ステージによる） 養液土耕肥料（大塚化学㈱）使用による 平成20年9月18日～平成21年1月6日：養液土耕5号 平成21年1月7日～平成21年6月22日：養液土耕6号 N：P：K=3.95：3.5：4.9（kg/99㎡） 11 収穫期間 平成21年1月16日～平成21年6月22日 12 保温・加温 平成20年10月27日～10℃設定 内カーテン、温風暖房機による 13 薬剤散布 37回（成分回数）オンシツコナジラミ対策として ラノーテープ剤を畦毎1本、作物に触れない株上の位置に設置した。	資材名	施肥量	摘要	堆肥（バーク堆肥）	100kg		ハイフミンデルマ	15kg	微生物資材	LPコートS100	2kg	N：40	硫酸加里	19kg	K：50	ウォーターシリカ	10kg		マルチサポート1号	4kg		ハイクド40	4kg	
資材名	施肥量	摘要																							
堆肥（バーク堆肥）	100kg																								
ハイフミンデルマ	15kg	微生物資材																							
LPコートS100	2kg	N：40																							
硫酸加里	19kg	K：50																							
ウォーターシリカ	10kg																								
マルチサポート1号	4kg																								
ハイクド40	4kg																								
結果の概要	<p>病害虫については、生育初期からハダニ類が発生したため、薬剤散布回数が多くなってしまった。その他の病害虫については予防に努めたため、特に問題はなかった。</p> <p>生育状況は、草丈は「さちのか」が優り、次いで「とちおとめ」の傾向であった。</p> <p>品種別収量は、個数、平均1果重、10a当たり換算収量ともに「とちおとめ」が優っていた。</p> <p>株間別収量は、10a当り換算収量で「株間15cm」が「株間18cm」を上回った。</p> <p>これらの結果から、本年の調査では、品種では「とちおとめ」が、株間比較調査では「株間15cm」が良い成績であった。</p> <p>これらの結果を踏まえ、次年度も引き続き調査を実施したい。</p>																								

表1 生育調査（調査月日：平成21年1月16日）

調査区名		草丈	展開葉数	クラウンの太さ
品種名	株間	cm	枚	mm
とちおとめ	15cm	10.0	7.6	15.6
とちおとめ	18cm	10.5	8.2	16.2
さちのか	15cm	10.9	7.9	15.5
さちのか	18cm	11.9	8.0	14.4

表2 品種別収量調査（10株当たり）

（単位：g, 個）

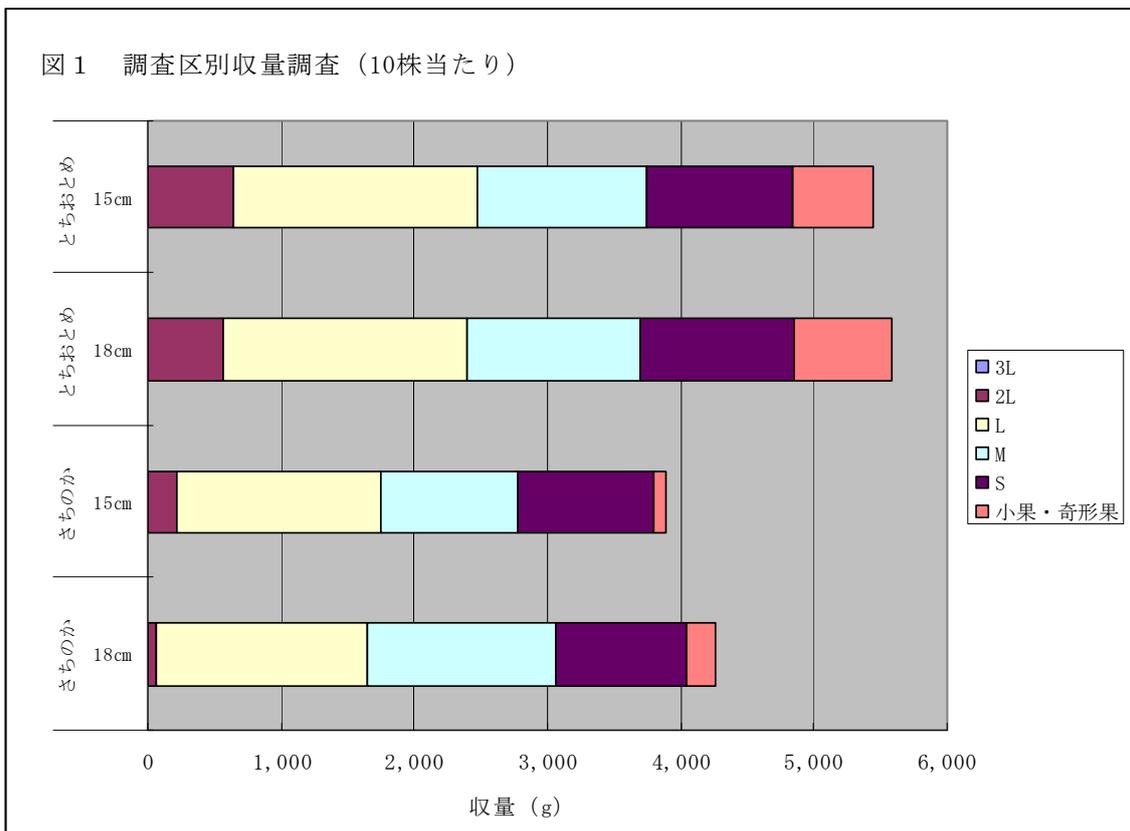
調査区名		3L		2L		L		M		S	
品種名	株間	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量
とちおとめ	15cm	0	0	24	642	99	1,825	100	1,276	124	1,092
とちおとめ	18cm	0	0	20	572	98	1,826	102	1,300	136	1,154
さちのか	15cm	0	0	8	218	86	1,530	84	1,032	118	1,022
さちのか	18cm	0	0	2	64	88	1,586	114	1,414	116	978

調査区名		小果・奇形果		合計		等級割合 (%)					小果・奇形果
品種名	株間	個数	収量	個数	収量	3L	2L	L	M	S	
とちおとめ	15cm	61	609	408	5,444	0.0	5.9	24.3	24.5	30.4	15.0
とちおとめ	18cm	80	740	436	5,592	0.0	4.6	22.5	23.4	31.2	18.3
さちのか	15cm	14	88	310	3,890	0.0	2.6	27.7	27.1	38.1	4.5
さちのか	18cm	30	219	350	4,261	0.0	0.6	25.1	32.6	33.1	8.6

※等級割合については個数ベース

調査区名		平均1果重 (g)	1株当たり換算 収量 (kg)	10a当たり換算 収量 (t)
品種名	株間			
とちおとめ	15cm	13.3	461.7	4.66
とちおとめ	18cm	12.8	393.7	3.98
さちのか	15cm	12.5	329.9	3.33
さちのか	18cm	12.2	300.0	3.03

図1 調査区別収量調査（10株当たり）



施設野菜の部 No.3																												
調査名	いちごの半促成栽培における品種比較調査（平成 17 年度～平成 22 年度）																											
目的	近年、当地域で栽培されている「麗紅」の収量・品質が低下し、それに替わる半促成栽培に適した品種が望まれていることから、品種比較し、栽培上の資料とする。																											
供用施設	パイプハウス 4 号（132 m ² ：約 40 坪）																											
調査区の構成	1 調査区 5 区（1 品種 1 区制 10 株） 2 供試品種 5 品種 (1) さちのか (2) とちおとめ (3) 栃の峰 (4) 紅ほっぺ (5) 麗紅																											
耕種概要	<p>1 栽培方法 養液土耕栽培 2 ポット受期 平成 20 年 7 月 3 日～ 3 定植年月日 平成 20 年 9 月 25 日 4 栽植距離 畦幅 110 cm×株間 15 cm×2 条・千鳥植え 5 定植株数 1,060 株/棟 6 施肥量 (パイプハウス 1 棟：99 m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>施肥量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>200 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td>20 kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>LP コート S100</td> <td>3.5 kg</td> <td>N : 40</td> </tr> <tr> <td>有機アグレット 816 特号</td> <td>6 kg</td> <td>N : P : K=8 : 1 : 6</td> </tr> <tr> <td>硫酸加里</td> <td>9 kg</td> <td>K : 50</td> </tr> <tr> <td>ウォーターシリカ</td> <td>10 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マルチサポート 1 号</td> <td>4 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイクド 40</td> <td>3.5 kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>土壌溶液 EC 濃度 0.5～1.0（生育ステージによる） 養液土耕肥料（大塚化学株）使用による 平成 20 年 9 月 25 日～平成 21 年 6 月 22 日：養液土耕 6 号 N : P : K=4.90 : 2.30 : 4.84 (kg/132 m²)</p> <p>7 保温・加温 平成 20 年 12 月 10 日～10℃設定 内カーテン、トンネル、温風暖房機による</p> <p>8 収穫期間 平成 21 年 2 月 22 日～平成 21 年 6 月 22 日</p> <p>9 薬剤散布 37 回（成分回数）オンシツコナジラミ対策として ラノーテープ剤を畦毎 1 本、作物に触れない株上の位置に設置した。</p>	資材名	施肥量	摘 要	堆肥（バーク堆肥）	200 kg		ハイフミンデルマ	20 kg	微生物資材	LP コート S100	3.5 kg	N : 40	有機アグレット 816 特号	6 kg	N : P : K=8 : 1 : 6	硫酸加里	9 kg	K : 50	ウォーターシリカ	10 kg		マルチサポート 1 号	4 kg		ハイクド 40	3.5 kg	
資材名	施肥量	摘 要																										
堆肥（バーク堆肥）	200 kg																											
ハイフミンデルマ	20 kg	微生物資材																										
LP コート S100	3.5 kg	N : 40																										
有機アグレット 816 特号	6 kg	N : P : K=8 : 1 : 6																										
硫酸加里	9 kg	K : 50																										
ウォーターシリカ	10 kg																											
マルチサポート 1 号	4 kg																											
ハイクド 40	3.5 kg																											
結果の概要	<p>病害虫については、生育初期からハダニ類が発生したため、薬剤散布回数が多くなってしまった。その他の病害虫については予防に努めたため、特に問題はなかった。</p> <p>生育状況は、草丈は「紅ほっぺ」が優り、次いで「さちのか」であった。クラウンの太さは「紅ほっぺ」が優り、次いで「とちおとめ」であった。</p> <p>品種別収量では、平均 1 果重については「とちおとめ」が最も優っており、次いで「紅ほっぺ」「栃の峰」であった。10a 当たり換算収量では「紅ほっぺ」「栃の峰」が優り、次いで「とちおとめ」であった。「さちのか」は 5 品種の中では最も収量が少なかったが、市場評価は高い。</p> <p>これらの結果を踏まえ、次年度も引き続き、当地方の半促成栽培に適した品種比較調査を実施したい。</p>																											

表1 生育調査

品種名	草丈 cm	展開葉数 枚	クラウンの太さ mm	調査年月日 (収穫開始日)
さちのか	19.9	9.1	14.7	平成21年2月22日
とちおとめ	15.9	9.7	15.0	平成21年2月26日
栃の峰	12.6	11.1	14.7	平成21年2月27日
紅ほっぺ	28.6	9.6	15.6	平成21年2月28日
麗紅	14.3	15.5	9.2	平成21年3月2日

表2 品種別収量調査 (10株当たり)

(単位: g, 個)

品種名	3L		2L		L		M		S		小果・奇形果		合計	
	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量
さちのか	11	438	19	546	60	1,101	57	698	51	440	10	70	208	3,293
とちおとめ	4	171	16	452	48	909	45	570	65	572	78	736	256	3,410
栃の峰	30	1,093	27	792	58	1,094	41	497	35	302	23	284	214	4,062
紅ほっぺ	16	648	32	906	73	1,362	33	400	41	365	24	376	219	4,057
麗紅	10	410	24	685	58	1,064	38	473	52	445	26	223	208	3,300

品種名	等級割合 (%)						平均1果重 (g)	1株当たり換 算収量 (g)	1棟当たり 換算収量	10a当たり換 算収量 (t)
	3L	2L	L	M	S	小果・奇形果				
さちのか	5.3	9.1	28.8	27.4	24.5	4.8	15.8	329.3	271.3	2.06
とちおとめ	14.0	12.6	27.1	19.2	16.4	10.7	19.0	341.0	281.0	2.13
栃の峰	7.3	14.6	33.3	15.1	18.7	11.0	18.5	406.2	334.7	2.54
紅ほっぺ	7.3	14.6	33.3	15.1	18.7	11.0	18.5	405.7	334.3	2.53
麗紅	4.8	11.5	27.9	18.3	25.0	12.5	15.9	330.0	271.9	2.06

※等級割合については個数ベース

図1 等級別収量調査 (10株当たり)

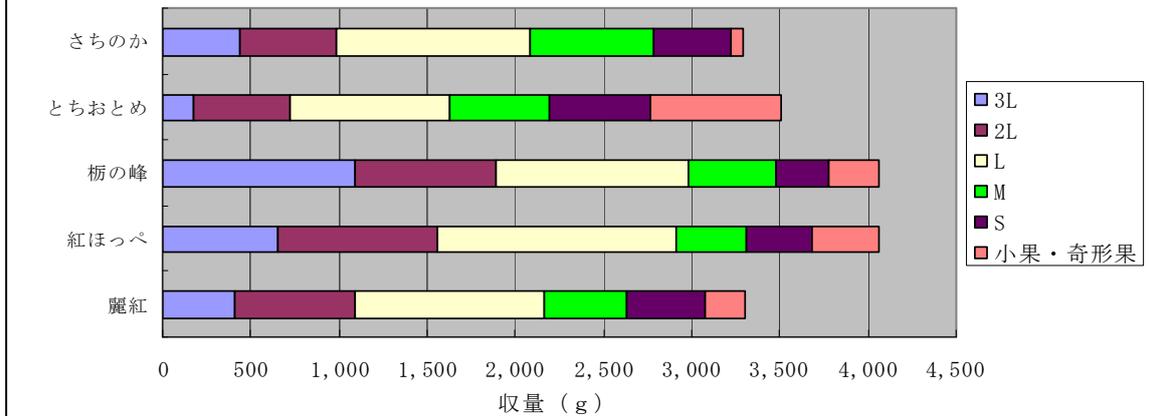
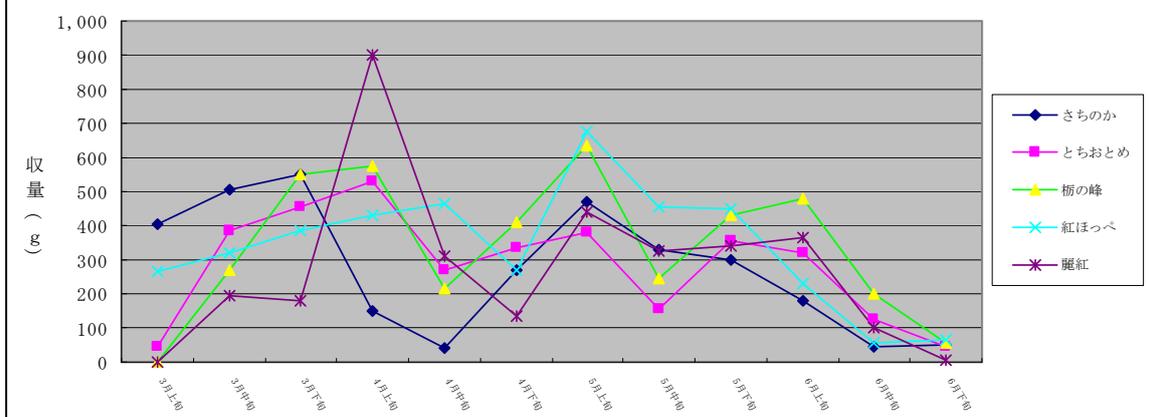


図2 月旬別収量(10株当たり)



施設野菜の部 No.4	
調査名	高設ベットによるいちごの夏秋どり栽培調査（平成17年度～平成21年度）
目的	高設ベットによる夏秋どりいちごの養液土耕栽培について調査し、栽培上の資料とする。
供用施設	ガラス温室1号（165 m ² ：約50坪）
調査区の構成	1 調査区 6区（1品種 1区制 10株） 2 供試品種 1品種（なつあかり） 3 栽植距離 25 cm、30 cm 4 用土 鹿沼入混合土、椰子殻、樹皮繊維
耕種概要	1 栽培方法 高設・養液土耕栽培 2 定植年月日 平成21年5月20日 3 用土量 約100ℓ/株（株間25 cm）、約120ℓ/株（株間30 cm） 4 栽植距離 ベット幅48 cm×株間25・30 cm×2条・千鳥植え 5 定植株数 680株/棟（株間25 cm）、567株/棟（株間30 cm） 6 施肥量（温室1棟：165 m ² ） 土壌溶液EC濃度0.2～1.0（生育ステージによる） 養液土耕肥料（大塚化学㈱）使用による N：P：K=2.22：1.86：3.33（kg/165 m ² ） 7 収穫期間 平成21年7月13日～平成21年11月24日 8 薬剤散布 38回（成分回数）
結果の概要	<p>病害虫については、生育初期からハダニ類やシクラメンホコリダニが多く発生し防除することができなかった。また、盛夏期には、アザミウマ類も多発し、9月以降はうどんこ病も散見された。</p> <p>用土別収量については、「椰子殻」培地が平均1果重、10a当たり換算収量ともに優れていた。</p> <p>株間別収量は、「株間25 cm」が「株間30 cm」を10a当り換算収量で上回っていた。</p> <p>本年度で本調査は終了としたい。</p>

施設野菜の部 No.5																			
調査名	きゅうりの半促成栽培における品種比較調査（平成15年度～平成21年度）																		
目的	当地域におけるきゅうり半促成栽培について品種比較し、栽培上の資料とする。																		
供用施設	パイプハウス6号（99㎡：約30坪）																		
調査区の構成	<p>1 調査区 7区（1品種 1区制 5株）</p> <p>2 供試品種 7品種</p> <p>(1) シャープ1（埼） × ゆうゆう一輝黒（埼）</p> <p>(2) グリーンラックス2（埼） × ゆうゆう一輝黒（埼）</p> <p>(3) ハイグリーン22（埼） × ゆうゆう一輝黒（埼）</p> <p>(4) エクセレント節成2号（埼） × ゆうゆう一輝黒（埼）</p> <p>(5) プロジェクトX（と） × ときわパワーZ2（と）</p> <p>(6) シルフィーパワー2号（久） × 昇竜（久）</p> <p>(7) フリーダムハウス3号（サ） × つやかEX（サ）</p> <p>※（埼）：(株)埼玉原種育成会 （と）：(株)ときわ研究場 （久）：(株)久留米原種育成会 （サ）：(株)サカタのタネ</p>																		
耕種概要	<p>1 栽培方法 養液土耕栽培</p> <p>2 は種月日（穂木） 平成21年2月16日 は種月日（台木） 平成21年2月18日</p> <p>3 接木・移植月日 平成21年2月27日</p> <p>4 定植年月日 平成21年3月24日（育苗日数36日）</p> <p>5 栽植距離 畦幅150cm×株間45cm×2条・千鳥植え（144株/棟）</p> <p>6 仕立方法 1本仕立て 7節まで 側枝除去 8・9節 子づる1節・孫づる1節止め 10節 子づる放任・孫づる1節止め 11節～22節 子づる2節・孫づる1節止め 23節～24節 子づる放任・孫づる1節止め 25節 摘心</p> <p>7 施肥量（パイプハウス1棟：99㎡）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>施肥量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>200kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td>30kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>畑のカルシウム</td> <td>6kg</td> <td>硫酸カルシウム</td> </tr> <tr> <td>くみあいケイ酸加里</td> <td>10kg</td> <td>K：20</td> </tr> <tr> <td>ハイクド40</td> <td>4kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>土壌溶液EC濃度1.0～2.2（生育ステージによる） 養液土耕肥料（大塚化学(株)）使用による 平成21年3月24日～平成21年4月30日：養液土耕5号 平成21年5月1日～平成21年7月13日：養液土耕2号 N：P：K=0.91：0.98：3.57（kg/99㎡）</p> <p>8 収穫期間 平成21年5月1日～平成21年7月13日</p> <p>9 保温・加温 平成21年3月24日～14℃設定 内カーテン、温風暖房機による</p> <p>10 薬剤散布 13回（成分回数）オンシツコナジラミ対策として ラノーテープ剤を畦毎1本、作物に触れない株上の位置に設置した。</p>	資材名	施肥量	摘要	堆肥（バーク堆肥）	200kg		ハイフミンデルマ	30kg	微生物資材	畑のカルシウム	6kg	硫酸カルシウム	くみあいケイ酸加里	10kg	K：20	ハイクド40	4kg	
資材名	施肥量	摘要																	
堆肥（バーク堆肥）	200kg																		
ハイフミンデルマ	30kg	微生物資材																	
畑のカルシウム	6kg	硫酸カルシウム																	
くみあいケイ酸加里	10kg	K：20																	
ハイクド40	4kg																		
結果の概要	<p>病害虫については、べと病、斑点細菌病が発生し、収穫期間が短くなった。また、病害虫に対する品種間の差異は見られなかった。</p> <p>収量本数については、「シャープ1」「グリーンラックス2」「プロジェクトX」「ハイグリーン22」の順であったが、上物本数では、「グリーンラックス2」、「フリーダムハウス3号」、「シャープ1」、「プロジェクトX」の順であった。</p> <p>上物率では「フリーダムハウス3号」、「プロジェクトX」、「エクセレント節成2号」、「ハイグリーン22」の順で高かった。</p> <p>以上の結果から、今回の調査においては「グリーンラックス2」、「シャープ1」「プロジェクトX」が有望と考えられる。</p> <p>次年度からは有望と思われる数品種に絞って品種比較調査を実施したい。</p>																		

表1 生育調査（調査月日：平成21年3月24日・5月1日）

品種名（穂木×台木）	草丈 (cm)	葉数 (枚)	最大葉の大きさ	
			縦径 (cm)	横径 (cm)
シャープ1×ゆうゆう一輝黒	18.8	3.6	12.5	11.2
	124.1	21.4	25.6	24.8
グリーンラックス2×ゆうゆう一輝黒	15.4	3.0	12.5	10.9
	102.1	20.1	24.1	23.3
ハイグリーン22×ゆうゆう一輝黒	18.4	3.4	12.4	10.4
	99.3	19.2	12.4	10.4
エクセルト節成2号×ゆうゆう一輝黒	18.4	3.2	13.3	11.3
	115.9	18.3	27.2	26.2
プロジェクトX×ときわパワーZ2	20.9	4.0	11.7	10.6
	104.6	20.3	24.6	23.7
シルフィーパワー2号×昇竜	17.5	3.4	12.5	11.2
	94.5	19.4	22.3	20.9
フリーダムハウス3号×つやかEX	14.8	3.0	13.4	11.7
	121.8	19.6	27.2	25.6

表2 品種別収量調査（5株当たり）

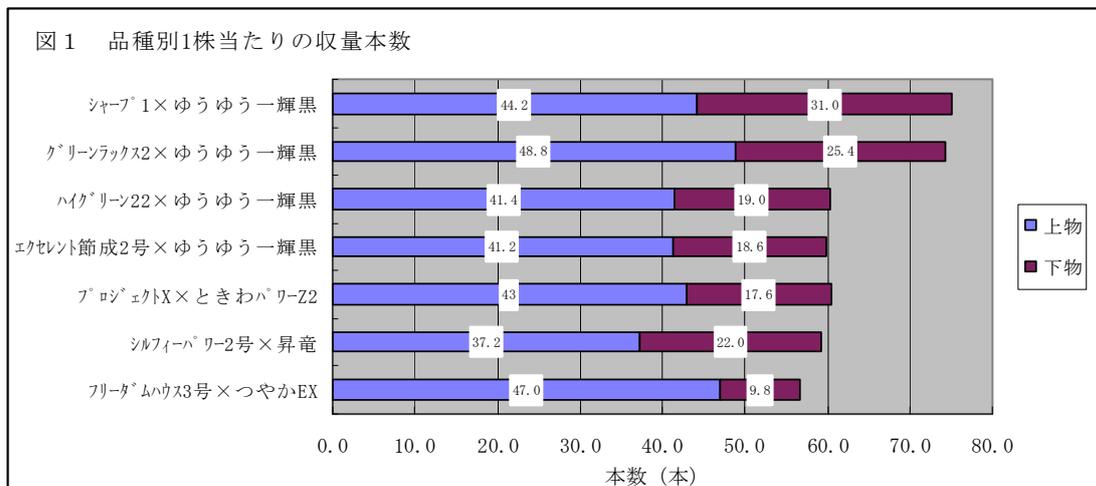
（単位：g，本）

品種名（穂木×台木）	上物		下物		合計		平均1果重	上物率 (%)
	収量	本数	収量	本数	収量	本数		
シャープ1×ゆうゆう一輝黒	21,628	221	13,874	155	35,502	376	94.4	60.9
グリーンラックス2×ゆうゆう一輝黒	22,828	244	11,697	127	34,525	371	93.1	66.1
ハイグリーン22×ゆうゆう一輝黒	17,311	207	7,420	95	24,731	302	81.9	70.0
エクセルト節成2号×ゆうゆう一輝黒	19,985	206	8,246	93	28,231	299	94.4	70.8
プロジェクトX×ときわパワーZ2	21,179	215	8,542	88	29,721	303	98.1	71.3
シルフィーパワー2号×昇竜	16,682	186	9,739	110	26,421	296	89.3	63.1
フリーダムハウス3号×つやかEX	25,682	235	4,772	49	30,454	284	107.2	84.3

※上物率は収量ベース

品種名（穂木×台木）	1株当たり換	10a当たり換
	算収量 (kg)	算収量 (t)
シャープ1×ゆうゆう一輝黒	1,022.5	10.2
グリーンラックス2×ゆうゆう一輝黒	994.3	9.9
ハイグリーン22×ゆうゆう一輝黒	712.3	7.1
エクセルト節成2号×ゆうゆう一輝黒	813.1	8.1
プロジェクトX×ときわパワーZ2	856.0	8.6
シルフィーパワー2号×昇竜	760.9	7.6
フリーダムハウス3号×つやかEX	877.1	8.8

図1 品種別1株当たりの収量本数



施設野菜の部 No.6																			
調査名	きゅうりの抑制栽培における品種比較調査 (平成 15 年度～平成 21 年度)																		
目的	当地域におけるきゅうり抑制栽培について品種比較し、栽培上の資料とする。																		
供用施設	パイプハウス 7 号 (99 m ² : 約 30 坪)																		
調査区の構成	<p>1 調査区 7 区 (1 品種 1 区制 5 株)</p> <p>2 供試品種 7 品種</p> <p>(1) シャープ 1 (埼) × ゆうゆう一輝黒 (埼)</p> <p>(2) エクセレント節成 2 号 (埼) × ゆうゆう一輝黒 (埼)</p> <p>(3) エクセレント節成 353 (埼) × ゆうゆう一輝黒 (埼)</p> <p>(4) プロジェクト X (と) × ときわパワー Z2 (と)</p> <p>(5) フレスコ 100 (久) × 昇竜 (久)</p> <p>(6) セレクト I (久) × 昇竜 (久)</p> <p>(7) フリーダムハウス 3 号 (サ) × つやか EX (サ)</p> <p>※ (埼): ㈱埼玉原種育成会 (と): ㈱ときわ研究場 (久): ㈱久留米原種育成会 (サ): ㈱サカタのタネ</p>																		
耕種概要	<p>1 栽培方法 養液土耕栽培</p> <p>2 は種月日 (穂木) 平成 21 年 7 月 6 日 は種月日 (台木) 平成 21 年 7 月 8 日</p> <p>3 接木・移植月日 平成 21 年 7 月 16 日</p> <p>4 定植年月日 平成 21 年 8 月 3 日 (育苗日数 28 日)</p> <p>5 栽植距離 畦幅 150 cm × 株間 45 cm × 2 条・千鳥植え (144 株/棟)</p> <p>6 仕立方法 1 本仕立て 5 節まで 側枝除去 6・7 節 子づる 1 節・孫づる 1 節止め 8 節 子づる放任・孫づる 1 節止め 9 節～24 節 子づる 1 節・孫づる 1 節止め 25 節 摘心</p> <p>7 施肥量 (パイプハウス 1 棟: 99 m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>施肥量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥 (バーク堆肥)</td> <td>200 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td>30 kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>畑のカルシウム</td> <td>6 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケイ酸加里</td> <td>10 kg</td> <td>K: 20</td> </tr> <tr> <td>ハイクド 40</td> <td>2 kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>土壌溶液 EC 濃度 1.0～2.2 (生育ステージによる) 養液土耕肥料 (大塚化学㈱) 使用による 平成 21 年 8 月 3 日～平成 21 年 8 月 23 日: 養液土耕 5 号 平成 21 年 8 月 24 日～平成 21 年 11 月 16 日: 養液土耕 2 号 N: P: K=0.84: 0.76: 3.47 (kg/99 m²)</p> <p>8 収穫期間 平成 21 年 8 月 24 日～平成 21 年 11 月 16 日</p> <p>9 薬剤散布 29 回 (成分回数) オンシツコナジラミ対策として ラノーテープ剤を畦毎 1 本、作物に触れない株上の位置に設置した。</p>	資材名	施肥量	摘要	堆肥 (バーク堆肥)	200 kg		ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材	畑のカルシウム	6 kg		ケイ酸加里	10 kg	K: 20	ハイクド 40	2 kg	
資材名	施肥量	摘要																	
堆肥 (バーク堆肥)	200 kg																		
ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材																	
畑のカルシウム	6 kg																		
ケイ酸加里	10 kg	K: 20																	
ハイクド 40	2 kg																		
結果の概要	<p>病害虫については、生育初期からアブラムシやべと病が多発したため、薬剤散布回数が多くなった。特に「フリーダムハウス 3 号」でべと病が多く見られた。</p> <p>収量本数については、「エクセレント節成 2 号」、「エクセレント節成 353」、「シャープ 1」の順であり、上物本数についても、「エクセレント節成 2 号」、「エクセレント節成 353」、「シャープ 1」の順であった。</p> <p>以上の結果から、今回の調査においては「エクセレント節成 2 号」、「エクセレント節成 353」「シャープ 1」が有望と考えられる。</p> <p>次年度からは有望と思われる数品種に絞って品種比較調査を実施したい。</p>																		

表1 生育調査（調査月日：平成21年8月3日・8月24日）

品種名（穂木×台木）	草丈 (cm)	葉数 (枚)	最大葉の大きさ	
			縦径 (cm)	横径 (cm)
シャープ1×ゆうゆう一輝黒	26.5	4.7	14.5	13.4
	157.6	23.7	26.0	22.7
エクセレント節成2号×ゆうゆう一輝黒	30.7	4.8	14.0	13.1
	159.8	22.8	28.7	25.5
エクセレント節成353×ゆうゆう一輝黒	28.2	4.5	13.8	12.8
	154.1	22.4	13.8	12.8
プロジェクトX×ときわパーZ2	26.5	4.9	13.9	13.1
	143.5	23.2	26.6	25.4
フレスコ100×昇竜	29.0	4.9	14.1	13.0
	169.6	23.1	27.5	26.7
セレクトI×昇竜	32.3	5.1	14.4	13.6
	167.4	23.6	25.2	23.9
リーダーハウス3号×つやかEX	22.8	4.1	15.8	15.1
	151.7	21.8	25.4	24.4

表2 品種別収量調査（5株当たり）

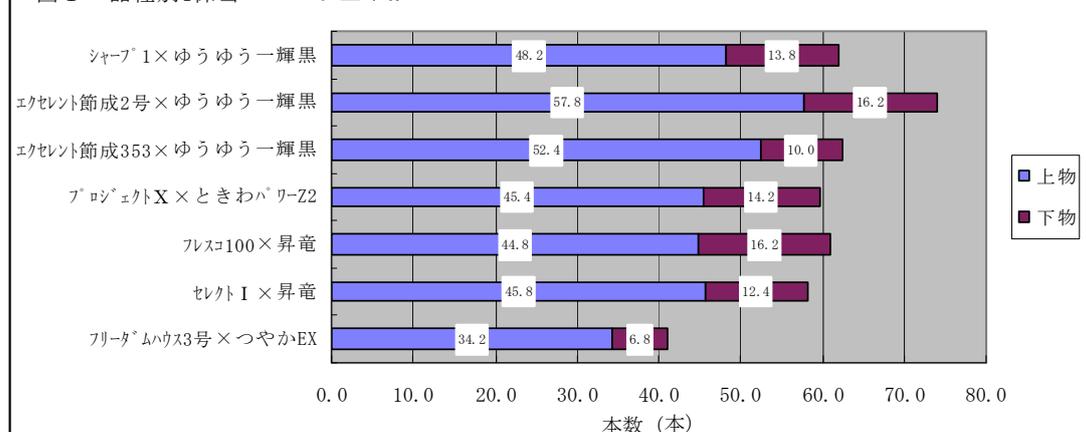
（単位：g，本）

品種名（穂木×台木）	上物		下物		合計		平均1果重 (g)	上物率 (%)
	収量	本数	収量	本数	収量	本数		
シャープ1×ゆうゆう一輝黒	22,885	241	5,937	69	28,822	310	93.0	79.4
エクセレント節成2号×ゆうゆう一輝黒	25,804	289	6,721	81	32,525	370	87.9	79.3
エクセレント節成353×ゆうゆう一輝黒	24,595	262	4,071	50	28,666	312	91.9	85.8
プロジェクトX×ときわパーZ2	21,369	227	6,552	71	27,921	298	93.7	76.5
フレスコ100×昇竜	20,716	224	7,267	81	27,983	305	91.7	74.0
セレクトI×昇竜	21,579	229	5,237	62	26,816	291	92.2	80.5
リーダーハウス3号×つやかEX	18,929	171	2,956	34	21,885	205	106.8	86.5

※上物率は収量ベース

品種名（穂木×台木）	1棟当たり換	10a当たり換
	算収量 (kg)	算収量 (t)
シャープ1×ゆうゆう一輝黒	830.1	8.3
エクセレント節成2号×ゆうゆう一輝黒	936.7	9.4
エクセレント節成353×ゆうゆう一輝黒	825.6	8.3
プロジェクトX×ときわパーZ2	804.1	8.0
フレスコ100×昇竜	805.9	8.1
セレクトI×昇竜	772.3	7.7
リーダーハウス3号×つやかEX	630.3	6.3

図1 品種別1株当たりの収量本数

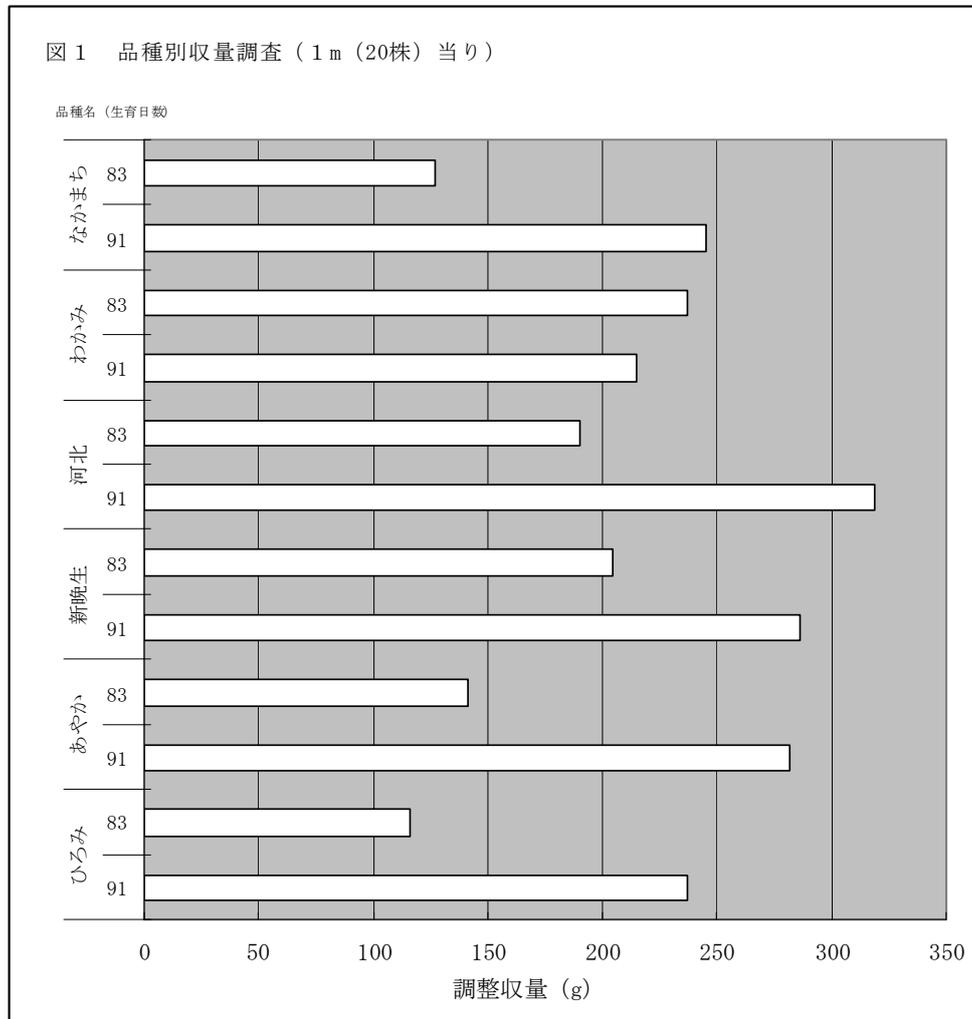


施設野菜の部 No.7	
調査名	冬期間の施設利用によるこまつなの品種比較調査 (平成15年度～21年度)
目的	冬期間の施設利用によるこまつなの品種について調査し、栽培上の資料とする。
供用施設	パイプハウス7号 (99 m ² : 約30坪)
調査区の構成	1 調査区 6区 (1区: 1品種 1m (20株) × 2箇所) 2 供試品種 6品種 (1) なかまち (株サカタのタネ) (2) わかみ (株サカタのタネ) (3) 河北 (株渡辺採種場) (4) 新晩生 (タキイ種苗株) (5) あやか (野原種苗株) (6) ひろみ (野原種苗株)
耕種概要	1 栽培方法 無加温・土耕栽培 2 は種月日 平成21年11月17日 (不織布べたがけ) 平成21年11月24日 (不織布トンネル) 3 栽植距離 畦幅 120 cm × 株間 5 cm × 条間 20 cm 4 施肥量 無施肥 (きゅうり栽培後作) 5 収穫期間 平成22年2月8日～3月3日
結果の概要	<p>調査は、きゅうり抑制栽培の後作として、無肥料で実施した。</p> <p>生育の早さは、「新晩生」が早く、次いで「河北」、「わかみ」、「なかまち」の順であった。</p> <p>換算収量については、「河北」、「新晩生」、「あやか」、「なかまち」の順であった。欠株については、「ひろみ」に多く見られた。</p> <p>糖度は、「新晩生」が5.0brix%で最も高く、次いで「あやか」、「わかみ」の順であった。</p> <p>葉色は、「新晩生」、「河北」が緑色で、他は濃緑色であった。また、「河北」は株張りが他に比べしっかりしていた。</p> <p>次年度からは有望と思われる品種についてさらに品種比較調査を実施したい。</p>

表1 収量等調査表(1m (20株) 当たり)

品種名	生育日数 (日)	草丈 (cm)	調整収量 (g)	1株重 (g)	欠株率 (%)	1棟当たり換 算収量 (kg)	糖度 (brix%)
なかまち	83	12.5	127	9.8	35	41.1	4.1
	91	13.9	245	18.8	35	79.4	
わかみ	83	14.9	237	15.8	25	76.8	4.8
	91	16.9	215	19.5	45	69.7	
河北	83	16.9	190	14.6	35	61.6	4.6
	91	13.9	319	24.5	35	103.4	
新晩生	83	18.2	204	13.6	25	66.1	5.0
	91	19.6	286	16.8	15	92.7	
あやか	83	12.2	141	9.4	25	45.7	4.9
	91	16.6	282	23.5	40	91.4	
ひろみ	83	10.8	116	8.9	35	37.6	4.7
	91	15.0	237	23.7	50	76.8	

図1 品種別収量調査(1m (20株) 当り)



施設野菜の部 No.8																																																																																					
調査名	トマトの半促成栽培における品種比較調査（平成20年度～21年度）																																																																																				
目的	当地域におけるトマト半促成栽培において、有望な品種を見つけるため品種比較し、栽培上の資料とする。																																																																																				
供用施設	ガラス温室8号（165㎡：約50坪）																																																																																				
調査区の構成	1 調査区 8区（1品種1区制10株） 2 供試品種 8品種 (1)ハウス桃太郎（タキイ種苗株） (2)桃太郎はるか（タキイ種苗株） (3)桃太郎サニー（タキイ種苗株） (4)CF桃太郎はるか（TTM-017）（タキイ種苗株） (5)りんか409（株サカタのタネ） (6)麗夏（株サカタのタネ） (7)朝日和もえか（朝日工業株） (8)みそら64（MK-T64）（みかど協和株）																																																																																				
耕種概要	1 は種月日 平成21年1月6日 2 移植月日 平成21年1月30日（12cmポット） 3 定植月日 平成21年3月3日 4 育苗日数 56日 5 栽植距離 ベッド幅120cm×株間40cm×2条・千鳥植え 6 定植株数 300株/棟 7 施肥量（温室1棟：165㎡） <table border="1" data-bbox="502 1019 1149 1146"> <thead> <tr> <th>資材名(成分比%)</th> <th></th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>200kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土壌改良資材</td> <td>250L</td> <td>籾殻薫炭</td> </tr> <tr> <td>微生物資材</td> <td>40kg</td> <td>ハイフミンデルマ</td> </tr> </tbody> </table> 8 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる） 養液土耕5号=12：20：20 養液土耕2号=14：8：25 <table border="1" data-bbox="670 1232 1284 1579"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">月日</th> <th rowspan="2">日数</th> <th rowspan="2">1日の灌液量</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th rowspan="2">窒素量(g)</th> </tr> <tr> <th>開始日</th> <th>終了日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定植前</td> <td>3月2日</td> <td>3月2日</td> <td>1</td> <td>450</td> <td>養土5</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">提植</td> <td>3月3日</td> <td>3月9日</td> <td>7</td> <td>120</td> <td>養土5</td> <td>6.7</td> </tr> <tr> <td>3月10日</td> <td>3月17日</td> <td>8</td> <td>60</td> <td>養土5</td> <td>6.7</td> </tr> <tr> <td>3月18日</td> <td>3月25日</td> <td>8</td> <td>120</td> <td>養土5</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>3月26日</td> <td>4月2日</td> <td>8</td> <td>240</td> <td>養土5</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>4月3日</td> <td>4月16日</td> <td>14</td> <td>360</td> <td>養土2</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">収穫開始</td> <td>4月17日</td> <td>5月14日</td> <td>28</td> <td>480</td> <td>養土2</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>5月15日</td> <td>6月11日</td> <td>28</td> <td>450</td> <td>養土2</td> <td>46.7</td> </tr> <tr> <td>6月12日</td> <td>7月9日</td> <td>28</td> <td>300</td> <td>養土2</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>7月10日</td> <td>7月20日</td> <td>11</td> <td>300</td> <td>養土2</td> <td>21.7</td> </tr> </tbody> </table> 合計NPK =4.74：3.14：8.41 9 収穫期間 平成21年5月7日～7月20日 11 保温・加温 平成21年3月3日～15℃設定 内カーテン、温風暖房機による 12 薬剤散布 オンシツコナジラミ対策としてラノーテープ剤を畦毎1本、作物に触れない株上の位置に設置した。 3月17日～7月17日（成分回数16回） 13 ホルモン処理 トマトトーンによる花房処理 毎週2回 低温時（20℃以下：50倍）、高温時（20℃以上：100倍） 14 摘芯 6月1日（6～7段）	資材名(成分比%)		摘要	堆肥（バーク堆肥）	200kg		土壌改良資材	250L	籾殻薫炭	微生物資材	40kg	ハイフミンデルマ		月日		日数	1日の灌液量	肥料名	窒素量(g)	開始日	終了日	定植前	3月2日	3月2日	1	450	養土5	0.0	提植	3月3日	3月9日	7	120	養土5	6.7	3月10日	3月17日	8	60	養土5	6.7	3月18日	3月25日	8	120	養土5	11.7	3月26日	4月2日	8	240	養土5	25.0	4月3日	4月16日	14	360	養土2	33.3	収穫開始	4月17日	5月14日	28	480	養土2	41.7	5月15日	6月11日	28	450	養土2	46.7	6月12日	7月9日	28	300	養土2	41.7	7月10日	7月20日	11	300	養土2	21.7
資材名(成分比%)		摘要																																																																																			
堆肥（バーク堆肥）	200kg																																																																																				
土壌改良資材	250L	籾殻薫炭																																																																																			
微生物資材	40kg	ハイフミンデルマ																																																																																			
	月日		日数	1日の灌液量	肥料名	窒素量(g)																																																																															
	開始日	終了日																																																																																			
定植前	3月2日	3月2日	1	450	養土5	0.0																																																																															
提植	3月3日	3月9日	7	120	養土5	6.7																																																																															
	3月10日	3月17日	8	60	養土5	6.7																																																																															
	3月18日	3月25日	8	120	養土5	11.7																																																																															
	3月26日	4月2日	8	240	養土5	25.0																																																																															
	4月3日	4月16日	14	360	養土2	33.3																																																																															
収穫開始	4月17日	5月14日	28	480	養土2	41.7																																																																															
	5月15日	6月11日	28	450	養土2	46.7																																																																															
	6月12日	7月9日	28	300	養土2	41.7																																																																															
	7月10日	7月20日	11	300	養土2	21.7																																																																															
結果の概要	病害虫については、ほとんど見られなかった。 総収量が優れているのは「桃太郎はるか」「ハウス桃太郎」「麗夏」の順であった。 上物率は「CF桃太郎はるか」「桃太郎はるか」「みそら64」の順で高かった。 以上のことから今回の本調査では「桃太郎はるか」が優れていた。																																																																																				

表1 生育調査（調査年月日：平成21年3月3日・5月7日）

品種名	草丈 (cm)	葉数 (枚)	第1花房 の節位	茎の太さ (mm)	葉長 (cm)
ハウス桃太郎	27.5	7.0	7.4	5.3	19.9
	202.1	29.5		11.7	50.4
桃太郎はるか	30.4	7.3	7.1	6.1	23.0
	212.2	29.9		11.1	48.4
桃太郎サニー	29.5	6.6	7.1	6.1	22.3
	172.8	25.9		11.1	47.1
CF桃太郎はるか	31.1	7.4	6.7	6.2	21.9
	204.5	28.8		11.6	48.6
りんか409	25.9	7.9	7.3	5.6	22.0
	174.3	27.9		10.8	48.1
麗夏	25.0	6.4	6.8	5.7	21.2
	189.1	26.6		11.2	54.3
朝日和もえか	24.6	8.2	7.5	5.6	21.7
	165.7	26.3		10.4	43.7
みそら64	22.4	7.3	6.4	5.7	19.9
	170.0	27.7		11.8	46.9

表2 品種別収量調査（10株当たり）

（単位：g、個）

品種	上物		下物		合計		平均1果重 (g)	上物率 (%)
	収量	個数	収量	個数	収量	個数		
ハウス桃太郎	28,934	152	16,342	88	45,276	240	188.7	63.9%
桃太郎はるか	31,142	146	14,759	72	45,901	218	210.6	67.8%
桃太郎サニー	23,246	121	17,163	77	40,409	198	204.1	57.5%
CF桃太郎はるか	30,662	149	11,684	49	42,346	198	213.9	72.4%
麗夏	28,326	134	15,207	57	43,533	191	227.9	65.1%
りんか409	20,707	101	21,346	93	42,053	194	216.8	49.2%
朝日和もえか	22,112	128	11,564	60	33,676	188	179.1	65.7%
みそら64	26,094	133	13,140	64	39,234	197	199.2	66.5%

品種	1棟当たり換算	10a当たり換算	平成20年
	収量 (kg)	収量 (t)	
ハウス桃太郎	1,358	8.1	7.8
桃太郎はるか	1,377	8.3	8.2
桃太郎サニー	1,212	7.3	
CF桃太郎はるか	1,270	7.6	
麗夏	1,306	7.8	8.1
りんか409	1,262	7.6	
朝日和もえか	1,010	6.1	
みそら64	1,177	7.1	

※上物：形状がよく、花落ちあとが1cm以内。空洞果、尻割れのないもの。軽微な先とんがり果のもの。

表 3 月旬別収量調査 (10株当たり)

(単位:g)

	5上	5中	5下	6上	6中	6下	7上	7中
みそら64	0	5,567	1,087	7,861	4,970	8,039	6,109	5,601
朝日和もえか	0	5,709	1,925	5,068	5,096	7,090	4,461	4,327
りんか409	0	6,145	2,940	8,403	5,521	8,679	7,475	2,890
麗夏	0	4,898	1,664	7,973	7,531	8,410	8,459	4,598
CF桃太郎はるか	480	6,535	3,784	9,027	5,406	9,217	4,022	3,875
桃太郎サニー	0	7,130	2,467	6,765	6,961	5,887	6,470	4,729
桃太郎はるか	2,068	6,514	4,682	10,378	5,034	8,094	7,208	1,923
ハウス桃太郎	0	3,195	3,692	9,370	8,216	7,865	6,726	6,212

図 1 品種別収量調査 (10株当たり)

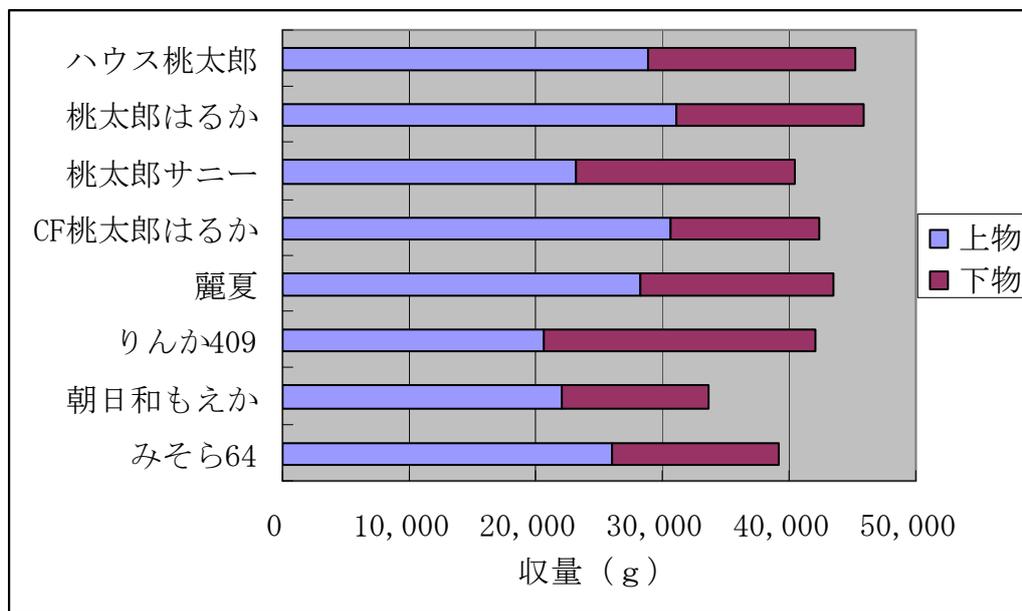
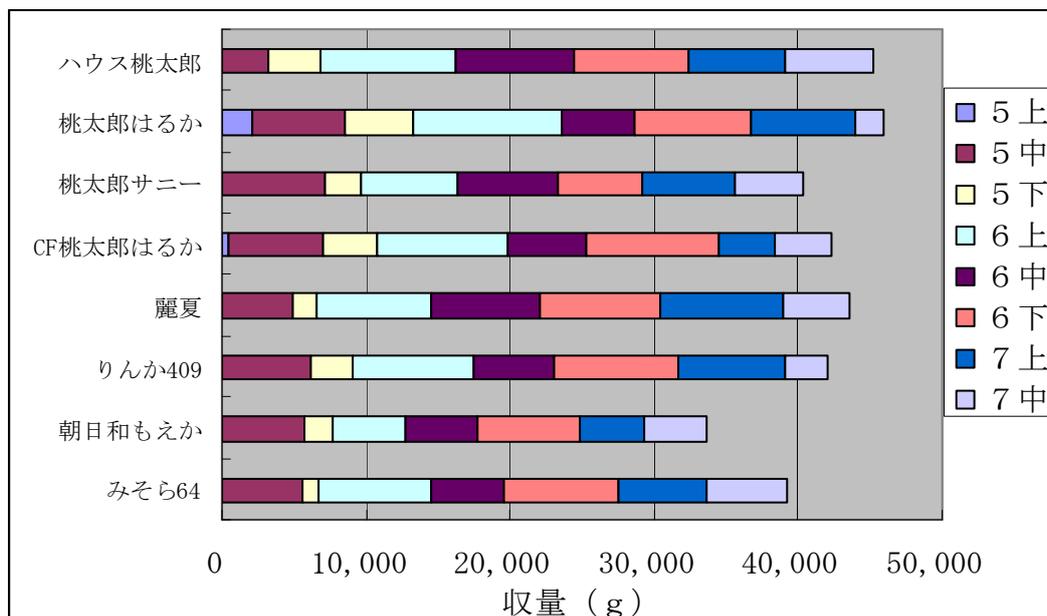


図 2 月旬別収量調査 (10株当たり)



施設野菜の部 No.9																																																																																												
調 査 名	トマトの夏秋栽培における品種比較調査（平成 18 年度～21 年度）																																																																																											
目 的	当地域におけるトマト夏秋栽培について、有望な品種を見つけるために品種比較し、栽培上の資料とする。																																																																																											
供 用 施 設	ガラス温室 6 号（165 m ² ：約 50 坪）																																																																																											
調査区の構成	1 調査区 7 区（1 品種 1 区制 10 株） 2 供試品種 7 品種 (1) 桃太郎サニー（タキイ種苗(株)） (2) 桃太郎なつみ（タキイ種苗(株)） (3) CF 桃太郎ファイト（タキイ種苗(株)） (4) りんか 409（(株)サカタのタネ） (5) 麗夏（(株)サカタのタネ） (6) 朝日和もえか（朝日工業(株)） (7) みそら 64（みかど協和(株)）																																																																																											
耕 種 概 要	1 は種月日 平成 21 年 2 月 10 日 2 移植月日 平成 21 年 2 月 27 日（12 cmポット） 3 定植月日 平成 21 年 3 月 31 日 4 育苗日数 49 日 5 栽植距離 ベッド幅 120 cm×株間 40 cm×2 条 千鳥植え 6 定植株数 300 株/棟 7 施肥量（温室 1 棟：165 m ² ）																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資材名(成分比%)</th> <th></th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>200kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土壌改良資材</td> <td>250L</td> <td>籾殻薫炭</td> </tr> <tr> <td>微生物資材</td> <td>40kg</td> <td>ハイフミンデルマ</td> </tr> </tbody> </table>	資材名(成分比%)		摘 要	堆肥（バーク堆肥）	200kg		土壌改良資材	250L	籾殻薫炭	微生物資材	40kg	ハイフミンデルマ																																																																															
	資材名(成分比%)		摘 要																																																																																									
	堆肥（バーク堆肥）	200kg																																																																																										
	土壌改良資材	250L	籾殻薫炭																																																																																									
	微生物資材	40kg	ハイフミンデルマ																																																																																									
	8 施肥設計 土壌溶液 EC 濃度 0.7～1.7（生育ステージによる） 養液土耕 5 号=12：20：20 養液土耕 2 号=14：8：25																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">月日</th> <th rowspan="2">日数</th> <th rowspan="2">一日の 灌液量</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th rowspan="2">窒素量(g)</th> </tr> <tr> <th>開始日</th> <th>終了日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定植前</td> <td>3月30日</td> <td>3月30日</td> <td>1</td> <td>480</td> <td>養土5</td> <td>26.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">定植</td> <td>3月31日</td> <td>4月4日</td> <td>5</td> <td>180</td> <td>養土5</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>4月5日</td> <td>4月19日</td> <td>15</td> <td>240</td> <td>養土5</td> <td>18.7</td> </tr> <tr> <td>4月20日</td> <td>5月4日</td> <td>15</td> <td>360</td> <td>養土5</td> <td>29.3</td> </tr> <tr> <td>5月5日</td> <td>5月14日</td> <td>10</td> <td>480</td> <td>養土2</td> <td>34.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">収穫開始</td> <td>5月15日</td> <td>6月18日</td> <td>35</td> <td>600</td> <td>養土2</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>6月19日</td> <td>7月18日</td> <td>30</td> <td>660</td> <td>養土2</td> <td>45.3</td> </tr> <tr> <td>7月19日</td> <td>8月17日</td> <td>30</td> <td>660</td> <td>養土2</td> <td>42.7</td> </tr> <tr> <td>8月18日</td> <td>9月16日</td> <td>30</td> <td>600</td> <td>養土2</td> <td>37.3</td> </tr> <tr> <td>9月17日</td> <td>10月7日</td> <td>21</td> <td>540</td> <td>養土2</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>10月8日</td> <td>10月22日</td> <td>15</td> <td>360</td> <td>養土2</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>10月23日</td> <td>10月30日</td> <td>8</td> <td>300</td> <td>養土2</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td colspan="7">合計 N:P:K =7.22：5.02：12.08</td> </tr> </tbody> </table>		月日		日数	一日の 灌液量	肥料名	窒素量(g)	開始日	終了日	定植前	3月30日	3月30日	1	480	養土5	26.7	定植	3月31日	4月4日	5	180	養土5	13.3	4月5日	4月19日	15	240	養土5	18.7	4月20日	5月4日	15	360	養土5	29.3	5月5日	5月14日	10	480	養土2	34.7	収穫開始	5月15日	6月18日	35	600	養土2	40.0	6月19日	7月18日	30	660	養土2	45.3	7月19日	8月17日	30	660	養土2	42.7	8月18日	9月16日	30	600	養土2	37.3	9月17日	10月7日	21	540	養土2	33.3	10月8日	10月22日	15	360	養土2	13.3	10月23日	10月30日	8	300	養土2	0.0	合計 N:P:K =7.22：5.02：12.08						
			月日						日数	一日の 灌液量	肥料名	窒素量(g)																																																																																
		開始日	終了日																																																																																									
定植前	3月30日	3月30日	1	480	養土5	26.7																																																																																						
定植	3月31日	4月4日	5	180	養土5	13.3																																																																																						
	4月5日	4月19日	15	240	養土5	18.7																																																																																						
	4月20日	5月4日	15	360	養土5	29.3																																																																																						
	5月5日	5月14日	10	480	養土2	34.7																																																																																						
収穫開始	5月15日	6月18日	35	600	養土2	40.0																																																																																						
	6月19日	7月18日	30	660	養土2	45.3																																																																																						
	7月19日	8月17日	30	660	養土2	42.7																																																																																						
	8月18日	9月16日	30	600	養土2	37.3																																																																																						
	9月17日	10月7日	21	540	養土2	33.3																																																																																						
	10月8日	10月22日	15	360	養土2	13.3																																																																																						
	10月23日	10月30日	8	300	養土2	0.0																																																																																						
	合計 N:P:K =7.22：5.02：12.08																																																																																											
9 収穫期間 平成 21 年 5 月 18 日～10 月 30 日																																																																																												
10 保温・加温 平成 21 年 3 月 31 日～15℃設定 内カーテン、温風暖房機による																																																																																												
11 薬剤散布 オンシツコナジラミ対策としてラノーテープ剤を 畦毎 1 本、作物に触れない株上の位置に設置した。 平成 21 年 3 月 16 日～10 月 16 日（成分回数 34 回）																																																																																												
12 ホルモン処理 トマトトーンによる花房処理 毎週 2 回 低温時（20℃以下：50 倍）、高温時（20℃以上：100 倍）																																																																																												
13 摘 心 平成 21 年 10 月 1 日（12～14 段）																																																																																												

結果の概要	<p>病害については、7月以降はカルシウム吸収阻害による尻ぐされ病が発生した。また、8月下旬から灰色かび病が発生した。害虫については、アブラムシ、アザミウマ類が見られた。</p> <p>収量調査においては、総収量では「麗夏」「朝日和もえか」「りんか409」の順で多く、上物率は「朝日和もえか」「みそら64」「麗夏」の順で高かった。</p> <p>「朝日和もえか」は着果がよく、収量が優れていたが、平均1果重は166gで、やや小ぶりであった。</p> <p>糖度については5~6brix%程度で、品種による大きな差異は見られなかった。</p>
-------	--

表1 生育調査 (平成21年3月31日・5月18日)

品種名	草丈 (cm)	葉数 (枚)	第1花房 の節位	茎の太さ (mm)	葉長 (cm)
桃太郎サニー	23.4	6.9	6.0	4.8	17.1
	133.3	22.6		9.4	48.2
桃太郎なつみ	24.9	7.6	6.1	6.2	18.7
	124.9	24.6		11.3	52.2
CF桃太郎ファイト	27.4	7.3	5.7	5.9	19.5
	138.0	22.7		9.9	43.9
りんか409	27.1	7.1	5.6	5.8	18.2
	119.9	21.1		9.2	42.4
麗夏	21.2	6.4	6.0	5.2	16.6
	127.7	20.4		9.6	40.8
朝日和もえか	29.0	8.0	6.2	6.1	20.3
	132.3	22.8		9.2	42.8
みそら64	25.2	7.6	6.1	6.2	19.4
	125.0	23.3		10.0	43.9

表2 品種別収量調査 (10株当たり)

品種	上物		下物		合計		平均1果重 (g)	上物率 (%)
	収量(g)	個数	収量(g)	個数	収量(g)	個数		
桃太郎サニー	32,490	183	21,504	139	53,994	322	168	60.2%
桃太郎なつみ	30,639	171	26,532	147	57,171	318	180	53.6%
CF桃太郎ファイト	33,210	201	21,143	147	54,353	348	156	61.1%
りんか409	32,330	175	28,542	155	60,872	330	184	53.1%
麗夏	41,761	219	21,093	111	62,854	330	190	66.4%
朝日和もえか	48,587	287	13,661	88	62,248	375	166	78.1%
みそら64	39,786	223	19,906	117	59,692	340	176	66.7%

品種	棟当り	10a当り換算収量(t)		
	換算収量(kg)	平成21年	平成20年	平成19年
桃太郎サニー	1,620	9.7	14.2	
桃太郎なつみ	1,715	10.3	13.0	13.6
CF桃太郎ファイト	1,631	9.8		
りんか409	1,826	11.0	15.7	12.4
麗夏	1,886	11.3	14.1	13.9
朝日和もえか	1,867	11.2	13.9	
みそら64	1,791	10.7		

上物：形状がよく、花落ちあとが1cm以内。空洞果、尻割れのないもの。軽微な先とんがり果のもの。

表3 月別収量調査 (10株当たり)

単位：g

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
桃太郎サニー	3,263	14,168	16,511	9,325	5,284	5,443
桃太郎なつみ	462	15,389	15,879	10,096	6,982	8,363
CF桃太郎ファイト	4,240	12,852	18,987	7,701	7,144	3,429
りんか409	4,957	12,638	18,638	8,980	6,332	9,327
麗夏	1,357	14,432	19,007	12,712	6,247	9,099
朝日和もえか	3,918	10,358	19,308	13,408	7,116	8,140
みそら64	3,240	13,164	16,956	12,162	7,253	6,917

図1 品種別収量調査 (10株当たり)

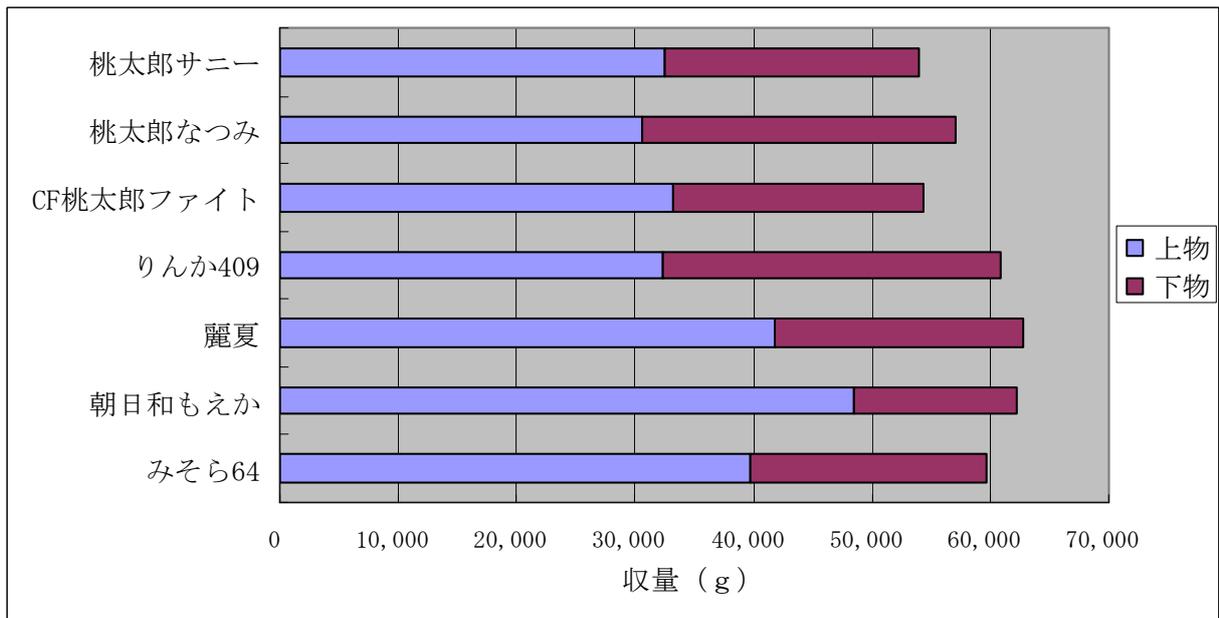
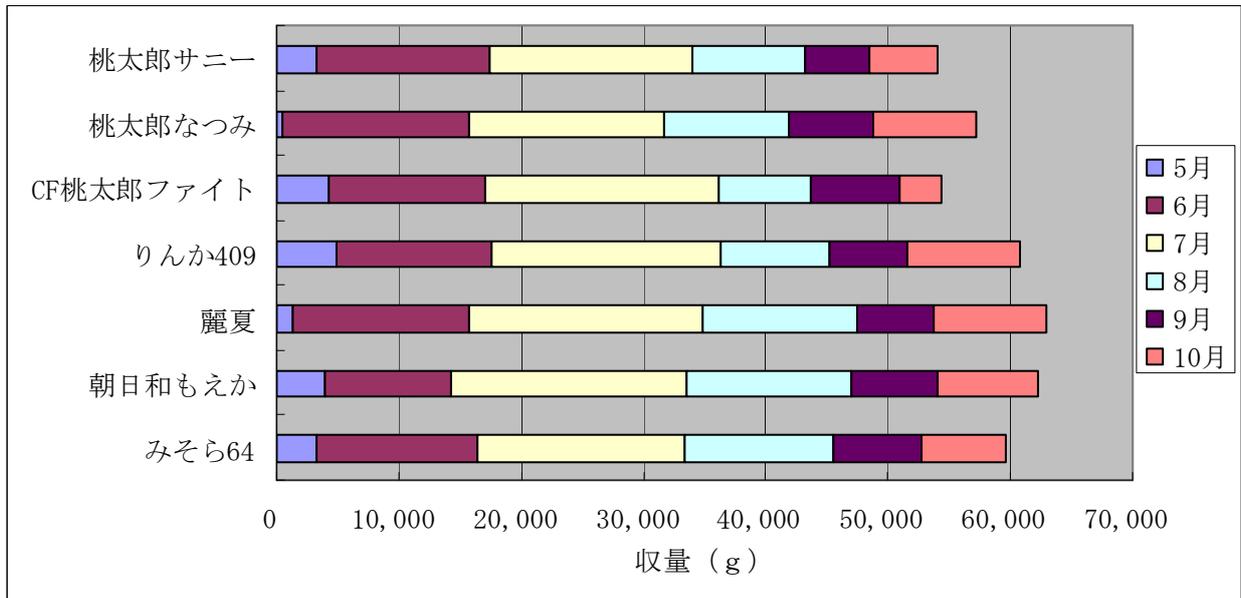


図2 月別収量調査 (10株当たり)



施設野菜の部 No.10																																																																																										
調査名	トマトの抑制栽培における品種比較調査（平成18年度～21年度）																																																																																									
目的	当地方におけるトマト抑制栽培について品種比較し、栽培上の資料とする。																																																																																									
供用施設	ガラス温室6号（165㎡：約50坪）																																																																																									
調査区の構成	1 調査区 12区（1品種1区制10株） 2 供試品種 (1)桃太郎コルト（タキイ種苗株） (7)桃太郎サニー（タキイ種苗株） (2)桃太郎ファイト（タキイ種苗株） (8)りんか409（株サカタのタネ） (3)CF桃太郎ファイト（タキイ種苗株） (9)麗夏（株サカタのタネ） (4)桃太郎あきな（タキイ種苗株） (10)至福（カネコ種苗株） (5)桃太郎はるか（タキイ種苗株） (11)朝日和もえか（朝日工業株） (6)CF桃太郎はるか（タキイ種苗株） (12)みそら64（みかど協和株）																																																																																									
耕種概要	1 は種月日 平成21年6月4日 2 定植月日 平成21年6月26日（前作の栽培中、株間に定植） 3 栽植距離 ベッド幅120cm×株間40cm×2条・千鳥植え 4 定植株数 300株/棟 5 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる） 養液土耕5号＝12：20：20 養液土耕2号＝14：8：25 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">月日</th> <th rowspan="2">日数</th> <th rowspan="2">一日の灌液量</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th rowspan="2">窒素量(g)</th> </tr> <tr> <th>開始日</th> <th>終了日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">定植</td> <td>6月26日</td> <td>7月9日</td> <td>14</td> <td>300</td> <td>養土2</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>7月10日</td> <td>7月31日</td> <td>22</td> <td>300</td> <td>養土2</td> <td>21.7</td> </tr> <tr> <td>8月1日</td> <td>8月7日</td> <td>7</td> <td>60</td> <td>養土5</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>8月8日</td> <td>8月14日</td> <td>7</td> <td>60</td> <td>養土5</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">収穫開始</td> <td>8月15日</td> <td>8月28日</td> <td>14</td> <td>90</td> <td>養土5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>8月29日</td> <td>9月4日</td> <td>7</td> <td>120</td> <td>養土5</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>9月5日</td> <td>9月11日</td> <td>7</td> <td>240</td> <td>養土5</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>9月12日</td> <td>9月25日</td> <td>14</td> <td>360</td> <td>養土2</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>9月26日</td> <td>10月2日</td> <td>7</td> <td>540</td> <td>養土2</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>10月16日</td> <td>14</td> <td>600</td> <td>養土2</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>10月30日</td> <td>14</td> <td>540</td> <td>養土2</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>10月31日</td> <td>11月13日</td> <td>14</td> <td>480</td> <td>養土2</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>11月14日</td> <td>11月24日</td> <td>11</td> <td>360</td> <td>養土2</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> 合計NPK =4.12：2.76：7.31（kg/165㎡） 6 収穫期間 平成21年8月24日～11月24日 7 薬剤散布 オンシツコナジラミ対策としてラノーテープ剤を畦毎に1本作物に触れない株上の位置に設置した。 7月8日～10月6日（成分回数23回） 8 ホルモン処理 トマトトーンによる花房処理 毎週2回 低温時（20℃以下：50倍）、高温時（20℃以上：100倍） 9 摘心 平成21年10月9日（6～7段）		月日		日数	一日の灌液量	肥料名	窒素量(g)	開始日	終了日	定植	6月26日	7月9日	14	300	養土2	41.7	7月10日	7月31日	22	300	養土2	21.7	8月1日	8月7日	7	60	養土5	3.3	8月8日	8月14日	7	60	養土5	3.3	収穫開始	8月15日	8月28日	14	90	養土5	5.0	8月29日	9月4日	7	120	養土5	11.7	9月5日	9月11日	7	240	養土5	25.0	9月12日	9月25日	14	360	養土2	41.7	9月26日	10月2日	7	540	養土2	50.0	10月3日	10月16日	14	600	養土2	50.0	10月17日	10月30日	14	540	養土2	41.7	10月31日	11月13日	14	480	養土2	33.3	11月14日	11月24日	11	360	養土2	0.0
	月日		日数	一日の灌液量					肥料名	窒素量(g)																																																																																
	開始日	終了日																																																																																								
定植	6月26日	7月9日	14	300	養土2	41.7																																																																																				
	7月10日	7月31日	22	300	養土2	21.7																																																																																				
	8月1日	8月7日	7	60	養土5	3.3																																																																																				
	8月8日	8月14日	7	60	養土5	3.3																																																																																				
収穫開始	8月15日	8月28日	14	90	養土5	5.0																																																																																				
	8月29日	9月4日	7	120	養土5	11.7																																																																																				
	9月5日	9月11日	7	240	養土5	25.0																																																																																				
	9月12日	9月25日	14	360	養土2	41.7																																																																																				
	9月26日	10月2日	7	540	養土2	50.0																																																																																				
	10月3日	10月16日	14	600	養土2	50.0																																																																																				
	10月17日	10月30日	14	540	養土2	41.7																																																																																				
	10月31日	11月13日	14	480	養土2	33.3																																																																																				
	11月14日	11月24日	11	360	養土2	0.0																																																																																				
結果の概要	病害虫については、灰色かび病とアザミウマ、アブラムシの発生があった。 総収量においては「桃太郎はるか」「みそら64」「至福」の順に多く、上物率では「麗夏」「みそら64」「桃太郎はるか」の順に高かった。 以上の結果から、今回収量的には「桃太郎はるか」が優れていた。																																																																																									

表1 生育調査 (平成21年8月24日)

品種名	項目 (cm)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	第1花房 の節位	茎の太さ (mm)	葉長 (cm)
桃太郎コルト		199.7	25.7	7.6	10.4	58.1
桃太郎ファイト		177.1	24.5	7.2	9.1	57.4
CF桃太郎ファイト		181.7	45.0	7.1	8.9	58.6
桃太郎あきな		200.3	27.7	7.3	9.2	57.9
桃太郎はるか		190.7	25.6	7.5	10.0	56.1
CF桃太郎はるか		202.2	24.9	7.8	9.0	54.2
桃太郎サニー		167.4	24.6	7.9	9.5	59.7
りんか409		164.4	24.4	7.9	10.3	53.9
麗夏		189.7	22.7	7.7	8.6	53.6
至福		181.7	25.3	7.0	8.2	53.8
朝日和もえか		171.2	25.5	7.7	9.1	54.4
みそら64		166.3	25.4	7.6	9.9	55.0

表2 品種別収量調査 (10株当たり)

品種	上物		下物		合計		平均1果重 (g)	上物率 (%)
	収量	個数	収量	個数	収量	個数		
桃太郎コルト	16,094	95	13,204	99	29,298	194	151	54.9%
桃太郎ファイト	13,781	91	10,839	84	24,620	175	141	56.0%
CF桃太郎ファイト	13,454	82	12,580	99	26,034	181	144	51.7%
桃太郎あきな	15,685	98	12,792	90	28,477	188	151	55.1%
桃太郎はるか	22,362	118	10,885	66	33,247	184	181	67.3%
CF桃太郎はるか	17,840	116	9,769	74	27,609	190	145	64.6%
桃太郎サニー	11,886	79	12,175	97	24,061	176	137	49.4%
りんか409	18,931	114	10,862	90	29,793	204	146	63.5%
麗夏	18,316	110	7,308	57	25,624	167	153	71.5%
至福	19,673	115	11,541	105	31,214	220	142	63.0%
朝日和もえか	18,878	115	11,951	94	30,829	209	148	61.2%
みそら64	22,729	121	9,672	56	32,401	177	183	70.1%

品種	1棟当たり換算		10a当たり換算	
	収量 (kg)	個数	収量 (t)	個数
桃太郎コルト	879	95	5.3	99
桃太郎ファイト	739	91	4.4	84
CF桃太郎ファイト	781	82	4.7	99
桃太郎あきな	854	98	5.1	90
桃太郎はるか	997	118	6.0	66
CF桃太郎はるか	828	116	5.0	74
桃太郎サニー	722	79	4.3	97
りんか409	894	114	5.4	90
麗夏	769	110	4.6	57
至福	936	115	5.6	105
朝日和もえか	925	115	5.5	94
みそら64	972	121	5.8	56

※上物：形状がよく、花落ちあとが1cm以内。空洞果、尻割れのないもの。軽微な先とんがり果のもの。

表3 旬別収量調査 (10株当たり)

単位：g

	8下	9上	9中	9下	10上	10中	10下	11上	11中	11下
桃太郎コルト	2,460	1,326	3,294	3,055	3,893	3,163	6,316	2,020	3,418	353
桃太郎ファイト	1,757	2,559	2,366	2,870	3,641	5,467	2,852	1,018	1,312	778
C F 桃太郎ファイト	3,157	2,259	3,493	2,481	3,176	2,526	4,475	1,500	2,242	725
桃太郎あきな	3,155	1,898	4,245	3,362	3,624	2,213	4,353	2,693	2,200	734
桃太郎はるか	2,292	2,903	4,110	3,749	3,710	4,199	9,159	1,799	1,084	242
C F 桃太郎はるか	3,206	2,892	3,392	4,110	2,174	2,533	6,038	2,731	370	163
桃太郎サニー	2,560	2,765	2,517	4,295	2,554	3,151	3,659	2,062	446	52
りんか409	2,010	3,938	4,506	3,261	3,660	3,261	5,851	1,684	1,222	400
麗夏	1,067	3,584	4,935	2,436	2,716	2,306	4,933	2,160	1,104	383
至福	5,680	2,364	3,189	5,335	1,084	4,753	4,530	2,370	1,769	140
朝日ともえか	1,270	2,693	4,548	3,461	2,961	4,772	4,997	2,908	2,578	641
みそら64	2,582	2,805	6,053	3,001	3,734	4,614	6,132	1,423	1,574	483

図1 品種別収量調査 (10株当たり)

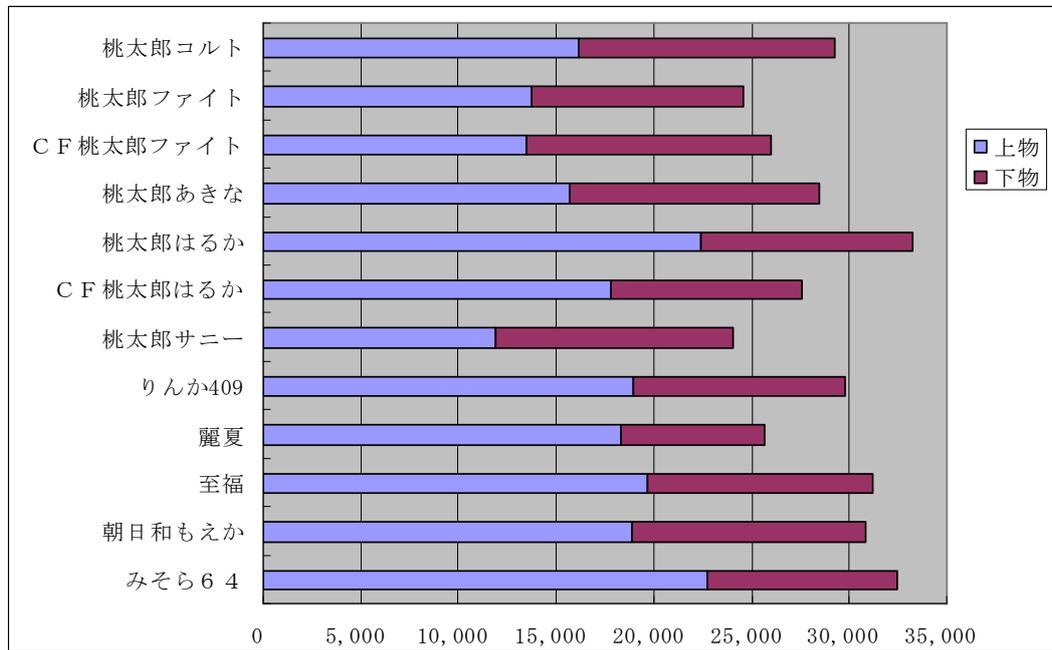
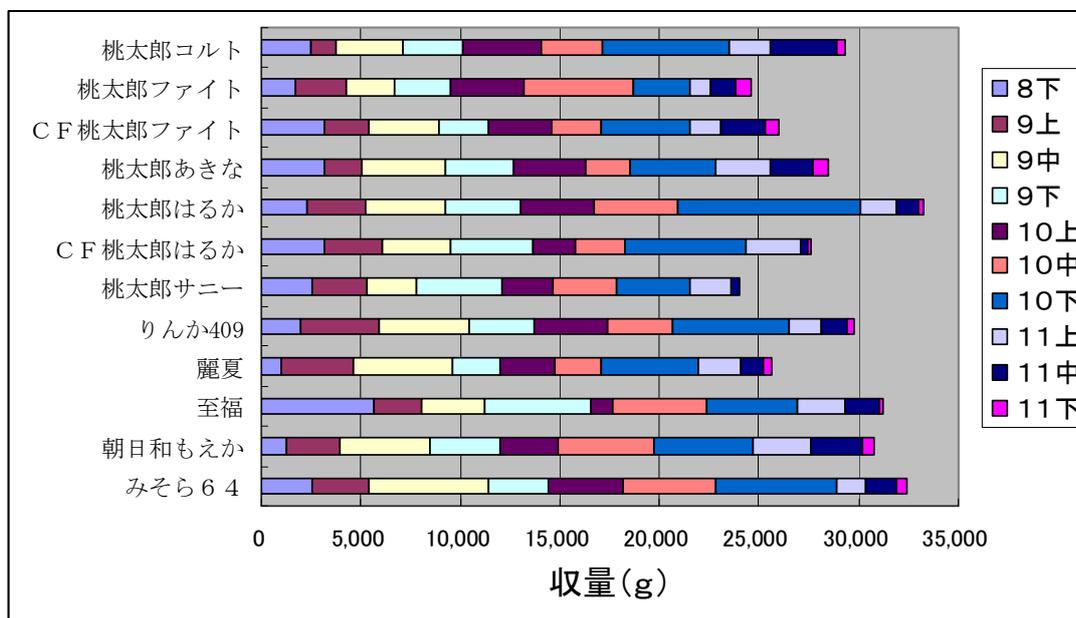


図2 月別収量調査 (10株当たり)



施設野菜の部 No.11																																																																																					
調査名	ミニトマトの半促成栽培における品種比較調査（平成20年度～21年度）																																																																																				
目的	当地域におけるミニトマト促成栽培について、有望な品種を見つけるため品種比較し、栽培上の資料とする。																																																																																				
供用施設	ガラス温室5号（165㎡：約50坪）																																																																																				
調査区の構成	1 調査区 7区（1品種1区制5株） 2 供試品種 7品種 (1) キャロル10（㈱サカタのタネ） (2) キャロルクイーン（㈱サカタのタネ） (3) サンチェリーピュア（トキタ種苗㈱） (4) ラブリー藍（みかど協和種苗㈱） (5) CF千果（TTM-019）（タキイ種苗㈱） (6) リトルジェムダブル（朝日工業㈱） (7) リトルジェム早生（朝日工業㈱）																																																																																				
耕種概要	1 は種月日 平成21年1月6日 2 移植月日 平成21年1月30日（12cmポット） 3 定植月日 平成21年3月6日 4 育苗日数 60日 5 栽植距離 ベッド幅120cm×株間40cm×2条・千鳥植え 6 定植株数 300株/棟 7 施肥量（温室1棟：165㎡） <table border="1" data-bbox="391 1048 1034 1205"> <thead> <tr> <th>資材名(成分比%)</th> <th></th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>200kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土壌改良資材</td> <td>250L</td> <td>籾殻薫炭</td> </tr> <tr> <td>微生物資材</td> <td>40kg</td> <td>ハイフミンデルマ</td> </tr> </tbody> </table> 8 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる） 養液土耕5号＝12：20：20 養液土耕2号＝14：8：25 <table border="1" data-bbox="619 1317 1364 1753"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">月日</th> <th rowspan="2">日数</th> <th rowspan="2">1日の灌液量</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th rowspan="2">窒素量(g)</th> </tr> <tr> <th>開始日</th> <th>終了日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定植前</td> <td>3月5日</td> <td>3月5日</td> <td>1</td> <td>480</td> <td>養土5</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">定植</td> <td>3月6日</td> <td>3月12日</td> <td>7</td> <td>240</td> <td>養土5</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>3月13日</td> <td>3月20日</td> <td>8</td> <td>180</td> <td>養土5</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>3月21日</td> <td>3月28日</td> <td>8</td> <td>240</td> <td>養土5</td> <td>23.3</td> </tr> <tr> <td>3月29日</td> <td>4月5日</td> <td>8</td> <td>360</td> <td>養土5</td> <td>36.7</td> </tr> <tr> <td>4月6日</td> <td>4月12日</td> <td>7</td> <td>480</td> <td>養土2</td> <td>43.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">収穫開始</td> <td>4月13日</td> <td>5月10日</td> <td>28</td> <td>600</td> <td>養土2</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>5月11日</td> <td>6月7日</td> <td>28</td> <td>660</td> <td>養土2</td> <td>56.7</td> </tr> <tr> <td>6月8日</td> <td>7月5日</td> <td>28</td> <td>660</td> <td>養土2</td> <td>53.3</td> </tr> <tr> <td>7月6日</td> <td>7月20日</td> <td>15</td> <td>240</td> <td>養土2</td> <td>16.7</td> </tr> </tbody> </table> 合計N:P:K ＝5.80：4.15：10.26（kg/165㎡） 9 収穫期間 平成21年4月27日～7月20日 10 保温・加温 平成21年3月6日～15℃設定 内カーテン、温風暖房機による 11 薬剤散布 オンシツコナジラミ対策としてラノータープ剤を畦毎に1本、作物に触れない株上の位置に設置した。 平成21年3月17日～7月17日（成分回数16回） 12 ホルモン処理 トマトトーンを毎週火・金曜日に花房処理 低温時（20℃以下：50倍）、高温時（20℃以上：100倍） 13 摘心 平成21年6月1日（7段程度）	資材名(成分比%)		摘要	堆肥（バーク堆肥）	200kg		土壌改良資材	250L	籾殻薫炭	微生物資材	40kg	ハイフミンデルマ		月日		日数	1日の灌液量	肥料名	窒素量(g)	開始日	終了日	定植前	3月5日	3月5日	1	480	養土5	33.3	定植	3月6日	3月12日	7	240	養土5	16.7	3月13日	3月20日	8	180	養土5	16.7	3月21日	3月28日	8	240	養土5	23.3	3月29日	4月5日	8	360	養土5	36.7	4月6日	4月12日	7	480	養土2	43.3	収穫開始	4月13日	5月10日	28	600	養土2	50.0	5月11日	6月7日	28	660	養土2	56.7	6月8日	7月5日	28	660	養土2	53.3	7月6日	7月20日	15	240	養土2	16.7
資材名(成分比%)		摘要																																																																																			
堆肥（バーク堆肥）	200kg																																																																																				
土壌改良資材	250L	籾殻薫炭																																																																																			
微生物資材	40kg	ハイフミンデルマ																																																																																			
	月日		日数	1日の灌液量	肥料名	窒素量(g)																																																																															
	開始日	終了日																																																																																			
定植前	3月5日	3月5日	1	480	養土5	33.3																																																																															
定植	3月6日	3月12日	7	240	養土5	16.7																																																																															
	3月13日	3月20日	8	180	養土5	16.7																																																																															
	3月21日	3月28日	8	240	養土5	23.3																																																																															
	3月29日	4月5日	8	360	養土5	36.7																																																																															
	4月6日	4月12日	7	480	養土2	43.3																																																																															
収穫開始	4月13日	5月10日	28	600	養土2	50.0																																																																															
	5月11日	6月7日	28	660	養土2	56.7																																																																															
	6月8日	7月5日	28	660	養土2	53.3																																																																															
	7月6日	7月20日	15	240	養土2	16.7																																																																															

結果の概要

病害虫は、ほとんど見られなかった。
 総収量、上物収量は「リトルジェムダブル」「リトルジェム早生」「サンチェリーピュア」の順であった。
 「リトルジェムダブル」「リトルジェム早生」は、着果が良いこと、比較的花房の先の果実にも小玉が少ないことから収量は優れていたが、色つやの面で比較的劣った。

表1 生育調査 (平成21年3月6日・4月27日)

品種名	草丈 (cm)	葉数 (枚)	第1花房 の節位	茎の太さ (mm)	葉長 (cm)
キャロル10	43.8	8.7	7.7	5.7	21.2
	199.4	25.7		10.3	37.8
キャロルクイーン	38.5	9.0	7.9	5.4	20.2
	187.3	27.1		9.6	46.4
サンチェリーピュア	36.6	8.6	7.4	5.5	16.8
	180.4	28.2		10.3	42.1
ラブリー藍	42.3	7.9	6.2	5.9	19.3
	176.7	25.8		10.7	40.1
CF千果	43.4	8.5	5.9	5.7	20.8
	172.5	26.3		10.8	42.4
リトルジェムダブル	43.8	8.8	7.1	5.6	20.5
	169.8	28.2		11.1	42.1
リトルジェム早生	34.5	9.7	7.2	5.6	18.8
	150.0	28.5		10.3	35.8

表2 品種別収量調査 (5株当たり)

(単位: g、個)

品種	2L (21g) 以上		L (15~21g未満)		M (11~15g未満)		S (11~15g未満)		2S (7~11g未満)	
	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数
キャロル10	0	0	202	13	2,618	210	4,534	522	1,759	289
キャロルクイーン	220	10	2,893	169	3,520	277	3,615	400	523	85
サンチェリーピュア	0	0	2,228	136	4,605	367	3,812	417	447	70
ラブリー藍	0	0	4,570	274	5,265	405	1,193	123	13	2
CF千果	0	0	1,645	100	5,205	423	4,074	428	132	21
リトルジェムダブル	21	1	4,622	275	5,391	424	2,646	281	53	8
リトルジェム早生	288	13	4,206	248	4,915	370	2,384	254	180	29

品種	上物収量		下物		合計		平均1果重 (g)	重量上物率 (%)	棟当り換算 10a当り	
	収量	個数	収量	個数	収量	個数			収量(kg)	換算収量(t)
キャロル10	9,113	1,034	942	159	10,055	1,193	8.4	90.6%	603	3.6
キャロルクイーン	10,771	941	707	69	11,478	1,010	11.4	93.8%	689	4.1
サンチェリーピュア	11,092	990	551	45	11,643	1,035	11.2	95.3%	699	4.2
ラブリー藍	11,041	804	480	37	11,521	841	13.7	95.8%	691	4.1
CF千果	11,056	972	495	44	11,551	1,016	11.4	95.7%	693	4.2
リトルジェムダブル	12,733	989	860	61	13,593	1,050	12.9	93.7%	816	4.9
リトルジェム早生	11,973	914	588	51	12,561	965	13.0	95.3%	754	4.5

表3 月別収量調査 (5株当たり)

(単位: g)

	4下	5上	5中	5下	6上	6中	6下	7上	7中
キャロル10	0	80	365	938	1,594	2,029	1,925	1,785	1,339
キャロルクイーン	0	64	358	1,104	1,684	2,420	2,494	2,648	706
サンチェリーピュア	0	123	542	1,564	1,671	2,042	2,388	2,359	954
ラブリー藍	0	279	450	1,199	1,739	2,426	2,631	2,157	640
CF千果	0	159	540	1,141	2,112	1,663	2,544	2,676	716
リトルジェムダブル	0	300	483	1,478	1,835	3,015	3,052	2,403	1,027
リトルジェム早生	21	216	774	1,411	1,606	2,896	2,951	2,106	580

図1 サイズ別収量調査 (5株当たり)

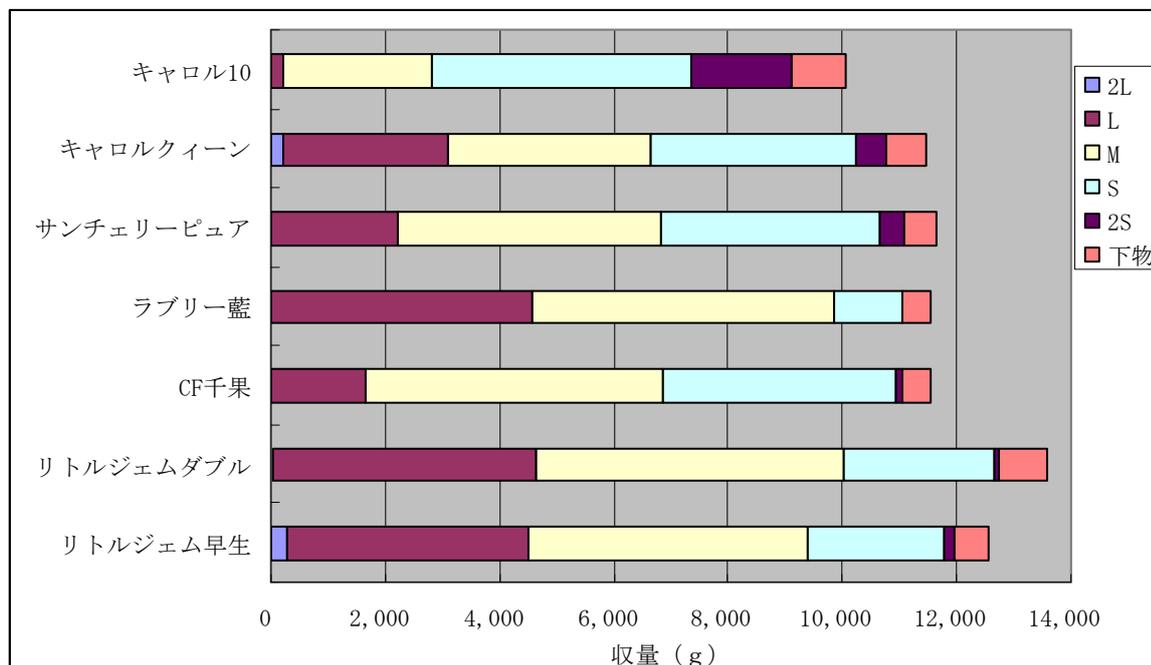
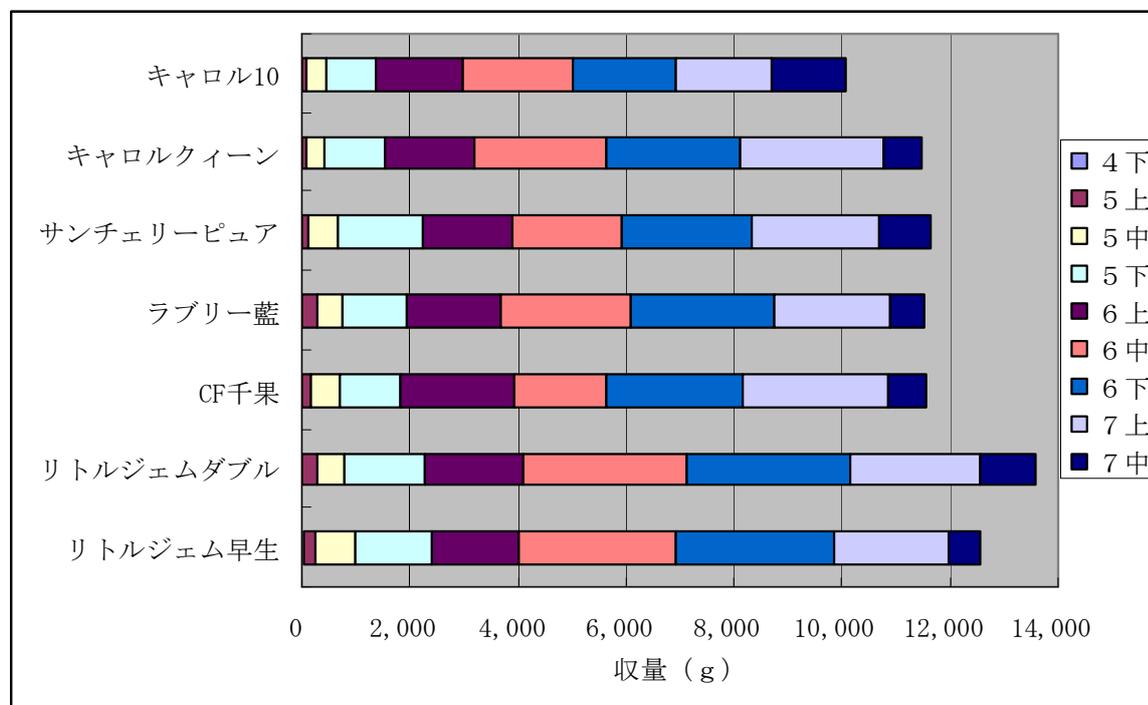


図2 月別収量調査 (5株当たり)



施設野菜の部 No.12																																																																																																	
調 査 名	ミニトマトの夏秋栽培における品種比較調査（平成 19 年度～22 年度）																																																																																																
目 的	当地域におけるミニトマト夏秋栽培について、有望な品種を見つけるため品種比較し、栽培上の資料とする。																																																																																																
供 用 施 設	ガラス温室 6 号（165 m ² ：約 50 坪）																																																																																																
調査区の構成	<p>1 調査区 8 区（1 品種 1 区制 5 株）</p> <p>2 供試品種</p> <p>(1) キャロル 10（㈱サカタのタネ）</p> <p>(2) キャロルクイーン（㈱サカタのタネ）</p> <p>(3) SC7-040（㈱サカタのタネ）</p> <p>(4) ラブリー藍（みかど協和種苗㈱）</p> <p>(5) CF 千果（タキイ種苗㈱）</p> <p>(6) サンチェリースマイル（トキタ種苗㈱）</p> <p>(7) リトルジェム早生（朝日工業㈱）</p> <p>(8) リトルジェムダブル（朝日工業㈱）</p>																																																																																																
耕 種 概 要	<p>1 は種月日 平成 21 年 2 月 10 日</p> <p>2 移植月日 平成 21 年 2 月 27 日（12 cmポット）</p> <p>3 定植月日 平成 21 年 3 月 31 日</p> <p>4 育苗日数 49 日</p> <p>5 栽植距離 ベッド幅 120 cm×株間 40 cm×2 条 千鳥植え</p> <p>6 定植株数 300 株/棟</p> <p>7 施肥量（温室 1 棟：165 m²）</p> <table border="1" data-bbox="587 1037 1228 1193"> <thead> <tr> <th>資材名(成分比%)</th> <th></th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>200kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土壌改良資材</td> <td>250L</td> <td>籾殻薫炭</td> </tr> <tr> <td>微生物資材</td> <td>40kg</td> <td>ハイフミンデルマ</td> </tr> </tbody> </table> <p>8 施肥設計 土壌溶液 EC 濃度 0.7～1.7（生育ステージによる） 養液土耕 5 号=12：20：20 養液土耕 2 号=14：8：25</p> <table border="1" data-bbox="574 1305 1244 1749"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">月日</th> <th rowspan="2">日数</th> <th rowspan="2">一日の灌液量</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th rowspan="2">窒素量(g)</th> </tr> <tr> <th>開始日</th> <th>終了日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定植前</td> <td>3月30日</td> <td>3月30日</td> <td>1</td> <td>480</td> <td>養土5</td> <td>26.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">定植</td> <td>3月31日</td> <td>4月4日</td> <td>5</td> <td>180</td> <td>養土5</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>4月5日</td> <td>4月19日</td> <td>15</td> <td>240</td> <td>養土5</td> <td>18.7</td> </tr> <tr> <td>4月20日</td> <td>5月4日</td> <td>15</td> <td>360</td> <td>養土5</td> <td>29.3</td> </tr> <tr> <td>5月5日</td> <td>5月14日</td> <td>10</td> <td>480</td> <td>養土2</td> <td>34.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">収穫開始</td> <td>5月15日</td> <td>6月18日</td> <td>35</td> <td>600</td> <td>養土2</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>6月19日</td> <td>7月18日</td> <td>30</td> <td>660</td> <td>養土2</td> <td>45.3</td> </tr> <tr> <td>7月19日</td> <td>8月17日</td> <td>30</td> <td>660</td> <td>養土2</td> <td>42.7</td> </tr> <tr> <td>8月18日</td> <td>9月16日</td> <td>30</td> <td>600</td> <td>養土2</td> <td>37.3</td> </tr> <tr> <td>9月17日</td> <td>10月7日</td> <td>21</td> <td>540</td> <td>養土2</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>10月8日</td> <td>10月22日</td> <td>15</td> <td>360</td> <td>養土2</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>10月23日</td> <td>10月30日</td> <td>8</td> <td>300</td> <td>養土2</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計 N：P：K =7.22：5.02：12.08</p> <p>9 収穫期間 平成 21 年 5 月 15 日～10 月 30 日</p> <p>10 薬剤散布 オンシツコナジラミ対策としてラノーテープ剤を畦毎 1 本、作物に触れない株上の位置に設置した。 平成 21 年 3 月 16 日～10 月 16 日(成分回数 34 回)</p> <p>11 ホルモン処理 トマトトーンによる花房処理 毎週 2 回 低温時（20℃以下：50 倍）、高温時（20℃以上：100 倍）</p> <p>12 摘 心 平成 21 年 10 月 1 日（16～18 段）</p>	資材名(成分比%)		摘 要	堆肥（バーク堆肥）	200kg		土壌改良資材	250L	籾殻薫炭	微生物資材	40kg	ハイフミンデルマ		月日		日数	一日の灌液量	肥料名	窒素量(g)	開始日	終了日	定植前	3月30日	3月30日	1	480	養土5	26.7	定植	3月31日	4月4日	5	180	養土5	13.3	4月5日	4月19日	15	240	養土5	18.7	4月20日	5月4日	15	360	養土5	29.3	5月5日	5月14日	10	480	養土2	34.7	収穫開始	5月15日	6月18日	35	600	養土2	40.0	6月19日	7月18日	30	660	養土2	45.3	7月19日	8月17日	30	660	養土2	42.7	8月18日	9月16日	30	600	養土2	37.3	9月17日	10月7日	21	540	養土2	33.3	10月8日	10月22日	15	360	養土2	13.3	10月23日	10月30日	8	300	養土2	0.0
資材名(成分比%)		摘 要																																																																																															
堆肥（バーク堆肥）	200kg																																																																																																
土壌改良資材	250L	籾殻薫炭																																																																																															
微生物資材	40kg	ハイフミンデルマ																																																																																															
	月日		日数	一日の灌液量	肥料名	窒素量(g)																																																																																											
	開始日	終了日																																																																																															
定植前	3月30日	3月30日	1	480	養土5	26.7																																																																																											
定植	3月31日	4月4日	5	180	養土5	13.3																																																																																											
	4月5日	4月19日	15	240	養土5	18.7																																																																																											
	4月20日	5月4日	15	360	養土5	29.3																																																																																											
	5月5日	5月14日	10	480	養土2	34.7																																																																																											
収穫開始	5月15日	6月18日	35	600	養土2	40.0																																																																																											
	6月19日	7月18日	30	660	養土2	45.3																																																																																											
	7月19日	8月17日	30	660	養土2	42.7																																																																																											
	8月18日	9月16日	30	600	養土2	37.3																																																																																											
	9月17日	10月7日	21	540	養土2	33.3																																																																																											
	10月8日	10月22日	15	360	養土2	13.3																																																																																											
	10月23日	10月30日	8	300	養土2	0.0																																																																																											

結果の概要	<p>病害については、8月下旬から灰色かび病が発生した。害虫については、ハモグリバエ、アブラムシ、アザミウマ類が見られた。</p> <p>収量調査においては、総収量、上物収量ともに「リトルジェムダブル」「リトルジェム早生」「ラブリー藍」の順であった。上物率は「リトルジェムダブル」「ラブリー藍」「サンチェリースマイル」の順で高かった。</p> <p>「リトルジェムダブル」は着果が良いこと、比較的花房の先の果実にも小玉が少ないことから収量は優れていたが、色つやの面で比較的劣った。</p> <p>色つやに関しては「サンチェリースマイル」「キャロル10」が比較的優れていた。</p> <p>糖度は6～7brix%程度で、品種による大きな差異は見られなかった。</p>
-------	--

表1 生育調査 (平成21年3月31日・5月15日)

品種名	草丈 (cm)	葉数 (枚)	第1花房 の節位	茎の太さ (mm)	葉長 (cm)
キャロル10	35.3	8.3	6.0	6.0	18.2
	205.5	26.9		9.9	47.8
キャロルクイーン	39.9	8.8	6.4	6.3	19.9
	197.1	27.6		9.9	47.8
SC7-040	34.2	7.9	5.8	6.7	49.7
	184.4	26.0		10.2	50.2
ラブリー藍	35.5	8.5	6.0	5.8	18.0
	174.0	25.5		10.0	46.3
CF千果	38.7	8.9	5.5	6.7	20.6
	143.0	25.6		9.8	46.1
サンチェリースマイル	38.1	8.7	6.0	6.2	19.7
	175.1	26.2		9.8	47.4
リトルジェム早生	36.6	10.0	6.0	6.6	19.4
	153.0	28.4		10.8	38.5
リトルジェムダブル	37.3	8.7	6.1	5.8	17.8
	173.6	28.1		9.6	45.0

表2 品種別収量調査 (5株当たり)

(単位: g、個)

品種	2L (21g以上)		L (15~21g未満)		M (11~15g未満)		S (7~11g未満)		2S (5~7g未満)	
	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数
キャロル10	23	1	1,409	85	4,193	334	8,642	963	1,377	228
キャロルクイーン	422	19	4,312	250	6,375	504	4,416	474	528	84
SC7-040	616	27	3,275	194	4,812	381	3,657	405	688	113
ラブリー藍	21	1	5,160	311	9,183	716	2,236	231	138	23
CF千果	246	11	3,634	215	5,474	428	4,207	461	568	92
サンチェリースマイル	79	5	827	53	4,089	332	7,492	852	1,564	253
リトルジェム早生	469	21	5,489	319	6,763	526	4,066	445	511	83
リトルジェムダブル	155	7	4,265	253	8,378	663	5,417	602	496	81

品種	上物収量		下物		合計		平均1果重 (g)	重量上物率 (%)	棟当り換算 収量(kg)	10a当り換算総収量(t)	
	収量	個数	収量	個数	収量	個数				H21年	H20年
キャロル10	15,644	1,611	1,596	178	17,240	1,789	9.6	90.7%	1,034	6.2	7.0
キャロルクイーン	16,053	1,331	1,165	108	17,218	1,439	12.0	93.2%	1,033	6.2	
SC7-040	13,048	1,120	1,604	206	14,652	1,326	11.0	89.1%	879	5.3	
ラブリー藍	16,738	1,282	691	57	17,429	1,339	13.0	96.0%	1,046	6.3	
CF千果	14,129	1,207	1,033	117	15,162	1,324	11.5	93.2%	910	5.5	
サンチェリースマイル	14,051	1,495	690	98	14,741	1,593	9.3	95.3%	884	5.3	
リトルジェム早生	17,298	1,394	901	102	18,199	1,496	12.2	95.0%	1,092	6.6	7.4
リトルジェムダブル	18,711	1,606	629	72	19,340	1,678	11.5	96.7%	1,160	7.0	6.7

表3 月別収量調査 (5株当たり)

(単位:g)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
キャロル10	513	4,791	5,935	3,193	1,341	1,467
キャロルクイーン	699	4,472	7,080	3,071	1,000	896
SC7-040	469	4,383	6,524	1,970	590	716
ラブリー藍	463	4,837	6,078	2,810	1,519	1,722
CF千果	630	3,914	6,111	1,920	1,147	1,440
サンチェリースマイル	546	4,092	5,443	2,255	1,263	1,142
リトルジェム早生	1,016	4,894	6,417	2,825	1,552	1,495
リトルジェムダブル	665	5,156	6,688	3,025	1,613	2,193

図1 サイズ別収量調査 (5株当たり)

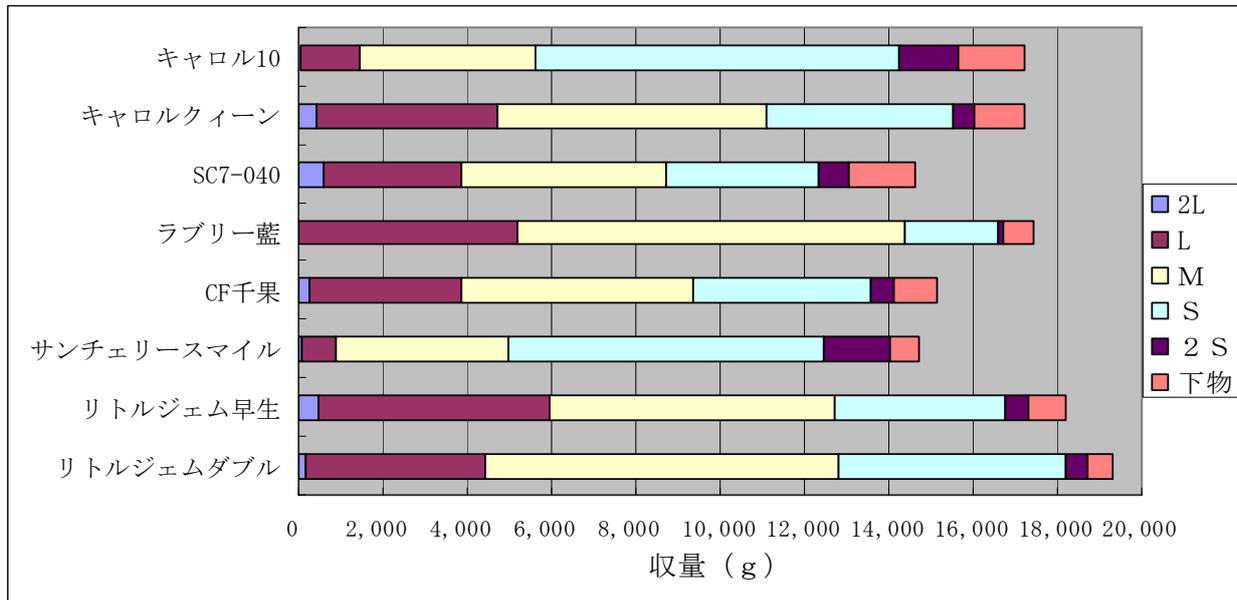
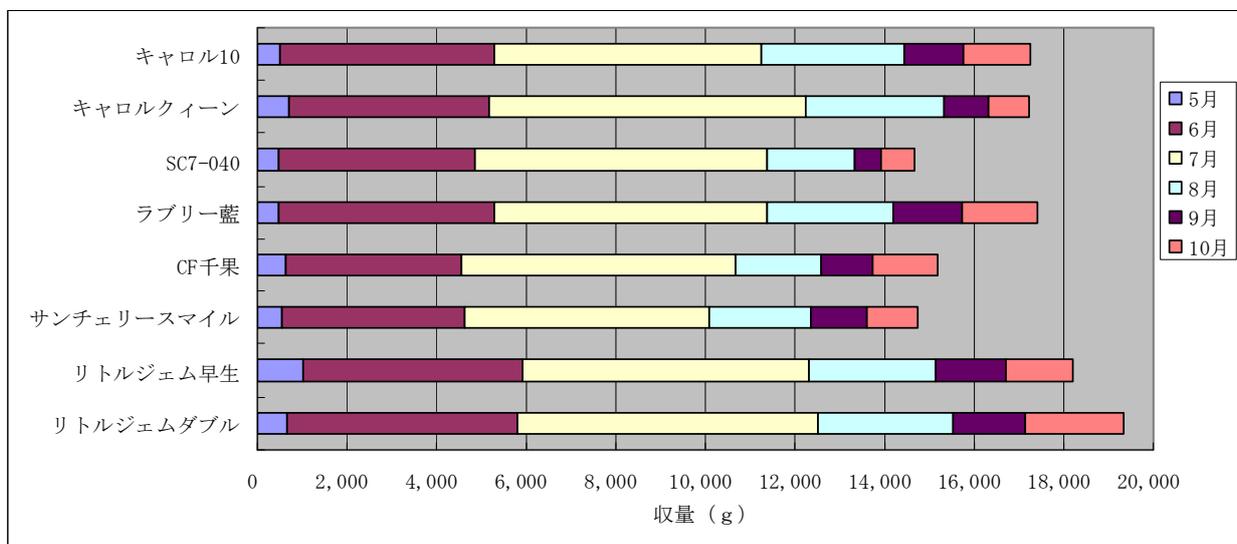


図2 月別収量調査 (5株当たり)



施設野菜の部 No.13																																																						
調査名	ミニトマトの抑制栽培における品種比較調査（平成14年度～22年度）																																																					
目的	当地域におけるミニトマト抑制栽培について、有望な品種を見つけるため品種比較し、栽培上の資料とする。																																																					
供用施設	ガラス温室5号（165㎡：約50坪）																																																					
調査区の構成	<p>1 調査区 8区（1品種1区制5株）</p> <p>2 供試品種</p> <p>(1) キャロル10（㈱サカタのタネ）</p> <p>(2) キャロルクイーン（㈱サカタのタネ）</p> <p>(3) SC7-040（㈱サカタのタネ）</p> <p>(4) サンチェリーピュア（トキタ種苗㈱）</p> <p>(5) ラブリー藍（みかど協和㈱）</p> <p>(6) CF千果（タキイ種苗㈱）</p> <p>(7) リトルジェムダブル（朝日工業㈱）</p> <p>(8) リトルジェム早生（朝日工業㈱）</p>																																																					
耕種概要	<p>1 は種月日 平成21年6月11日</p> <p>2 定植月日 平成21年7月21日（前作の栽培中、株間に定植）</p> <p>3 栽植距離 ベッド幅120cm×株間40cm×2条・千鳥植え</p> <p>4 定植株数 300株/棟</p> <p>5 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる） 養液土耕5号＝12：20：20 養液土耕2号＝14：8：25</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">月日</th> <th rowspan="2">日数</th> <th rowspan="2">1日の 灌液量</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th rowspan="2">窒素量(g)</th> </tr> <tr> <th>開始日</th> <th>終了日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">定植</td> <td>7月21日</td> <td>7月31日</td> <td>11</td> <td>240</td> <td>養土2</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>8月1日</td> <td>8月9日</td> <td>9</td> <td>480</td> <td>養土5</td> <td>23.3</td> </tr> <tr> <td>8月10日</td> <td>8月23日</td> <td>14</td> <td>480</td> <td>養土5</td> <td>36.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">収穫開始</td> <td>8月24日</td> <td>9月20日</td> <td>28</td> <td>600</td> <td>養土2</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>9月21日</td> <td>10月18日</td> <td>28</td> <td>660</td> <td>養土2</td> <td>56.7</td> </tr> <tr> <td>10月19日</td> <td>11月15日</td> <td>28</td> <td>660</td> <td>養土2</td> <td>53.3</td> </tr> <tr> <td>11月16日</td> <td>11月30日</td> <td>15</td> <td>600</td> <td>養土2</td> <td>46.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>合計N：P：K ＝6.04：4.17：10.72（kg/165㎡）</p> <p>6 収穫期間 平成21年8月28日～11月30日</p> <p>7 薬剤散布 オンシツコナジラミ対策としてラノーテープ剤を畦毎に1本、作物に触れない株上の位置に設置した。 平成21年7月23日～10月16日（成分回数18回）</p> <p>8 ホルモン処理 トマトトーンを毎週火・金曜日に花房処理 低温時（20℃以下：50倍）、高温時（20℃以上：100倍）</p> <p>9 摘心 平成21年10月9日（7段程度）</p>		月日		日数	1日の 灌液量	肥料名	窒素量(g)	開始日	終了日	定植	7月21日	7月31日	11	240	養土2	16.7	8月1日	8月9日	9	480	養土5	23.3	8月10日	8月23日	14	480	養土5	36.7	収穫開始	8月24日	9月20日	28	600	養土2	50.0	9月21日	10月18日	28	660	養土2	56.7	10月19日	11月15日	28	660	養土2	53.3	11月16日	11月30日	15	600	養土2	46.7
	月日		日数	1日の 灌液量					肥料名	窒素量(g)																																												
	開始日	終了日																																																				
定植	7月21日	7月31日	11	240	養土2	16.7																																																
	8月1日	8月9日	9	480	養土5	23.3																																																
	8月10日	8月23日	14	480	養土5	36.7																																																
収穫開始	8月24日	9月20日	28	600	養土2	50.0																																																
	9月21日	10月18日	28	660	養土2	56.7																																																
	10月19日	11月15日	28	660	養土2	53.3																																																
	11月16日	11月30日	15	600	養土2	46.7																																																
結果の概要	<p>病害虫については、灰色かび病とアザミウマ、アブラムシの発生があった。</p> <p>総収量、上物収量ともに、「リトルジェム早生」「リトルジェムダブル」「キャロルクイーン」の順であった。</p> <p>「リトルジェム早生」「リトルジェムダブル」は、着果がよく、花房の先の果実も果重が比較的落ちないこと、また、「リトルジェム早生」は節間が短く、段の進みが速いことから、収量は優れていたが、2つとも色つやの面で比較的劣った。</p>																																																					

表1 生育調査 (平成21年8月28日:収穫時)

品種名	項目	草丈 (cm)	葉数 (枚)	第1花房 の節位	茎の太さ (mm)	葉長 (cm)
キャロル10		214.2	28.2	8.6	9.2	51.0
キャロルクイーン		211.5	26.3	7.9	7.6	51.2
サンチェリーピュア		188.9	27.8	7.9	7.3	44.5
CF千果		124.7	23.5	6.9	8.8	51.3
リトルジェムダブル		187.9	28.4	7.1	7.1	45.0
リトルジェム早生		168.7	29.9	6.8	8.2	47.6
ラブリー藍		164.9	28.2	8.6	8.9	51.8
SC7-040		188.5	24.9	7.1	8.6	51.2

表2 品種別収量調査 (5株当たり)

(単位: g、個)

品種	2L (21g) 以上		L (15~21g未満)		M (11~15g未満)		S (11~15g未満)		2S (7~11g未満)	
	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数	収量	個数
キャロル10	42	2	1,811	109	2,892	222	3,578	407	1,159	271
キャロルクイーン	230	10	4,376	261	4,243	327	1,860	200	159	26
SC7-040	110	5	3,111	187	3,602	281	1,914	206	307	51
サンチェリーピュア	0	0	2,405	149	4,906	383	1,817	195	191	31
ラブリー藍	42	2	7,080	417	2,885	215	399	43	23	4
CF千果	531	24	4,501	262	2,708	206	1,468	167	224	35
リトルジェムダブル	90	4	5,939	359	4,515	336	617	64	58	9
リトルジェム早生	338	16	5,527	329	5,292	401	969	101	69	11

品種	上物		下物		合計		平均1果重 (g)	重量上物率 (%)	棟当り換算10a当り	
	収量	個数	収量	個数	収量	個数			収量(kg)	換算収量(t)
キャロル10	9,482	1,011	901	188	10,383	1,199	8.7	91.3%	623	3.7
キャロルクイーン	10,868	824	269	26	11,137	850	13.1	97.6%	668	4.0
SC7-040	9,044	730	394	41	9,438	771	12.2	95.8%	566	3.4
サンチェリーピュア	9,319	758	215	30	9,534	788	12.1	97.7%	572	3.4
ラブリー藍	10,429	681	184	14	10,613	695	15.3	98.3%	637	3.8
CF千果	9,432	694	198	21	9,630	715	13.5	97.9%	578	3.5
リトルジェムダブル	11,219	772	235	19	11,454	791	14.5	97.9%	687	4.1
リトルジェム早生	12,195	858	158	15	12,353	873	14.2	98.7%	741	4.4

表3 月別収量調査 (5株当たり)

(単位: g)

	8下	9上	9中	9下	10上	10中	10下	11上	11中	11下
キャロル10	36	394	1,116	1,342	1,337	1,648	1,290	1,247	864	1,109
キャロルクイーン	118	254	1,213	1,147	1,404	2,319	1,531	1,299	995	857
SC7-040	14	348	919	971	1,314	1,568	1,382	1,377	891	654
サンチェリーピュア	125	369	889	1,178	1,032	1,614	1,492	1,116	672	1,047
ラブリー藍	26	557	1,115	1,132	1,386	1,902	1,477	1,273	1,022	723
CF千果	114	436	1,159	1,421	1,279	1,777	1,039	929	779	697
リトルジェムダブル	39	317	1,090	1,264	1,314	2,513	1,435	1,601	824	1,057
リトルジェム早生	177	721	1,018	1,308	1,016	2,729	1,163	1,816	1,283	1,122

図1 サイズ別収量調査 (5株当たり)

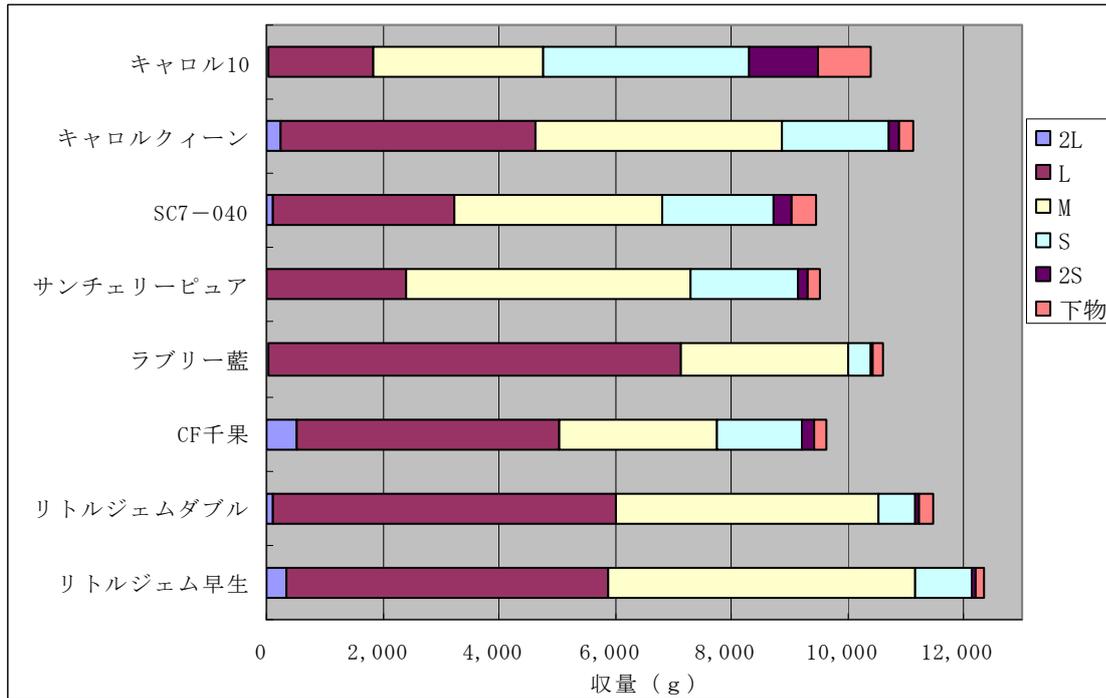
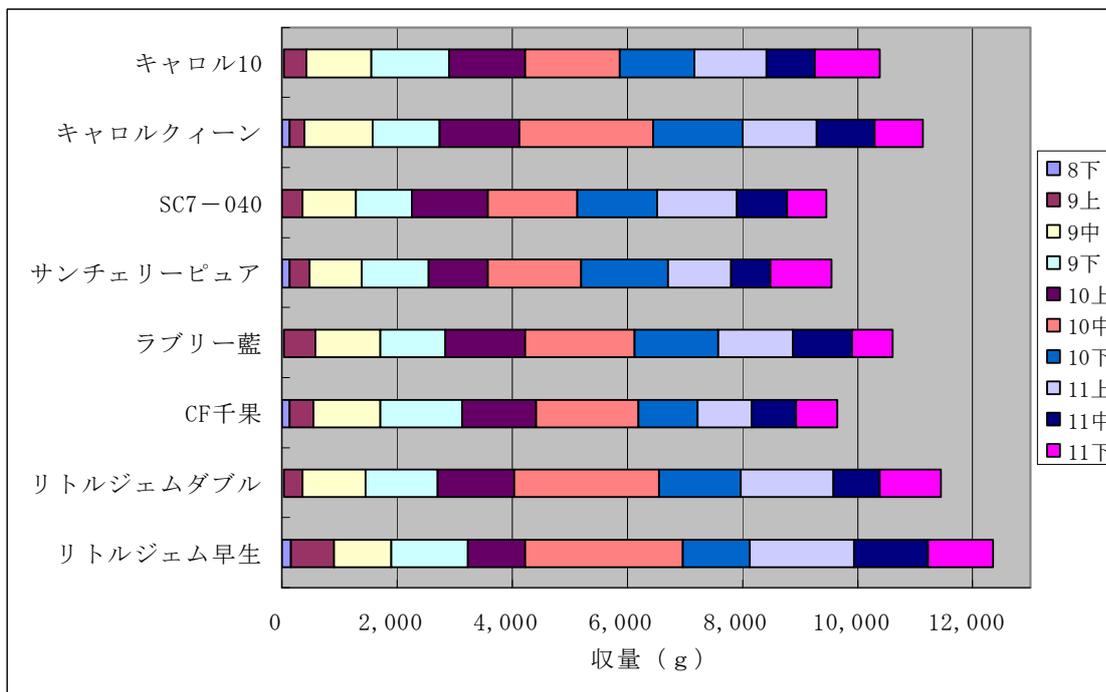


図2 月別収量調査 (5株当たり)



2-3 調査成績（露地野菜）

露地野菜の部 No. 1					
調 査 名	ねぎの品種比較調査（平成14年度～21年度）				
目 的	ハウスねぎを組み合わせたねぎの周年栽培を実施し、当地域における周年出荷の可能性及びねぎの適応品種について調査する。				
調査区 の構成 及び耕種 概要	ハウスねぎ：供試品種（4品種） 1品種1区制 露地ねぎ：供試品種（10品種） //				
	栽培方法	ハウスねぎ		露地ねぎ	
	供用施設	パイプハウス9号(1a)			
	は種月日	11月11日	1月14日	4月3日	5月19日
	育苗方法	プラグポット（220穴）		チェーンポットCP-303（264穴）	
	供試品種	(1)K-905 (2)冬扇3号 (3)みちのく701号 (4)Y0-810		(1)K-904 (2)K-924 (3)夏扇パワー (4)みちのく701号 (5)MSI-856 (6)夏扇2号 (7)夏扇4号 (8)Y0-810 (9)夏秋白扇5号 (10)おいらせ111	
	培土	ねぎの助			
	定植月日	2月13日	4月1日	5月15日	6月24日
	育苗日数	94日	74日	42日	36日
	植栽距離	30×3.5cm×1		畦幅100cm×株間5cm×2本	
	植付本数	5,400本/a		40,000本/10a	
	収穫月日	7月19日	8月4日	9月24日	11月4日
施肥量	【元肥】 ねぎの輝き12kg (10-10-8) 新ぼかしみらい15kg (1.83-5.16-1.44) パーク堆肥300kg 【追肥】 大塚5号 8kg/a/5回 (12-20-20) 合計：2.43-4.47-2.78		【元肥】 ねぎの輝き 100kg/10a (10-10-8 有機35%) パワーリン(30%)34kg/10a 堆肥2t/10a 【追肥】 くみあい燐硝安加里s646 90kg/10a/3回(16-4-16) 合計：24.4-23.8-22.4/10a		
薬剤散布	3回(3/10～5/29)	8回(5/21～7/16)	13回(5/29～9/2)	16回(7/7～10/16)	
結果の概要	<p>(ハウスねぎ) 軟白長については、全ての品種で出荷規格(35 cm超)を満たし、「みちのく 701号」では、40.4 cmとなり最も長かった。 L、M率についても、「みちのく 701号」が高く、92%であった。 以上から、今年度の結果では「みちのく 701号」が低温伸長性があり有望と思われる。</p> <p>(露地ねぎ) 収量と2L、L率、軟白長の結果から良好な品種だったものは次のとおりであった。 (1) 1月14日は種(8/4収穫) … 「K-904」 (2) 4月3日は種(9/24収穫) … 「夏秋白扇5号」 (3) 5月19日は種(11/14収穫) … 「みちのく 701号」 病害虫については、アザミウマ、ボトリチス葉枯病、ベト病、黒斑病が夏以降、確認された。</p> <p>本年度までの調査では、作型による品種の相関が判然としなかったため、次年度についても調査を実施したい。</p>				

表1 ハウス軟白ねぎ調査結果一覧

は種 月日	定植 月日	調査 月日	品種	株間 (cm)	全長 (cm)	分枝点 (cm)	軟白長 (cm)	軟白径 (mm)	調整後 1本重 (g)	L, M率 (%)	収量 (kg/10a)
11/11	2/13	7/19	K-905	3.5	102.7	51.2	39.3	14.6	107.9	72	4,660
			冬扇3号	3.5	103.3	52.0	38.4	13.8	108.0	64	4,666
			みちのく701	3.5	106.8	51.8	40.4	14.9	126.8	92	5,476
			Y0-810	3.5	104.0	48.1	36.4	13.3	96.0	52	4,145

※ 株間3.5cm→54,000本/10a×80% (出荷率)×調整後1本重

図1 ハウス軟白ねぎの収量比較

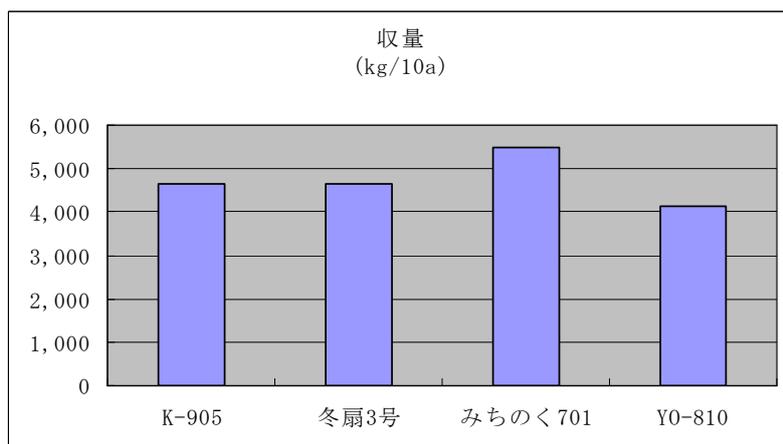


図2 ハウス軟白ねぎの軟白長、L、M率比較

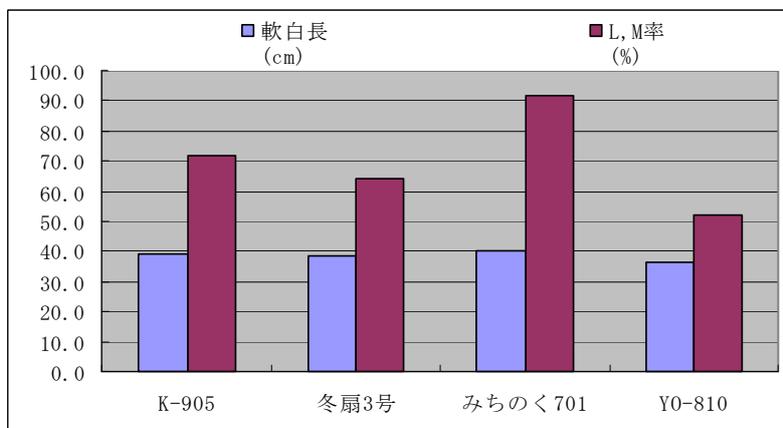


図3 ハウス軟白ねぎの規格別割合

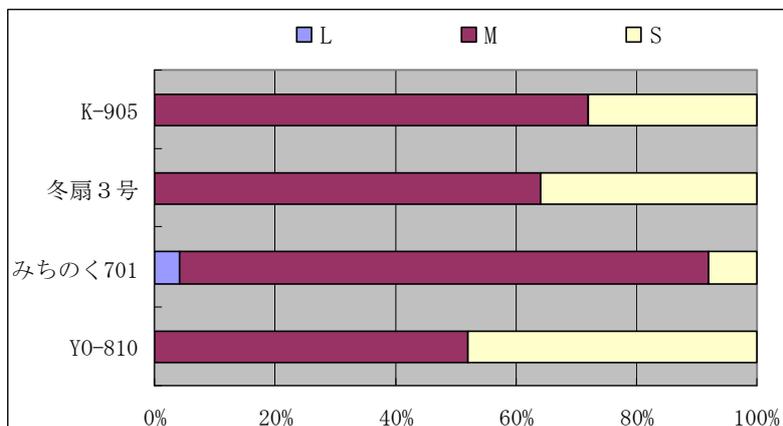


表2 露地ねぎの調査結果一覧

は種 月日	定植 月日	調査 月日	品種	調整後 1本重(g)	全長 (cm)	分枝点 (cm)	軟白長 (cm)	軟白径 (mm)	2L,L率 (%)	収量 kg/10a
1/14	4/1	8/4	K-904	203.0	100.7	42.5	30.2	16.6	90.0	6,497
			K-924	193.3	104.8	39.7	27.1	16.2	90.0	6,185
			夏扇パワー	174.1	98.3	41.0	28.8	14.2	46.7	5,571
			みちのく701	204.7	101.5	41.3	28.4	15.4	76.7	6,550
			MSI-856	170.7	101.4	43.3	28.0	15.8	93.3	5,463
			夏扇2号	164.6	95.5	40.5	28.2	15.5	70.0	5,268
			夏扇4号	210.0	104.3	42.9	28.6	17.0	96.7	6,720
			Y0-810	195.2	109.4	42.9	27.1	16.2	76.7	6,245
			夏秋白扇5号	201.7	101.2	43.1	28.9	15.0	63.3	6,454
おいらせ111	209.5	103.0	43.3	27.9	16.5	90.0	6,703			
4/3	5/15	9/24	K-904	181.1	102.2	40.1	33.4	17.9	96.7	5,795
			K-924	169.0	111.3	43.3	35.0	18.0	100.0	5,407
			夏扇パワー	180.7	104.2	42.9	34.6	17.9	100.0	5,783
			みちのく701	185.7	97.0	37.8	28.8	17.9	86.7	5,941
			MSI-856	164.4	104.1	42.3	33.9	18.0	100.0	5,262
			夏扇2号	150.2	98.0	41.3	34.2	16.3	83.3	4,806
			夏扇4号	167.7	103.3	42.5	35.8	17.6	96.7	5,366
			Y0-810	174.1	110.5	41.7	31.6	18.1	90.0	5,570
			夏秋白扇5号	182.1	102.3	43.6	35.5	17.7	100.0	5,827
おいらせ111	184.3	97.9	40.7	30.2	17.4	93.3	5,898			
5/19	6/24	11/4	K-904	212.6	93.7	38.6	28.6	18.3	100.0	6,802
			K-924	237.5	105.0	40.4	27.4	18.9	100.0	7,599
			夏扇パワー	217.7	98.4	38.1	27.7	17.9	100.0	6,965
			みちのく701	283.9	100.1	40.7	28.9	19.3	100.0	9,086
			MSI-856	208.4	101.2	42.3	28.1	18.3	100.0	6,668
			夏扇2号	247.4	93.0	36.0	27.3	21.1	96.7	7,916
			夏扇4号	239.9	98.0	39.3	29.3	19.0	100.0	7,677
			Y0-810	247.9	105.6	41.0	29.9	18.7	96.7	7,932
			夏秋白扇5号	217.7	100.3	39.6	28.7	17.2	93.3	6,967
おいらせ111	280.3	97.3	39.4	29.4	20.2	96.7	8,969			

※ 収量：40,000本/10a×80%(出荷率)×調整後1本重

図3 露地ねぎの収量比較

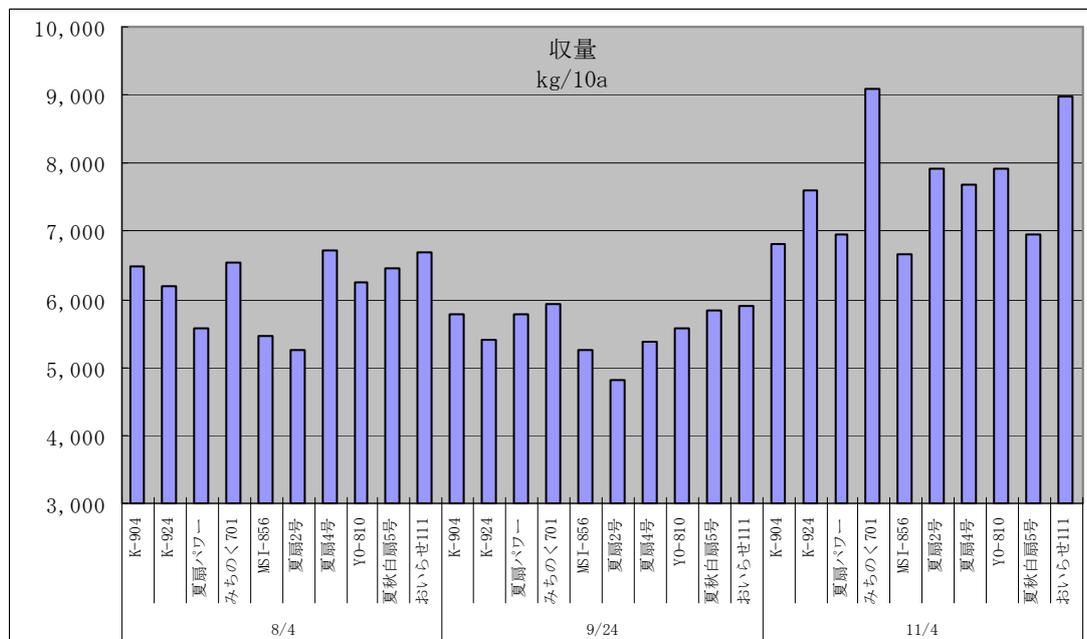


図4 露地ねぎの軟白長、2L,L率比較

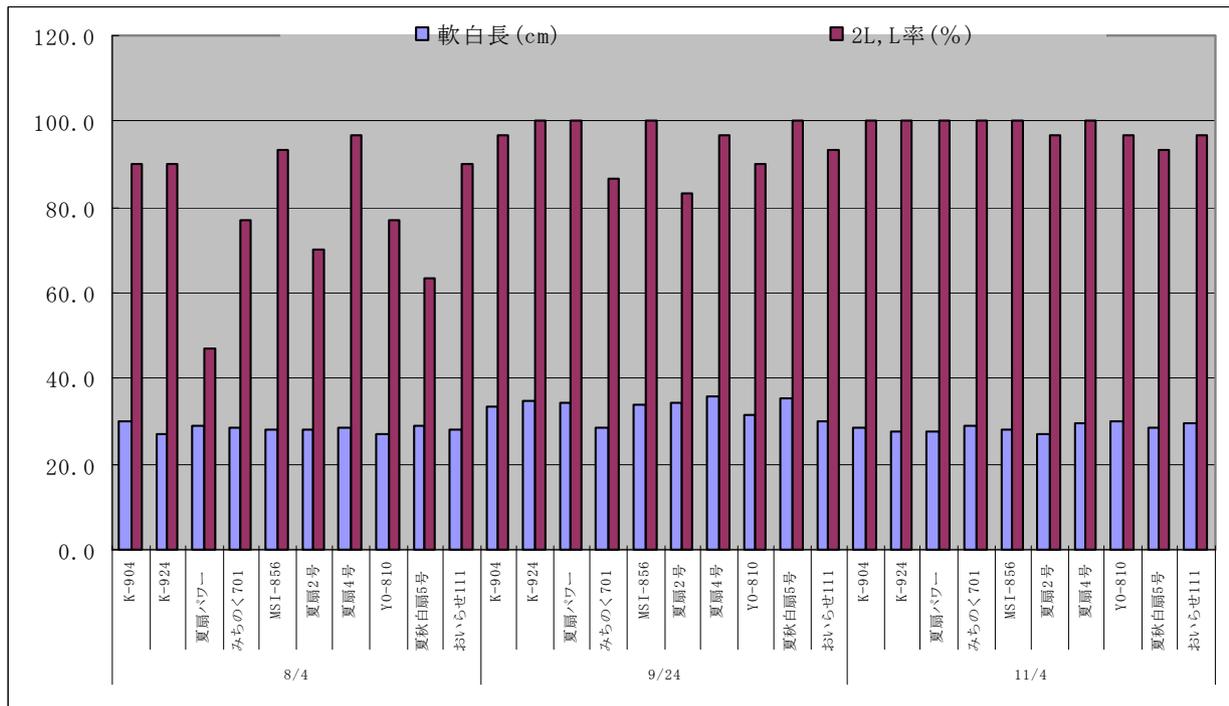
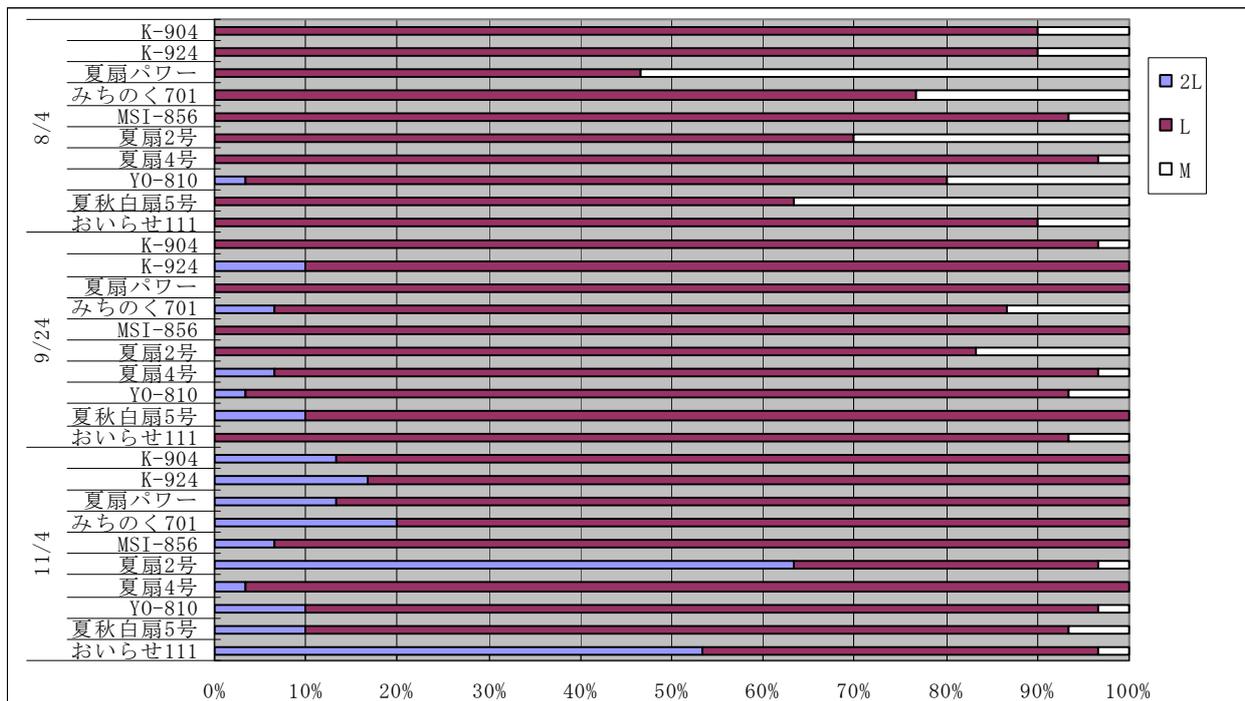


図5 露地ねぎの規格別割合



露地野菜の部 No. 2																												
調査名	養液土耕によるピーマンの品種比較調査（平成14年度～21年度）																											
目的	露地栽培において、は種期別の品種比較調査をし栽培上の資料とする。																											
調査区の構成	<p>1 調査区 9区（3品種×は種期3期）</p> <p>2 供試品種 (1)京鈴 … (株タキイ)</p> <p>(2)かがやき … (南南国育種研究農場)</p> <p>(3)新さきがけ2号 … (株高知前川種苗)</p>																											
耕種概要	<table border="1" data-bbox="448 667 1275 898"> <thead> <tr> <th rowspan="2">栽培方法</th> <th>トンネル栽培</th> <th>トンネル栽培</th> <th>マルチ栽培</th> </tr> <tr> <th>(ポリトンネル)</th> <th>(パスライト)</th> <th>抑制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>は種月日</td> <td>2月13日</td> <td>3月4日</td> <td>3月24日</td> </tr> <tr> <td>定植月日</td> <td>5月7日</td> <td>5月29日</td> <td>6月16日</td> </tr> <tr> <td>育苗期間</td> <td>83</td> <td>86</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>収穫期間</td> <td>7/2～10/26</td> <td>7/2～10/26</td> <td>7/2～10/26</td> </tr> <tr> <td>栽植距離</td> <td colspan="2">畦幅150cm×株間50cm</td> <td>1,300株/10a</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈施肥設計〉 大塚化学(株)製 養液土耕5号(12-12-20)、1号(15-8-16)使用 期間中合計窒素量 38 kg/10a</p> <p>薬剤散布回数 9回（平成21年4月10日～平成21年9月3日）</p>	栽培方法	トンネル栽培	トンネル栽培	マルチ栽培	(ポリトンネル)	(パスライト)	抑制	は種月日	2月13日	3月4日	3月24日	定植月日	5月7日	5月29日	6月16日	育苗期間	83	86	84	収穫期間	7/2～10/26	7/2～10/26	7/2～10/26	栽植距離	畦幅150cm×株間50cm		1,300株/10a
栽培方法	トンネル栽培		トンネル栽培	マルチ栽培																								
	(ポリトンネル)	(パスライト)	抑制																									
は種月日	2月13日	3月4日	3月24日																									
定植月日	5月7日	5月29日	6月16日																									
育苗期間	83	86	84																									
収穫期間	7/2～10/26	7/2～10/26	7/2～10/26																									
栽植距離	畦幅150cm×株間50cm		1,300株/10a																									
結果の概要	<p>〈昨年までの結果〉 2月中旬は種が、収量、上物率ともに高い傾向がある。品種については、年度によりバラツキがあるが、「京鈴」が安定して良い結果となっている。</p> <p>〈今年度の結果〉 は種期別の上物収量について、2月13日は種については「かがやき」、3月4日は種については「京鈴」、3月24日は種については「かがやき」の収量が多かった。 上物率については、全ての品種で60%未満と低い結果となり、前年度を大きく下回った。特に「新さきがけ2号」の2月13日は種、3月24日は種の上物率は40%以下となった。 総収量と上物率から、今年度は2月13日は種の「かがやき」が有望と思われる。</p> <p>次年度については、再度、品種について検討しながら調査を実施したい。</p>																											

表1 調査結果一覧

年度	は種 月日	定植 月日	品種	上物 (g)	上物 個数	下物 (g)	下物 個数	収量/株 (g)	個数/株 (ヶ)	上物 (%)	平均1果重 (g)	1株当たり	
												10a換算収量 (t)	
21	2/13	5/7	京鈴	3,116	103	2,819	106	5,935	209	49.4	28	7.7	
			かがやき	4,066	124	2,616	89	6,682	213	58.4	31	8.7	
			新さきがけ2号	3,031	101	4,568	168	7,598	269	37.6	28	9.9	
	3/4	5/29	京鈴	3,757	132	3,144	121	6,901	254	52.2	27	9.0	
			かがやき	3,155	99	2,563	90	5,719	189	52.2	30	7.4	
			新さきがけ2号	2,917	113	2,917	116	5,833	229	49.3	25	7.6	
	3/24	6/16	京鈴	2,795	102	2,741	109	5,536	211	48.5	26	7.2	
			かがやき	2,964	95	2,366	75	5,330	170	55.9	31	6.9	
			新さきがけ2号	1,836	68	3,182	130	5,019	198	34.5	25	6.5	
2月中旬			京鈴	5,916	203	1,451	54	7,367	257	79.7	29	9.2	
			かがやき	5,235	174	2,067	80	7,302	254	72.7	29	9.1	
			新さきがけ2号	5,819	222	1,059	41	6,876	263	84.6	26	8.3	
平年	3月上旬			京鈴	5,612	186	1,248	52	6,859	237	82.0	29	8.9
				かがやき	5,235	174	2,067	80	7,302	254	72.7	29	9.1
				新さきがけ2号	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3月下旬			京鈴	4,634	167	939	41	5,572	208	83.6	27	7.0	
			かがやき	4,188	142	1,194	46	5,382	188	77.1	29	6.7	
			新さきがけ2号	5,491	217	751	30	6,242	248	88.0	25	7.5	

※ 平年値は、平成18～20年の平均値。 新さきがけ2号は平成17年の数値。

図1 平成21年度は種期別収量について

(単位 t)

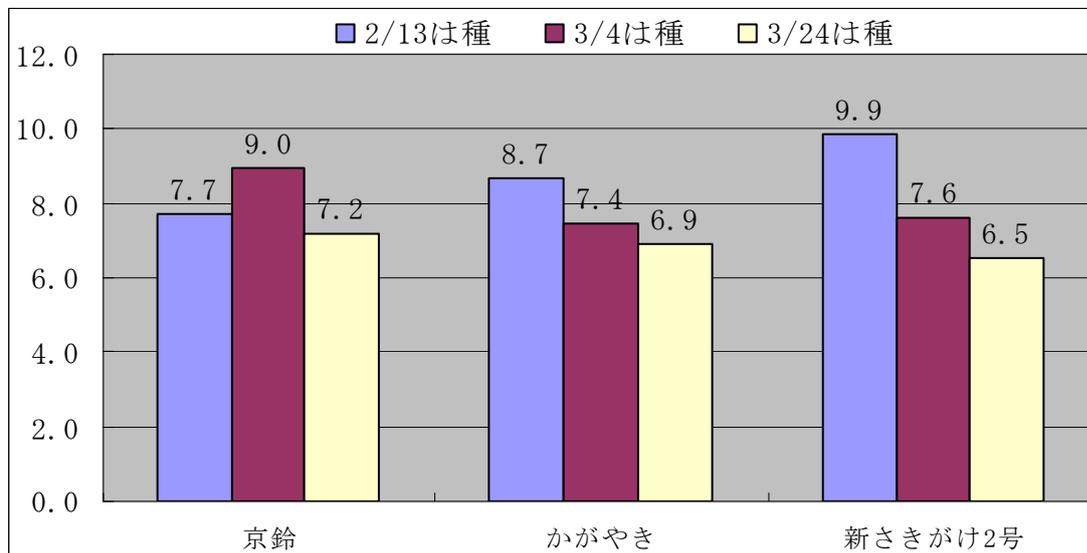
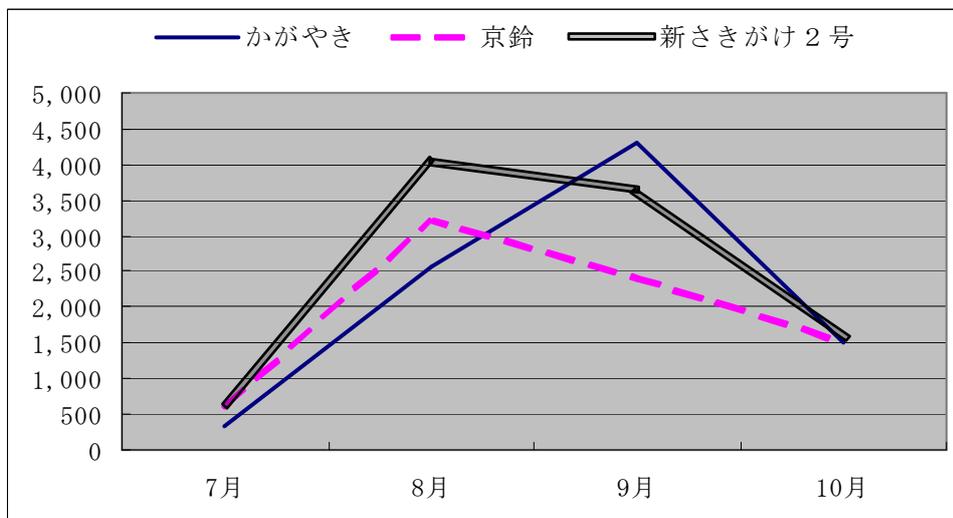
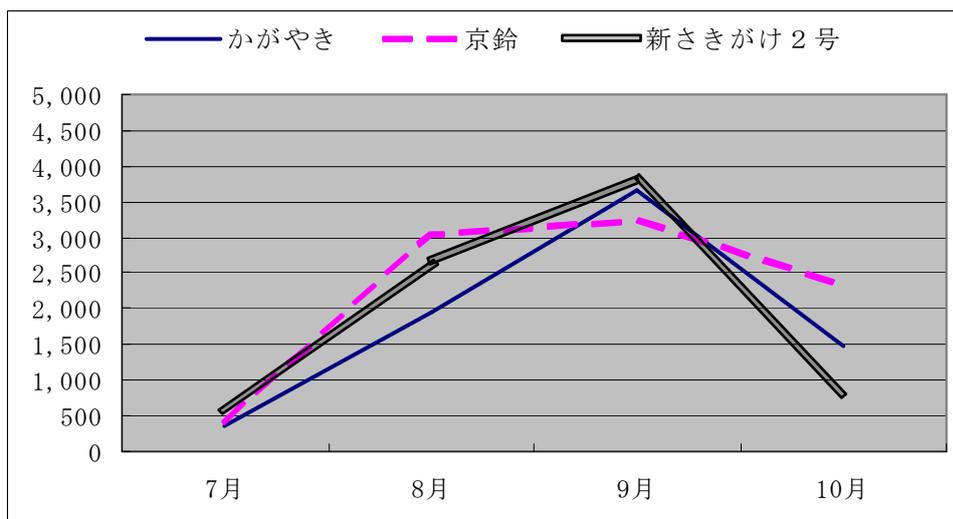


図2 平成21年度月別収量 (kg/10a)

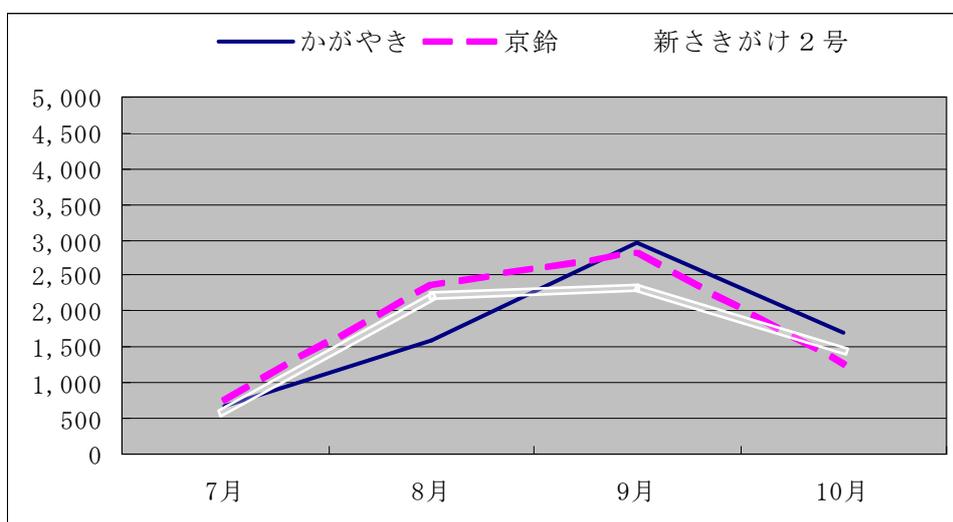
〈2月3日は種〉



〈3月4日は種〉



〈3月24日は種〉



露地野菜の部 No. 3	
調 査 名	ながいも栽培における生分解性ネット調査（平成 16 年度～21 年度）
目 的	使用済みプラスチックの廃棄が規制され、その処理方法が問題になっている。そこで生分解性ネットの分解性と栽培における影響について調査し、栽培上の資料とする。
調 査 区 の 構 成	<p>1 調査区 7 区</p> <p>(1) 慣行区 ・・・(24 cm菱目ネット)</p> <p>(2) MKV ・・・(MKV プラスチック)</p> <p>(3) コーンポール ・・・(岐阜アグリフーズ)</p> <p>(4) テラマック ・・・(ユニチカ)</p> <p>(5) バイオ 70 ・・・(岐阜アグリフーズ)</p> <p>(6) ラクトロン ・・・(カネボウ)</p> <p>(7) 紙ネット ・・・(日東製鋼)</p>
耕 種 概 要	平成 16 年度作付け後の年次毎の分解性調査
結 果 の 概 要	<p>平成 16 年度に回収した分解性ネット「テラマック」の分解状況については、5 年経過後、手で簡単に切断できる程度まで分解し、形状は回収時と変わらなかった。約 3～4 年程度で分解すると思われる。(テラマックについて)</p> <p>分解過程について、概ね結果がでたことから本調査は終了とする。</p>

露地野菜の部 No. 4	
調査名	ながいものマルチ栽培に関する調査（平成19年度～21年度）
目的	ながいものマルチ栽培において収量及び品質に関する調査をし、栽培上の資料とする。
調査区の構成	1 調査区 (1) マルチ (2) 無マルチ 2 供試品種 南部太長（1年子 31～60g）
耕種概要	1 植付け期 平成21年5月25日 2 栽植距離 畝幅120cm×株間15cm 3 植付本数 5,300本/10a 4 施肥量 (1) マルチ区 <植付後、萌芽前> 地源豊穰 240kg/10a、マンモス G-1 160kg/10a フィッシュクイーン 140kg/10a <萌芽前後> CDUタマゴ化成 80kg/10a (15-15-15) パワーリン 75kg/10a ～施肥培土後、マルチ被覆 【合計】 28-44-20kg/10a (2) 無マルチ区 マルチ区と同様でマルチ被覆がなし 5 収穫月日 平成21年12月11日 6 薬剤散布 6回（平成21年7月3日～平成21年9月30日）
結果の概要	<p><昨年までの結果> 10a換算収量については、無マルチ区がマルチ区よりも多い結果となっているが、品質、規格については、年度によりバラツキがある。</p> <p><今年の結果> 10a換算収量については、マルチ区が約1t多い5,076kg/10aとなった。 （昨年までとは逆の結果） 品質について、マルチ区、無マルチ区ともにA品率約6割以上と高くなった。 規格別にみると、2L、L率は同程度だったものの、4L、3L規格が多いのがマルチ区、S規格が多いのが無マルチ区であり、これが10a換算収量及へ反映される結果となった。 マルチをすることにより、4L、3L規格が多くなるが、A品率及び2L、L率は変わらない結果となった。</p> <p>本年度までの結果から、7月後半に降水量が多い年は、マルチ区の10a換算収量が多くなる傾向があると思われる。また品質の相関については判然としなかった。</p>

表1 調査結果一覧

年度	品種	種いも (g)	マルチ	ネット	全長 (cm)	全重 (g)	いも長 (cm)	いも重 (g)	等級	階級 2L, L率	多本 下がり %	10a換算 収量 (kg)
21	南部太長	31~60	有	角目	72.7	979.5	52.7	951.9	1.6	55.0	0.0	5,076
					65.3	778.4	45.6	751.0	1.4	52.2	15.0	4,005
20	新世紀	61~90	有	角目	69.0	799.1	42.6	758.2	1.6	63.3	16.0	4,043
					71.4	890.0	44.8	849.6	2.1	56.7	0.0	4,531
19	新世紀	61~90	有	菱目	71.0	705.6	49.9	678.7	1.9	25.0	42.9	3,620
			無		68.0	844.9	49.6	819.2	1.7	40.9	10.0	4,369
	南部太長	31~60	有	角目	76.0	879.6	54.5	847.9	1.9	25.0	33.3	4,522
			無		72.4	999.2	52.8	975.8	2.3	50.0	12.5	5,204

※ 等級… A品：1 B品：2 C品：3 D品：4 A平：1.5 B平：2.5と数値化。小さい値ほど品質良。

図1 品質割合

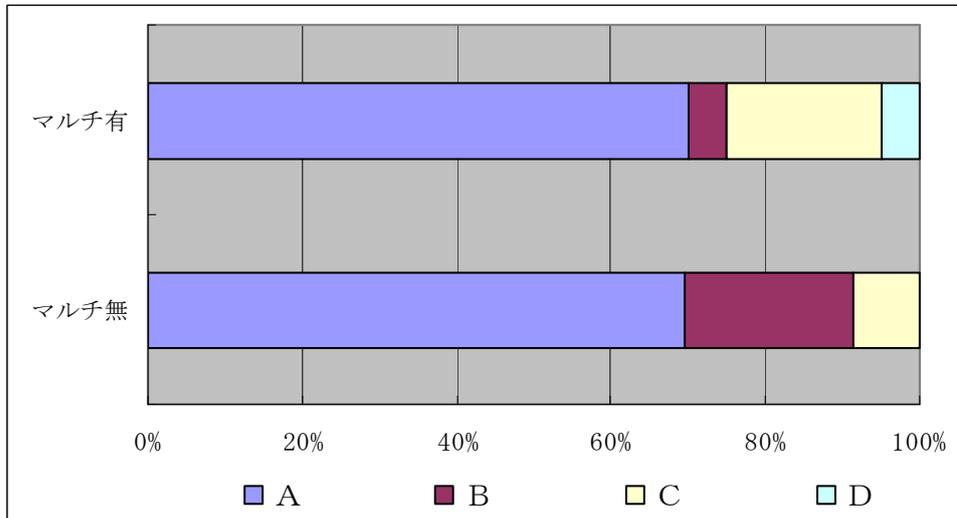
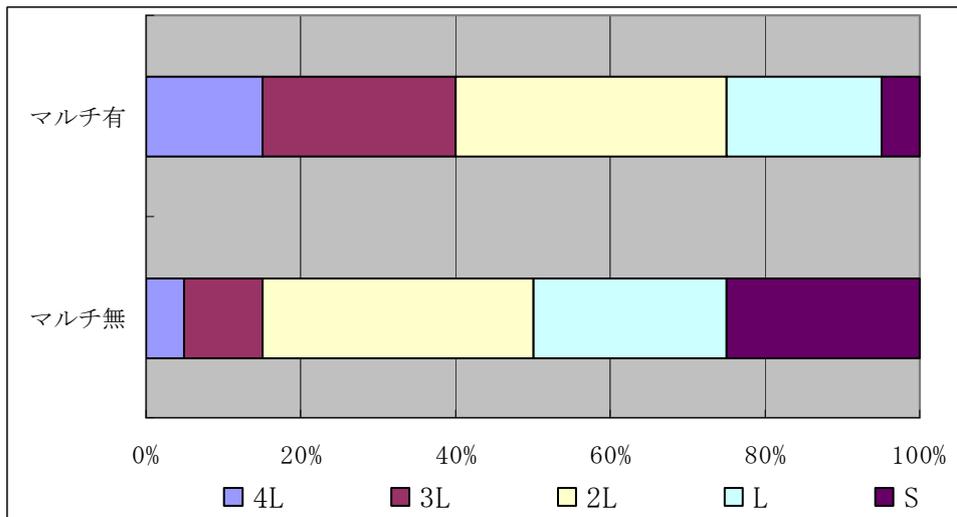


図2 規格別割合



露地栽培の部 No. 5	
調 査 名	ながいもの摘心位置による品質・収量調査（平成19年度～21年度）
目 的	ながいもの栽培において、摘心位置による成りものの品質・収量について調査し、栽培上の資料とする。
調査区の構成	<p>1 調査区 4区（摘心位置）</p> <p>(1) 下段（5～7節）</p> <p>(2) 中段（9～11節）</p> <p>(3) 上段（ネット頂上到達時）</p> <p>(4) 無摘心</p> <p>2 供試品種 南部太長（1年子 31～60g）</p>
耕 種 概 要	<p>1 植付け期 平成21年5月25日</p> <p>2 栽植距離 畦幅120cm×株間15cm</p> <p>3 植付本数 5,333本/10a当り</p> <p>4 施肥量(/10a) 堆肥 2t</p> <p>太平洋新長いも 80kg/10a (12-18-12)</p> <p>パワーリン 50kg/10a (30%)</p> <p>(追肥) くみあい磷硝安加里 S440 80kg/10a/2回</p> <p>【合計】 20.8-32.6-25.6kg/10a</p> <p>5 収穫月日 平成21年12月11日</p> <p>6 薬剤散布 6回(平成21年 7月3日～平成21年9月30日)</p> <p>7 摘心時期 平成21年6月29日(5～7節で摘心)、</p> <p>7月6日(9～11節で摘心)</p> <p>7月13日(ネット上段で摘心)</p>
結 果 の 概 要	<p>〈昨年までの結果〉</p> <p>A品率、2L・L率及び収量から判断して、昨年は無摘心区が良い結果となったが、一昨年は中段(9～11節)での摘心が良い結果となっており、年度により結果が異なる。</p> <p>〈今年の結果〉</p> <p>規格については、市場価格の良い2L、Lの比率が高かった区は摘心位置が5～7節の区(85%)で、次いで摘心位置がネット頂上到達時の区(70%)であった。</p> <p>(昨年も摘心位置が5～7節の区が最も高かった)</p> <p>品質については、摘心位置が9～11節の区が最もA品率が高く(60%)、次いで無摘心区(45%)であった。</p> <p>収量については、摘心位置がネット頂上到達時の区が4,638kg/10aで最も多く、次いで、摘心位置が9～11節の区が4,238kg/10aであった。</p> <p>A品率、2L、L率及び収量から判断して、ネット頂上到達時で摘心した区が良い結果となった。</p> <p>本年度までの結果から、摘心位置については中段より高い位置での摘心が有効と考えられる。</p>

表1 調査結果一覧 (摘心位置別)

年度	品種	種いも (g)	調査区名	全長 (cm)	全重 (g)	いも長 (cm)	いも重 (g)	等級	階級 2L, L率	多本下がり %	10a換算収量 (kg)
21	南部太長	31~60	摘心位置(5~7節)	64.2	750.8	45.5	726.2	1.8	85.0	0.0	3,873
			摘心位置(9~11節)	67.1	828.8	43.9	794.7	1.7	65.0	0.0	4,238
			摘心位置(ネット頂上)	66.9	898.3	47.9	869.6	1.7	70.0	5.3	4,638
			無摘心	61.0	756.8	43.4	732.6	1.9	60.0	20.0	3,907
20	南部太長	61~90	摘心位置(5~7節)	64.2	678.0	37.0	662.4	2.4	60.0	3.4	3,533
			摘心位置(9~11節)	66.1	676.6	39.1	627.0	2.4	43.3	3.4	3,344
			摘心位置(ネット頂上)	65.6	665.1	40.0	626.8	2.4	46.7	11.1	3,343
			無摘心	71.4	890.0	44.8	849.6	2.1	56.7	0.0	4,531
19	新世紀	61~90	摘心位置(5~7節)	68.9	806.1	48.1	781.8	2.7	36.4	22.2	4,169
			摘心位置(9~11節)	68.0	838.0	47.8	807.3	1.9	68.2	10.0	4,305
			摘心位置(ネット頂上)	60.9	715.6	43.8	692.5	2.0	27.3	29.4	3,693
			無摘心	72.8	660.5	49.3	627.2	1.7	34.6	13.0	3,345

※ 等級… A品：1 B品：2 C品：3 D品：4 A平：1.5 B平：2.5と数値化。小さい値ほど品質良。

図1 規格別割合 (摘心位置別)

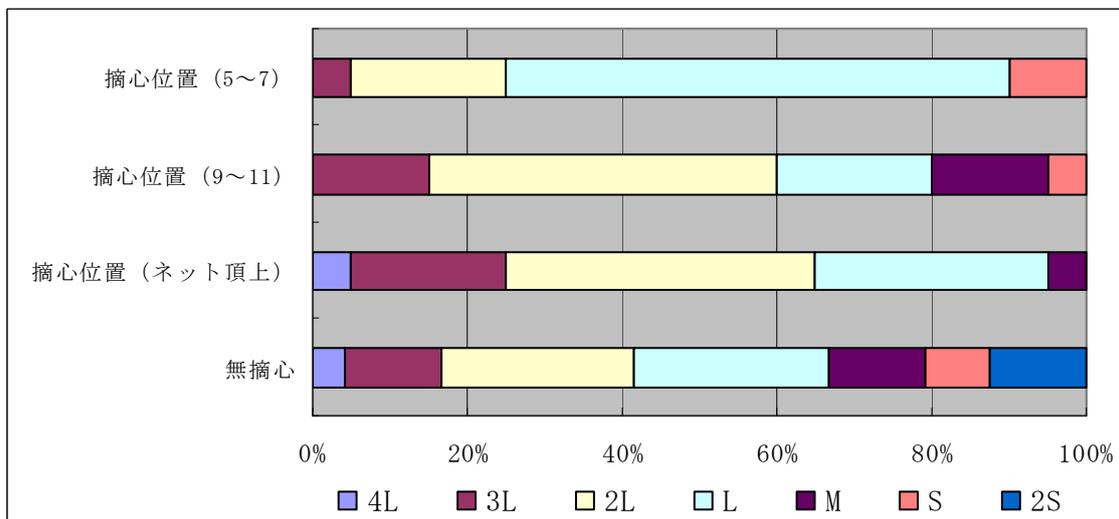
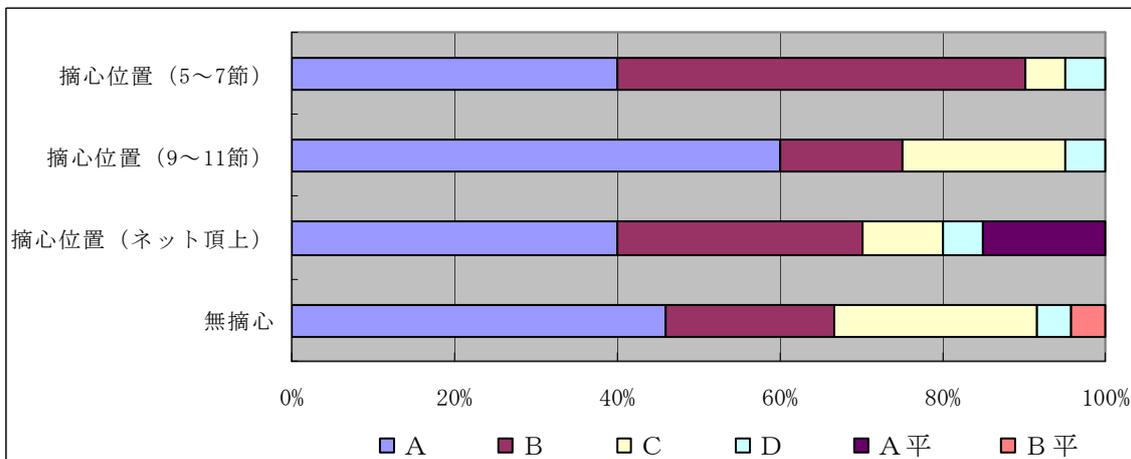


図2 品質割合 (摘心位置別)



露地野菜の部 No. 6	
調 査 名	ながいもの元肥一発施肥方法調査（平成 17 年度～21 年度）
目 的	追肥時期の遅れによる秀品率低下の解消、追肥作業の省力化を図るため、元肥一発肥料における品質及び収量について調査し、栽培上の資料とする。
調 査 区 の 構 成	<p>1 調査区</p> <p>(1) 慣行区</p> <p>(2) スーパー東日コート区（東日化成）</p> <p>(3) 秋のてごたえ 7 区（太平物産）</p> <p>2 供試品種 新世紀、ミニチューバー（1 年子、31～60g）</p>
耕 種 概 要	<p>1 植付け期 平成 21 年 5 月 25 日</p> <p>2 栽植距離 畦幅 120 cm×株間 20 cm</p> <p>3 植付本数 4,000 本/10a</p> <p>4 施肥量 堆肥 2t/10a</p> <p>(1) 慣行区 【合計】 20.8-32.6-25.6kg/10a 太平洋新長いも 80kg/10a (12-18-12) パワーリン 50kg/10a (30%) (追肥) くみあい磷硝安加里 S440 80kg/2 回/10a</p> <p>(2) スーパー東日コート区 【合計】 28.8-27.2-19.2kg/10a スーパー東日コート 160kg/10a (18-17-12)</p> <p>(3) 秋のてごたえ 7 区 【合計】 30-36-21kg/10a 秋のてごたえ 7 300kg/10a (10-12-7 有機 40%) ※施肥成分量については、各メーカー標準量による。</p> <p>5 収穫月日 平成 21 年 12 月 11 日</p> <p>6 薬剤散布 6 回 (平成 21 年 7 月 3 日～平成 21 年 9 月 30 日)</p>
結 果 の 概 要	<p>〈昨年までの結果〉</p> <p>「秋のてごたえ 7」が良い結果となっている。</p> <p>〈今年の結果〉</p> <p>品質については、ミニチューバーでは「慣行区」の A 品率が 80%、新世紀では「秋のてごたえ 7 区」が 75%と高い結果であった。</p> <p>規格について、2L、L 率の高い区はミニチューバーでは「慣行区」、新世紀では「秋のてごたえ 7」であった。</p> <p>収量についても、ミニチューバーでは「慣行区」、新世紀では「秋のてごたえ 7 区」が最も多かった。</p> <p>以上より、特に新世紀については「秋のてごたえ 7」が良い結果であった。 (昨年、一昨年同様とほぼ同様の結果)</p> <p>これまでの調査から、「秋のてごたえ 7」が一発肥料として有望であるとの結果から、本調査については終了としたい。</p> <p>ただし、生育ステージや肥料の溶解時期については気象条件に影響されることを考慮し、使用する必要があると思われる。</p>

表1 調査結果一覧（元肥一発調査）

年度	品種	調査区名	種いも (g)	全長 (cm)	全重 (g)	いも長 (cm)	いも重 (g)	等級	階級 2L, L率	多本下 がり %	10a換算 収量 (kg)
21	ミニチューバー	慣行	31~60	73.9	850.7	51.2	822.0	1.4	75.0	0.0	3,288
		東日コート	31~60	70.4	842.5	50.0	811.5	1.8	65.0	0.0	3,246
		秋のてごたえ7	31~60	70.8	760.0	50.6	730.6	1.5	70.0	5.0	2,922
	新世紀	慣行	31~60	57.5	594.3	40.0	571.8	1.6	42.9	5.0	2,287
		東日コート	31~60	58.6	631.7	42.7	608.2	1.4	35.0	0.0	2,433
		秋のてごたえ7	31~60	62.9	762.5	46.7	740.4	1.6	60.0	0.0	2,962
20	ミニチューバー	慣行	91~120	69.3	933.6	42.6	891.5	2.0	23.3	7.1	3,566
		東日コート	91~120	65.5	907.9	41.5	872.6	2.3	30.0	16.0	3,490
		秋のてごたえ7	91~120	71.3	978.8	43.6	936.7	2.1	36.7	7.1	3,747
	新世紀	慣行	91~120	60.5	826.2	37.8	793.2	2.4	27.6	3.6	3,173
		東日コート	91~120	69.9	906.4	44.1	869.5	2.3	37.0	8.0	3,478
		秋のてごたえ7	91~120	69.1	949.4	43.0	909.8	2.1	37.9	3.6	3,639
19	ミニチューバー	慣行	91~120	68.2	855.6	47.9	825.3	2.0	40.9	29.4	3,301
		東日コート	91~120	64.8	754.9	45.4	729.5	1.9	26.1	27.8	2,918
		秋のてごたえ7	91~120	71.2	852.8	48.9	837.0	1.8	47.8	15.0	3,348
	新世紀	慣行	91~120	71.6	865.1	50.0	831.5	1.5	53.3	25.0	3,326
		東日コート	91~120	66.8	801.1	46.7	776.0	1.9	43.5	53.3	3,104
		秋のてごたえ7	91~120	72.5	949.5	50.6	918.8	1.9	20.0	11.1	3,675

※ 等級… A品：1 B品：2 C品：3 D品：4 A平：1.5 B平：2.5と数値化。小さい値ほど品質良。

図1 品質割合

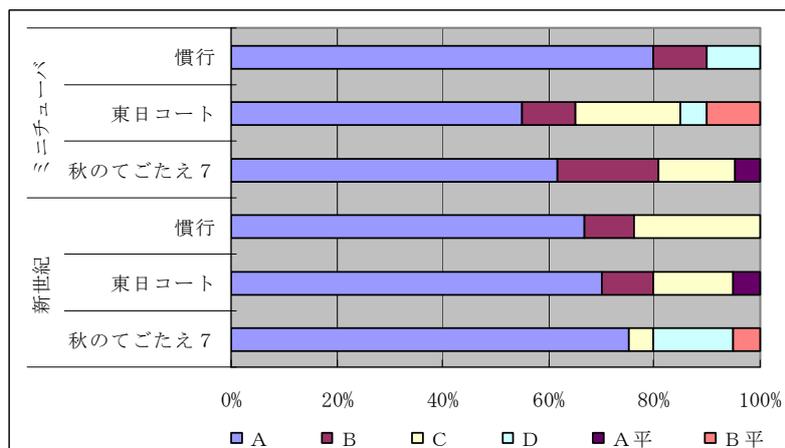
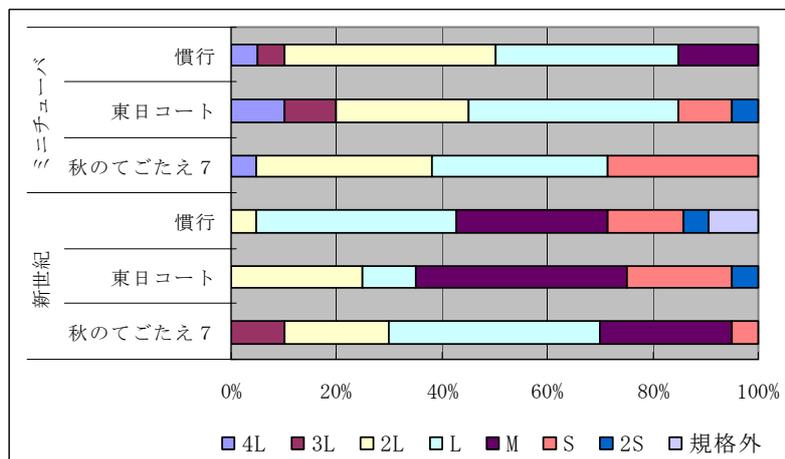


図2 規格別割合



露地野菜の部 No. 7	
調 査 名	にんにくの品種・種子重量別収量調査（平成 18 年度～22 年度）
目 的	当地域におけるにんにくの適応品種及び種子重量別収量について調査し、栽培上の資料とする。
調 査 区 の 構 成	<p>1 調査区 12 区（4 品種×種子重別:3 種類）</p> <p>2 供試品種 (1) 福地ホワイト …（八戸産） (2) 福地ホワイト …（田子産） (3) エム・ジー・エス …（バイオ由来） (4) エム・ジー・エス …（住友化学）</p> <p>3 種子重量 小(8.0g～12.0g) 中(12.1g～16.0g) 大(16.1g～)</p>
耕 種 概 要	<p>1 栽培方法 マルチ栽培（コーターコンビ・グリーン）</p> <p>2 植付月日 平成 20 年 10 月 9 日</p> <p>3 栽植距離 畦幅 150 cm×株間 17 cm×条間 25 cm×4 条</p> <p>4 植付本数 14,500 片/10a</p> <p>5 施肥量 くみあい樹皮堆肥 3 t /10a サイトニンエース Z 90 kg/10a （基肥） 大玉宣言 250kg/10a(10-14-8) （追肥）葉面散布（4 回） 【合計】 25-44.3-20.3 kg/10a</p> <p>6 収穫月日 平成 21 年 6 月 29 日</p> <p>7 薬剤散布 平成 21 年 3 月 9 日～6 月 21 日(8 回)</p>
結 果 の 概 要	<p>〈昨年までの結果〉 品種では「バ仗由来」、「エム・ジー・エス」の収量が多く、種子重では種子重量に比例して収量が多くなる傾向がある。</p> <p>〈今年度の結果〉 病害虫については、確認されなかった。 収量については、品種と種子重の組み合わせによる 10a 換算収量をみると「エム・ジー・エス」の（大）、「バ仗由来」の（中）、（大）が 2.0 t 超の収量となった。 全ての品種で、大きい種子ほど収量が多くなった。 規格については、全ての品種で種子重で大きくなるにともない 2L、L 率が高くなった。「八戸産」の（小）、「田子産」の（小）、「エム・ジー・エス」の（小）では 2L、L 率が 5 割以下となった。</p> <p>平成 22 年度作付けについては、品質調査も加えて、引き続き調査することとしたい。</p>

表1 調査結果一覧

年度	品種名	種子重 種類	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎径 (cm)	球径 (cm)	球重 (g)	片数	規格 2L, L率	10a換算 収量(kg)
21	豊崎	小	74.3	8.4	1.1	5.6	100.3	5.0	16.7	1,454.8
		中	76.3	9.3	1.3	6.2	118.2	5.3	75.0	1,713.5
		大	77.3	9.1	1.3	6.4	128.7	5.1	91.7	1,865.7
	田子	小	74.8	8.6	1.3	5.9	106.4	5.4	33.3	1,543.1
		中	70.3	8.1	1.3	6.0	113.8	5.3	58.3	1,650.5
		大	75.4	8.0	1.2	6.6	135.8	5.3	83.3	1,968.4
	バイオ	小	75.0	8.1	1.2	6.0	109.3	4.9	58.3	1,585.3
		中	78.4	7.9	1.4	6.9	157.3	5.8	91.7	2,280.1
		大	74.3	8.8	1.4	7.1	160.1	5.8	100.0	2,321.2
MGS	小	82.7	8.8	1.3	5.9	115.3	5.1	25.0	1,672.3	
	中	78.7	8.3	1.3	6.6	127.8	5.2	91.7	1,853.5	
	大	79.4	8.8	1.4	6.9	162.4	5.8	100.0	2,355.1	
平年	豊崎	小	79.2	8.6	1.4	6.4	89.2	5.9	77.8	1,307.2
		中	84.1	9.1	1.4	6.9	104.9	6.1	83.9	1,538.2
		大	84.4	8.9	1.5	7.0	110.2	6.5	64.4	1,615.0
	田子	小	73.4	8.6	1.3	6.3	78.7	5.9	69.4	1,155.2
		中	78.6	8.7	1.4	6.6	99.0	6.1	90.0	1,452.1
		大	78.3	8.8	1.4	7.0	112.4	6.5	94.4	1,647.8
	バイオ	小	83.4	8.7	1.5	6.9	115.9	3.3	96.7	1,702.2
		中	85.8	9.1	1.6	7.5	139.6	5.9	100.0	2,048.3
		大	89.2	9.2	1.8	7.5	148.6	6.5	96.7	2,180.3
	MGS	小	88.2	9.2	1.5	7.1	115.1	6.0	94.4	1,691.9
		中	89.9	9.7	1.6	7.5	141.6	5.8	97.2	2,079.6
		大	90.6	9.4	1.7	7.4	132.1	5.6	94.4	1,941.0

※ 平年値は、平成18～20年の平均値
 ※ 調査については、乾燥完了後に実施

図1 収量について

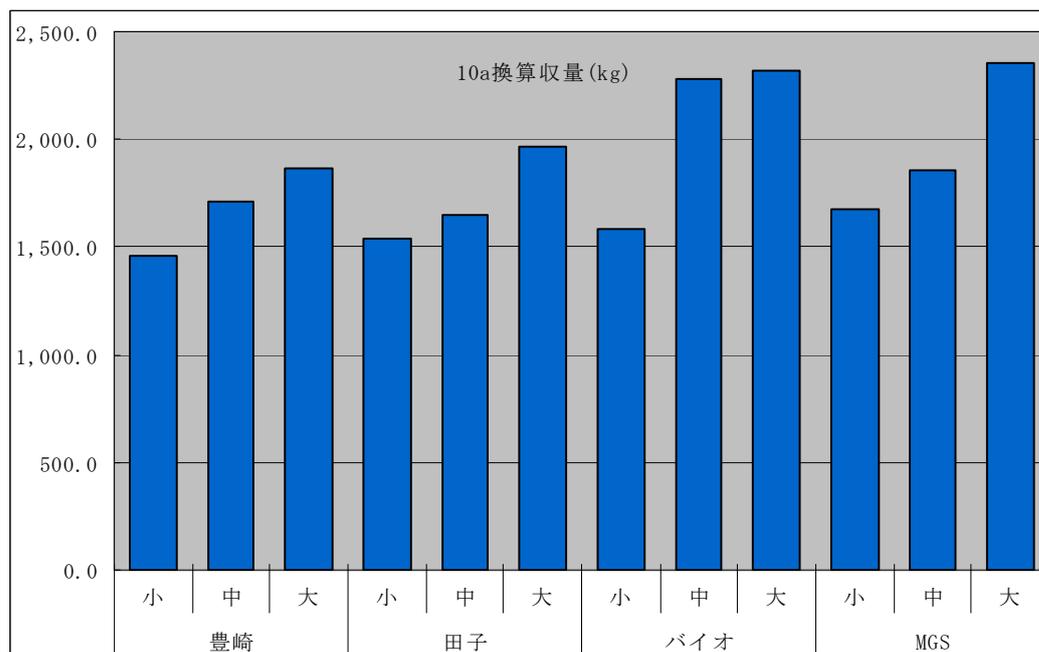
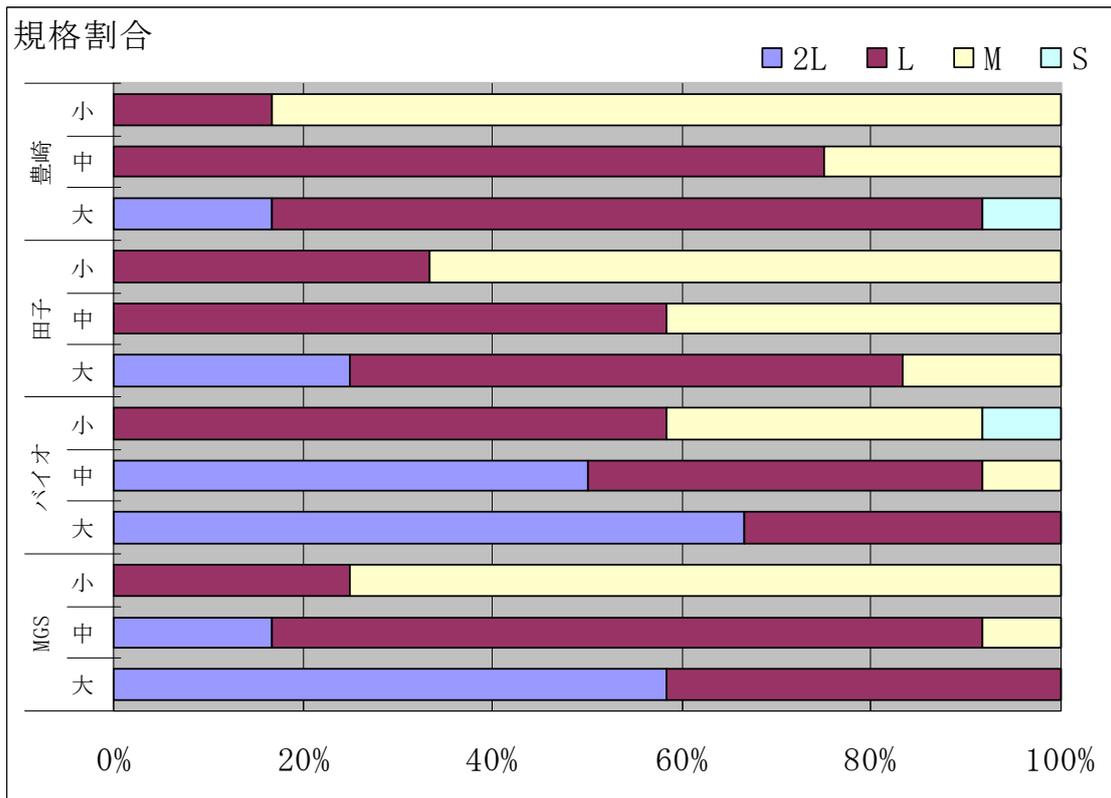


図2 規格割合について



露地野菜の部 No. 8	
調 査 名	ながいもの品種比較調査 (平成 18 年度～22 年度)
目 的	当地域で栽培されているながいもの品種・系統について品種比較調査をし、栽培上の資料とする。
調 査 区 の 構 成	<p>1 調査区 15 区 (5 品種×株間 15, 20, 24 cm)</p> <p>2 供試品種 (1)南部太長 (1 年子、61～90g) (2)新世紀 (1 年子、61～90g) (3)ミニチューバー (1 年子、61～90g) (4)園試系 6 (切片、80g) (5)遠藤系 (1 年子、61～90g)</p>
耕 種 概 要	<p>1 植付月日 平成 21 年 5 月 25 日</p> <p>2 栽植距離 畦幅 120 cm×株間 15、20、24 cm</p> <p>3 植付本数 5,333 本、4,000 本、3,333 本、/10a</p> <p>4 施肥量 たぷこぷ有機 2t/10a (元肥) 太平新長いも 80kg/10a(12-18-12) パワーリン 50kg/10a(30%) (追肥) くみあい燐硝安加里 S440 80kg/2 回/10a 【合計】 20.8-32.6-25.6kg</p> <p>5 収穫月日 平成 21 年 12 月 11 日</p> <p>6 薬剤散布 6 回(平成 21 年 7 月 3 日～平成 21 年 9 月 30 日)</p>
結 果 の 概 要	<p>〈昨年までの結果〉 昨年は園試系 6 の 15 cm 区、一昨年は南部太長の 20 cm 区が良い結果となっており、年度により、バラツキがある。</p> <p>〈今年の結果〉 総収量は、3 種類の株間のうち 15 cm 区が、品種に関わらず最も収量があり、いずれの品種においても約 4.5t/10a 以上であった。</p> <p>(昨年、一昨年と同様の結果) 規格別収量は、3 品種 (南部太長、新世紀、遠藤系) については、15 cm 区が 2L、L 率が最も高く、ミニチューバー及び園試系 6 については株間 20 cm 区が高かった。2L、L の割合が最も良かった区は、新世紀の 15 cm 区であった。</p> <p>(昨年、一昨年と同様の結果) 品質割合については、A 品率についてみると、最も良かった区は、遠藤系の 20 cm 区 (A 品率 8 割)、次いで、遠藤系の 15 cm 区、新世紀の 20 cm 区という結果となった。</p> <p>以上より、収量(5,154kg/10a)と品質(A 品率：約 7.5 割)、規格 (2L、L 率 35%) から「遠藤系」の 15cm 区が良い結果であった。 平成 22 年度については、品種について検討しながら引き続き調査をしたい。</p>

表1 調査結果一覧 (品種比較調査)

品種	株間 (cm)	種いも (g)	全長 (cm)	全重 (g)	いも長 (cm)	いも重 (g)	等級	階級 2L, L率	多本 下がり %	10a換算 収量 (kg)
南部太長	15	61~90	65.9	929.1	48.3	905.4	1.8	55.0	0.0	4,828
	20	61~90	64.8	928.6	48.7	905.7	1.8	34.8	15.0	3,623
	24	61~90	75.2	1210.4	56.1	1182.5	2.1	23.8	5.0	3,941
新世紀	15	61~90	58.9	832.9	42.9	840.4	2.1	60.0	0.0	4,482
	20	61~90	65.2	1054.9	48.6	1031.0	1.4	45.0	0.0	4,124
	24	61~90	67.2	994.9	50.8	967.6	1.7	60.0	0.0	3,225
ミニチューバー	15	61~90	67.7	949.5	47.9	920.5	1.6	40.9	10.0	4,909
	20	61~90	69.6	1008.8	48.6	981.2	1.8	43.5	15.0	3,925
	24	61~90	77.1	1137.7	53.6	1104.5	2.5	31.8	10.0	3,681
園試系6	15	80	66.2	1024.3	46.8	998.9	2.1	40.0	0.0	5,327
	20	80	66.3	1042.8	47.1	1007.5	1.9	50.0	0.0	4,030
	24	80	69.4	1152.8	50.7	1114.0	1.8	20.0	0.0	3,713
遠藤系	15	61~90	68.0	996.2	47.8	966.4	1.3	35.0	0.0	5,154
	20	61~90	70.0	1209.9	50.9	1178.5	1.2	14.3	4.8	4,714
	24	61~90	71.6	1291.1	51.6	1277.2	1.3	10.0	0.0	4,257

※ 等級… A品:1 B品:2 C品:3 D品:4 A平:1.5 B平:2.5と数値化。小さい値ほど品質良。
 ※ マルチ:無 ネット:角目

図1 品種別、株間別 10a 換算収量

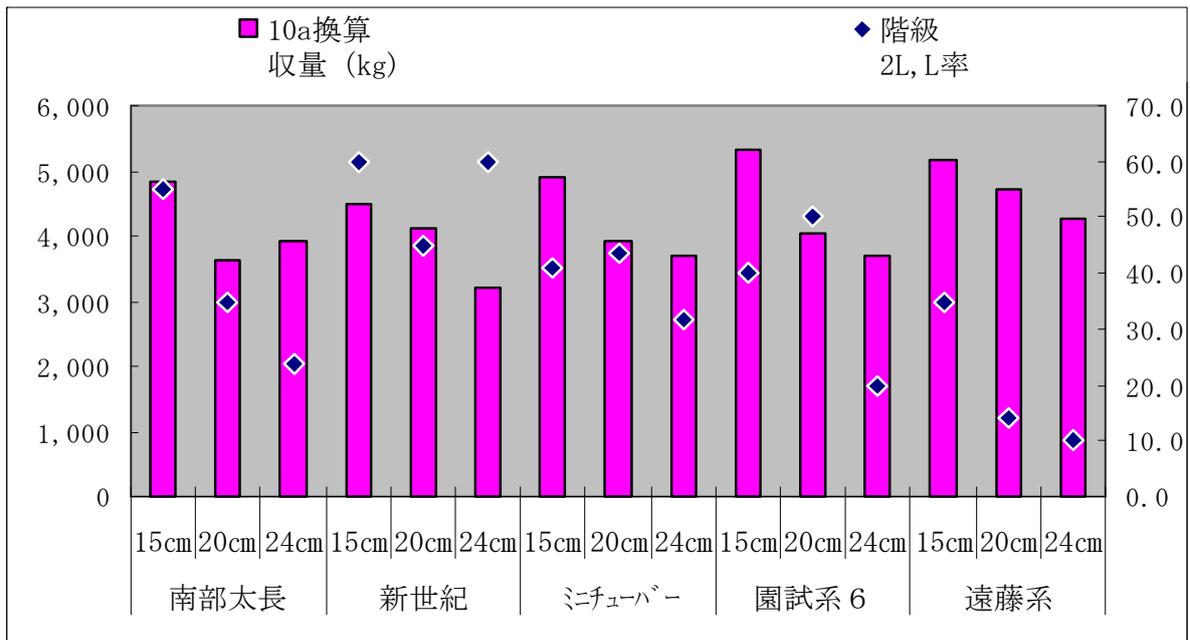


図2 規格別割合 (品種、株間別)

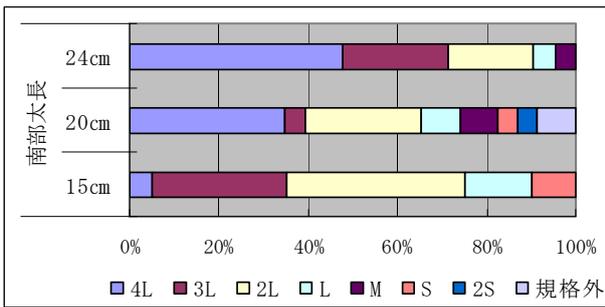
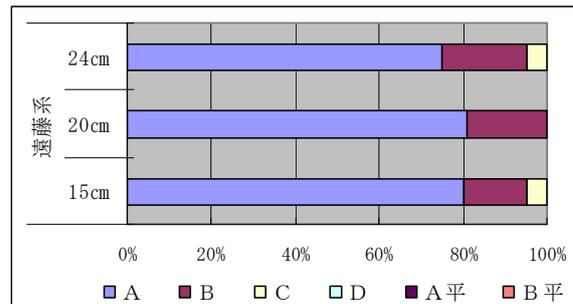
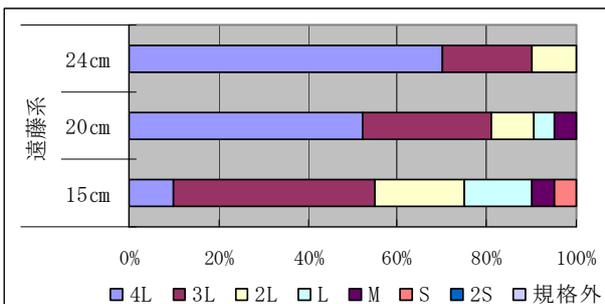
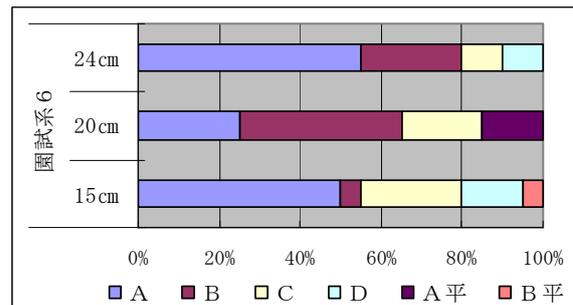
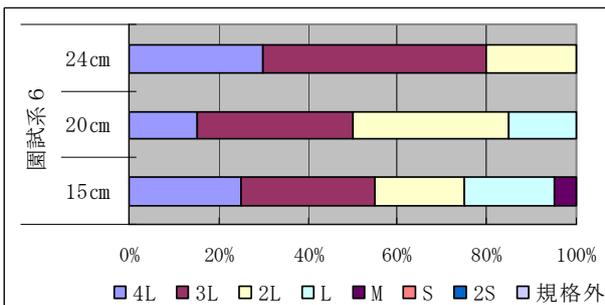
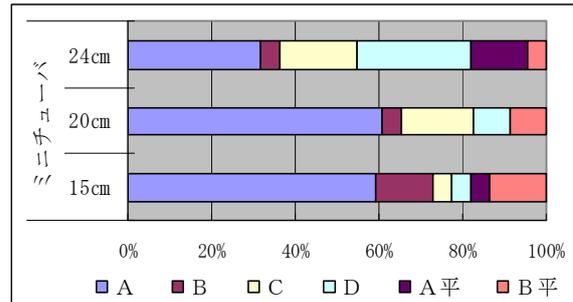
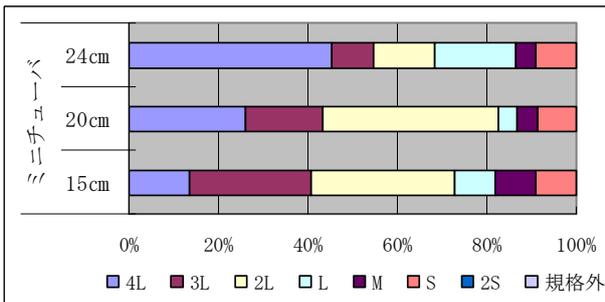
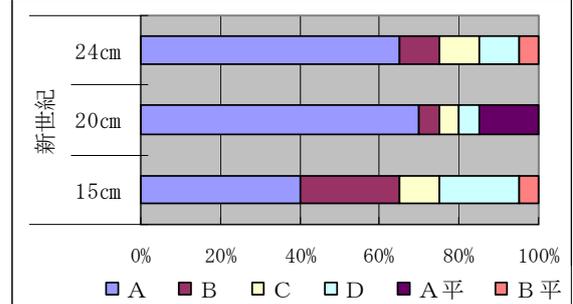
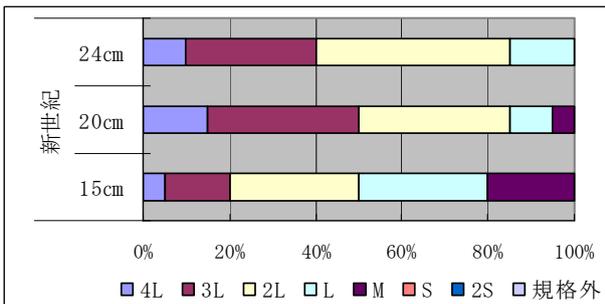
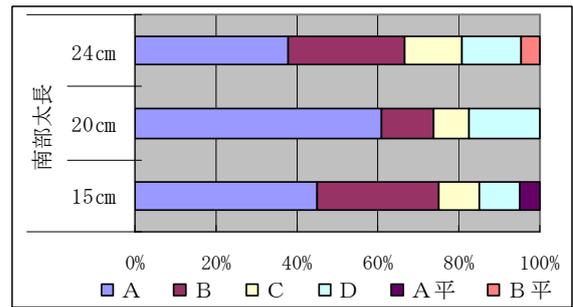


図3 品質割合 (品種、株間別)



露地野菜の部 No.9																																																			
調査名	ヤマノイモ新系統（つくなが1号<E10=54>、E10-709）試作栽培調査																																																		
目的	グリーンバイオセンター育成のヤマノイモ新系統（つくなが1号、E10-709）について、当地域における適応性の把握について調査し、産地育成のための資料とする。																																																		
調査区の構成	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>株間 (cm)</th> <th>催芽処理無し</th> <th>重量(g)</th> <th>ウイルス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つくなが1号(暴露2年目)</td> <td>24</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>つくなが1号(暴露3年目)</td> <td>24</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>つくなが1号(暴露2年目)</td> <td>27</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>つくなが1号(暴露3年目)</td> <td>27</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>E10-709(暴露2年目)</td> <td>24</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>E10-709(暴露3年目)</td> <td>24</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>E10-709(暴露2年目)</td> <td>27</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>E10-709(暴露3年目)</td> <td>27</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>園試系6(対照)</td> <td>24</td> <td>切りいも</td> <td>100~120</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	品種	株間 (cm)	催芽処理無し	重量(g)	ウイルス	つくなが1号(暴露2年目)	24	切りいも	100~120	×	つくなが1号(暴露3年目)	24	切りいも	100~120	×	つくなが1号(暴露2年目)	27	切りいも	100~120	×	つくなが1号(暴露3年目)	27	切りいも	100~120	×	E10-709(暴露2年目)	24	切りいも	100~120	×	E10-709(暴露3年目)	24	切りいも	100~120	×	E10-709(暴露2年目)	27	切りいも	100~120	×	E10-709(暴露3年目)	27	切りいも	100~120	×	園試系6(対照)	24	切りいも	100~120	×
品種	株間 (cm)	催芽処理無し	重量(g)	ウイルス																																															
つくなが1号(暴露2年目)	24	切りいも	100~120	×																																															
つくなが1号(暴露3年目)	24	切りいも	100~120	×																																															
つくなが1号(暴露2年目)	27	切りいも	100~120	×																																															
つくなが1号(暴露3年目)	27	切りいも	100~120	×																																															
E10-709(暴露2年目)	24	切りいも	100~120	×																																															
E10-709(暴露3年目)	24	切りいも	100~120	×																																															
E10-709(暴露2年目)	27	切りいも	100~120	×																																															
E10-709(暴露3年目)	27	切りいも	100~120	×																																															
園試系6(対照)	24	切りいも	100~120	×																																															
耕種概要	<p>1 植付月日 平成21年5月25日</p> <p>2 栽植距離 畦幅120cm×株間24、27cm（角目ネット使用）</p> <p>3 植付本数 3,333本、2,962本/10a</p> <p>4 施肥量 堆肥2t/10a （元肥） 太平洋新長いも80kg/10a(12-18-12) パワーリン50kg/10a(30%) （追肥）くみあい磷硝安加里S440 80kg/2回/10a 【合計】20.8-32.6-25.6kg</p> <p>5 収穫月日 平成21年12月11日</p> <p>6 薬剤散布 6回(平成21年7月3日~9月30日)</p>																																																		
結果の概要	<p>今年度は催芽処理を行わず、植付けを行ったため、E10-709では植付時の状態のまま残っているものがあった。</p> <p>収量については、暴露2年目の調査区で暴露3年目の調査区より多くなった。品種ではつくなが1号が、E10-709よりも収量が多くなった。（昨年と逆の結果）株間では24cm区が27cmよりも多くなった。また、昨年に比べ全ての調査区で収量が下回った。対象区の園試系6については、3.7t/10aとなった。</p> <p>階級については、つくなが1号でL、M、Sの割合が多く、E10-709では2S、規格外の割合が多くなった。また暴露2年目と比較し、暴露3年目では階級が下がる傾向にあった。株間での相関は見られなかった。対象区の園試系6については、4L、3Lの割合が高くなった。</p> <p>等級については、つくなが1号がE10-709よりもA、B品の割合が多くなった。株間、暴露年数の違いによる相関は見られなかった。形状については、曲がりやこぶの発生が多くなった。対象の園試系6についてはA品率：55%、B品率：25%であった。</p> <p>本試験は本年度で終了としたい。</p>																																																		

表1 調査結果一覧

品種	株間 (cm)	種いも (g)	全長 (cm)	全重 (g)	いも長 (cm)	いも重 (g)	等級	階級 2L, L率	多本 下がり %	10a換算 収量 (kg)	
つくなが1号	24	暴露2年目	100~120	65.9	632.1	41.4	582.7	1.4	36.6	2.5	1,942
		暴露3年目	100~120	48.1	493.3	31.3	453.9	1.7	22.5	0.0	1,513
	27	暴露2年目	100~120	61.1	638.0	41.0	594.9	2.0	50.0	0.0	1,762
		暴露3年目	100~120	50.4	469.0	31.9	430.4	1.3	30.0	0.0	1,275
E10-709	24	暴露2年目	100~120	31.1	387.6	19.0	365.9	3.2	25.0	0	1,220
		暴露3年目	100~120	28.1	245.5	15.2	219.4	1.8	0.0	0	731
	27	暴露2年目	100~120	38.0	392.8	22.4	361.2	2.0	5.3	0	1,070
		暴露3年目	100~120	26.2	183.4	11.9	154.5	2.1	0.0	0	458
園試系6	24		100~120	69.4	1,152.8	50.7	1,114.0	1.8	45.0	0	3,713

※ 等級… A品：1 B品：2 C品：3 D品：4 A平：1.5 B平：2.5と数値化。小さい値ほど品質良。

※ マルチ：有 ネット：角目

図1 収量について

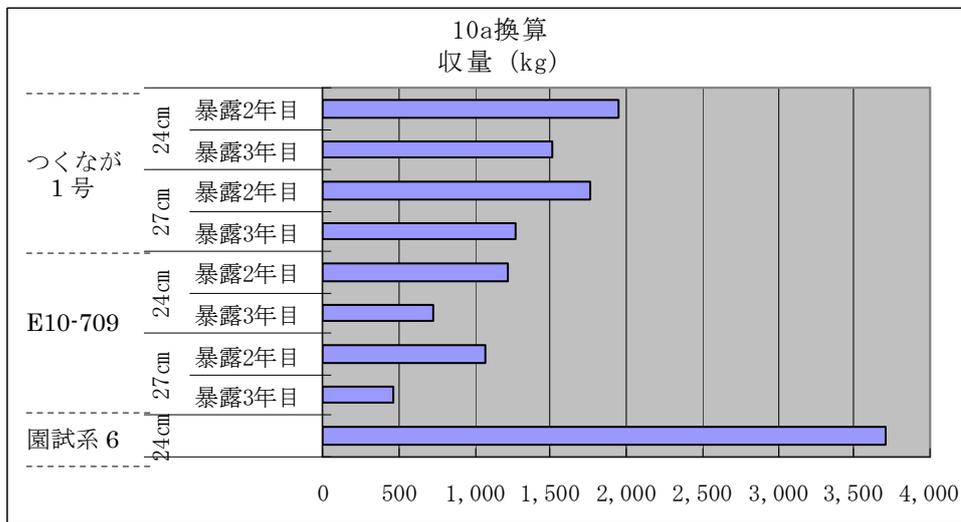


図2 平均1本いも重について

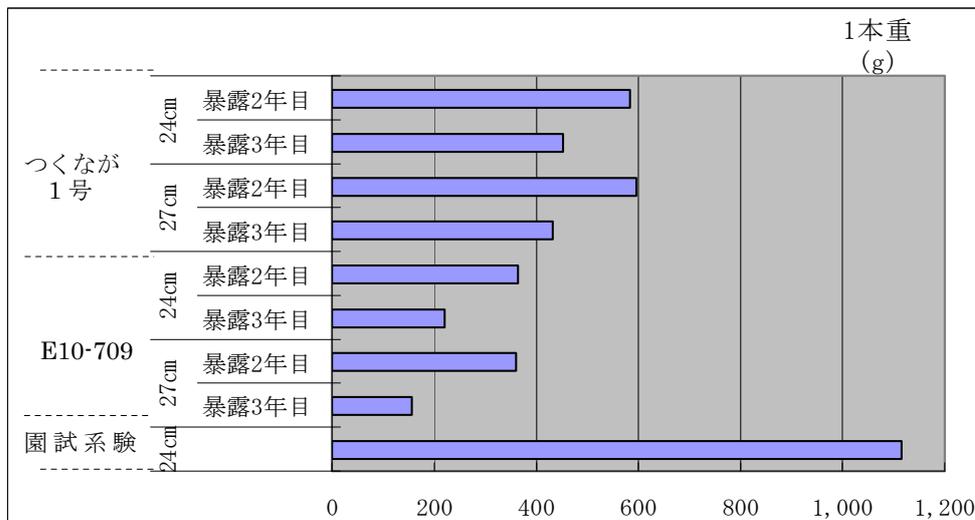


表2 階級割合 (株間別)

			4L	3L	2L	L	M	S	2S	規格外	総計
つくなが1号	24cm	暴露2年目	0%	0%	0%	39%	29%	20%	10%	2%	100%
		暴露3年目	0%	0%	0%	23%	20%	28%	15%	15%	100%
	27cm	暴露2年目	0%	0%	0%	50%	30%	20%	0%	0%	100%
		暴露3年目	0%	0%	0%	30%	10%	20%	20%	20%	100%
E10-709	24cm	暴露2年目	0%	9%	0%	18%	0%	9%	9%	55%	100%
		暴露3年目	0%	0%	0%	0%	0%	5%	30%	65%	100%
	27cm	暴露2年目	0%	5%	5%	5%	5%	5%	35%	40%	100%
		暴露3年目	0%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	80%	100%
園試系6	24cm		30%	50%	20%	0%	0%	0%	0%	100%	

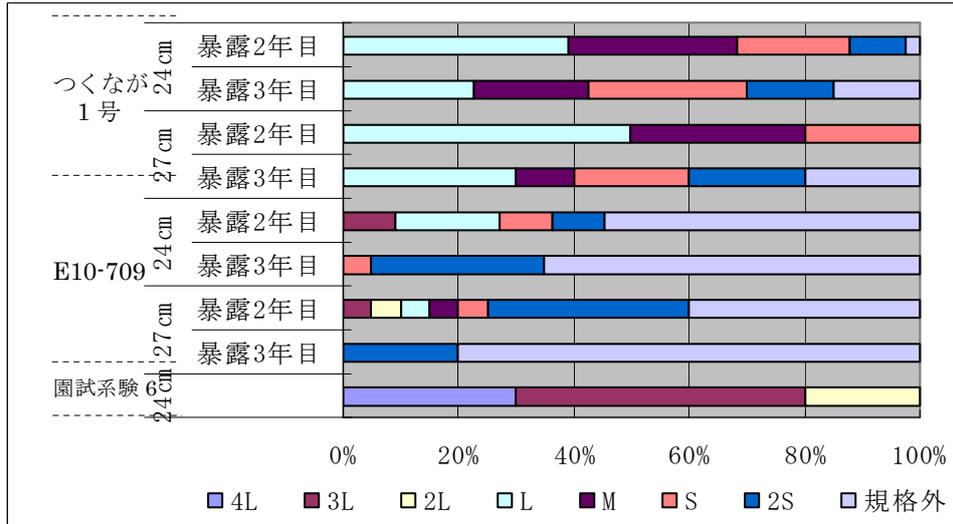
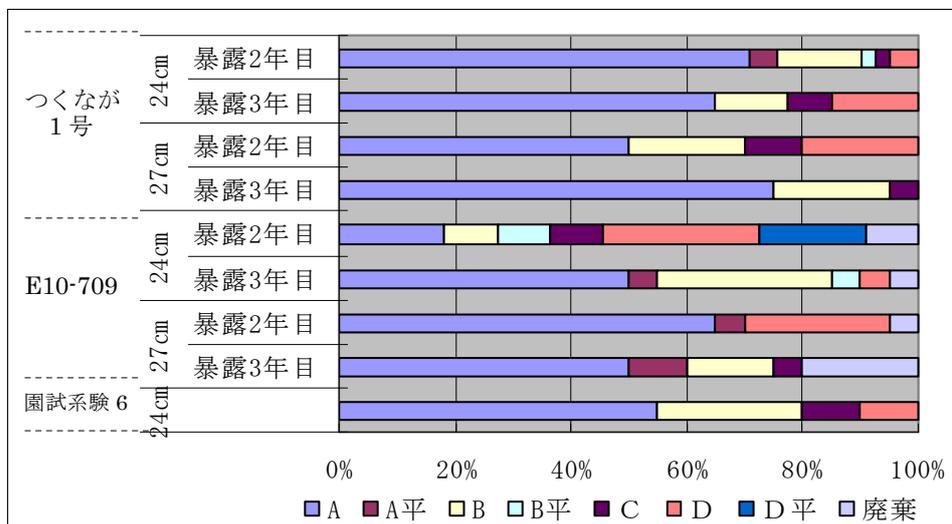


表3 等級割合 (株間別)

			A	B	C	D	A平	B平	D平	廃棄	総計
つくなが1号	24cm	暴露2年目	71%	15%	2%	5%	5%	2%	0%	0%	100%
		暴露3年目	65%	13%	8%	15%	0%	0%	0%	0%	100%
	27cm	暴露2年目	50%	20%	10%	20%	0%	0%	0%	0%	100%
		暴露3年目	75%	20%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
E10-709	24cm	暴露2年目	18%	9%	9%	27%	0%	9%	18%	9%	100%
		暴露3年目	50%	30%	0%	5%	5%	5%	0%	5%	100%
	27cm	暴露2年目	65%	0%	0%	25%	5%	0%	0%	5%	100%
		暴露3年目	50%	15%	5%	0%	10%	0%	0%	20%	100%
園試系6	24cm		55%	25%	10%	10%	0%	0%	0%	100%	





つくなが 1号 暴露 2年目 株間 24 cm



つくなが 1号 暴露 2年目 株間 27 cm



つくなが 1号 暴露 3年目 株間 24 cm



つくなが 1号 暴露 3年目 株間 27 cm



E10-709 暴露 2年目 株間 24 cm



E10-709 暴露 2年目 株間 27 cm



E10-709 暴露 3年目 株間 24 cm



E10-709 暴露 3年目 株間 27 cm

露地野菜の部 No. 10	
調 査 名	ながいも年子の違いによる内部品質調査（平成 21 年度～23 年度）
目 的	種いもの種類（1 年子、2 年子）別による、成いも内部品質について調査し、栽培上の資料とする。
調 査 区 の 構 成	1 調査区 2 区（1 年子、2 年子） 2 供試品種 遠藤系
耕 種 概 要	<p>1 植付月日 平成 21 年 5 月 25 日</p> <p>2 栽植距離 畦幅 120 cm×株間 15 cm</p> <p>3 植付本数 5,333 本/10a</p> <p>4 施肥量 堆肥 2t/10a <植付後、発芽前> 地源豊穰 240kg/10a、マンモス G-1 160kg/10a フィッシュクイーン 140kg/10a <発芽前後> C D U タマゴ化成 80kg/10a (15-15-15) パワーリン 75kg/10a ～施肥培土後、マルチ被覆 【合計】 28-44-20kg/10a</p> <p>5 収穫月日 平成 21 年 12 月 11 日</p> <p>6 薬剤散布 平成 21 年 7 月 3 日～平成 21 年 9 月 30 日 (6 回)</p> <p>7 乾燥方法 48 時間 60℃で処理</p>
結 果 の 概 要	<p>規格については 1 年子の 2L, L 率 (45.5%) が高く、品質については 2 年子の A 品率 (33%) が高かった。 収量は 1 年子が多かった。</p> <p>糖度について 1 年子は尻部、胴部、首部の順で値が高く、2 年子は尻部、首部、胴部の順で値が高かった。最も高かった 2 年子の尻部は 5.46 であった。</p> <p>乾物率は、全ての部位で 2 年子よりも 1 年子の値が高く、1 年子については尻部、胴部、首部の順で値は高く、2 年子については、胴部、尻部、首部の順で値が高かった。最も高かった 1 年子の尻部は 23.8% であった。</p> <p>今年度の結果から、糖度については胴部を除いて 1 年子よりも 2 年子のほうが高く、乾物率については、2 年子よりも 1 年子のほうが高くなる傾向があった。 また、糖度、乾物率ともに尻部の値が高くなる傾向があった。</p> <p>平成 22 年度については、粘度についても調査し、引き続き調査することとしたい。</p>

表1 調査結果一覧

品種	年子	種いも (g)	株間 (cm)	全長 (cm)	全重 (g)	いも長 (cm)	いも重 (g)	等級	階級 2L, L率	多本 下がり (%)	10a換算 収量 (kg)
遠藤系	1年子	100.0	15	63.3	919.6	45.9	893.0	2.5	45.5	10.0	4,762
遠藤系	2年子	100.0	15	65.2	931.3	49.7	907.6	1.9	38.1	5.0	4,840

※ 等級… A品：1 B品：2 C品：3 D品：4 A平：1.5 B平：2.5と数値化。小さい値ほど品質良。
 ※ マルチ：有 ネット：角目

表2 成分分析結果

年子	Brix糖度			乾物率 (%)		
	首部	胴部	尻部	首部	胴部	尻部
1年子	4.80	4.84	4.92	12.64	22.40	23.80
2年子	4.88	4.78	5.46	12.20	21.42	21.12

※収穫後、冷蔵(5℃) 糖度調査：平成22年1月17日
 乾物率調査：平成22年1月17日～19日まで48時間60℃処理後

図1 年子別糖度

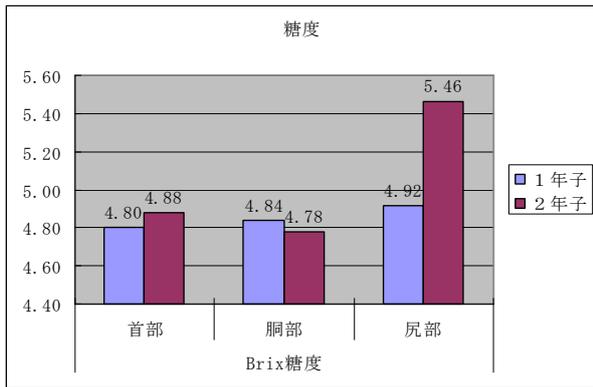
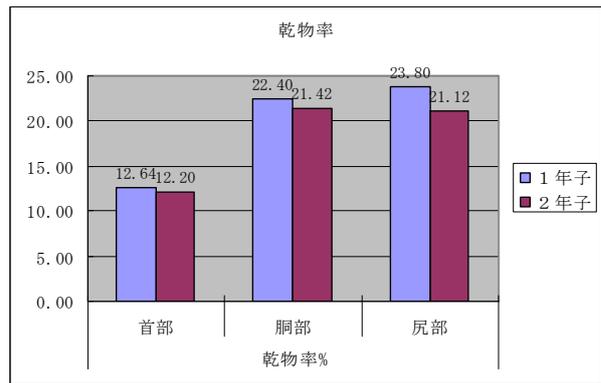


図2 年子別乾物率



[遠藤系 1年子]



[遠藤系 2年子]

2-4 調査成績（花き）

花きの部 No. 1					
調 査 名	エラータム系デルフィニウムの周年栽培調査（平成 20 年度～21 年度）				
目 的	青森県オリジナル新品種の当市における特性を把握するため、据え置き栽培について調査し、栽培上の資料とする。				
供 用 施 設	パイプハウス 12 号 (99 m ² : 約 30 坪)				
調査区の構成	1 調査区	4 区	(1品種 1区制 10株)		
	2 供試品種	4 品種			
	No.	品種名	花色	会社名	備考
	1	ブルースピアー	青	青森県	種子系
	2	スカイスピアー	淡青	青森県	種子系
3	イエロースピアー	淡黄	青森県	栄養系	
4	アメジストスピアー	ラベンダー	青森県	栄養系	
耕 種 概 要	<p>1 は種及び定植時期 ① 平成20年2月12日/4月 3日 (ブルースピアー、スカイスピアー) (は種/定植) ② - /平成20年4月23日 (イエロースピアー、アメジストスピアー)</p> <p>2 栽植距離 ベット幅80cm、株間20cm、条間20cmの4条植え (1, 080本/a)</p> <p>3 採花期間 平成21年5月21日～10月28日</p> <p>4 使用資材 20cm×4目フラワーネット、メガクール(遮光フィルム) カビ取りマッセ、ケイントップ (有機質資材) 20kg</p> <p>5 施肥量 平成20年度[バーク堆肥 100kg、トリオ有機S O 4 8号 10kg、 ニューサンタカラ 32.5kg/99m² (N : P : K=1.0 : 0.4 : 7.3kg/a)]</p> <p>6 保温 平成21年10月27日～ 内カーテンによる</p> <p>7 薬剤散布 5回 (平成21年5月27日～9月11日)</p>				
結 果 の 概 要	<p>病害虫については、7、8月にヨトウムシが散見された他、スカイスピアーで灰色カビ病が散見された。</p> <p>生育状況については、越冬による株枯れが「アメジストスピアー」で確認されたが、夏季が比較的低温で推移したこともあり、夏期の株枯れが昨年に比べ少なかった。</p> <p>採花期については、1番花で「ブルースピアー」「スカイスピアー」「アメジストスピアー」が5月下旬から、「イエロースピアー」が6月中旬からとなった。2番花で「ブルースピアー」「スカイスピアー」が8月中旬、「アメジストスピアー」「イエロースピアー」が9月上旬からとなった。3番花で「ブルースピアー」「スカイスピアー」「アメジストスピアー」が10月からの採花となった。</p> <p>1番花の採花は昨年と比べ約2ヶ月早まった。また、2番花の採花は「スカイスピアー」「アメジストスピアー」が約1ヶ月早まり、「イエロースピアー」は約2ヶ月早まった。「ブルースピアー」は昨年1番花採花後に台風をされたため、比較はできなかった。昨年同様に、「イエロースピアー」が他品種に比べ約3週間採花が遅れる傾向となった。</p>				

株当たりの採花本数については、1番花で「ブルースピアー」「アメジストスピアー」が2本程度、「スカイスピアー」「イエロースピアー」は1本程度となった。2番花で「ブルースピアー」「スカイスピアー」が2本程度、他の2品種では1本以下となった。3番花で「ブルースピアー」「スカイスピアー」「アメジストスピアー」は1本以下となった。

1番花採花後の株枯れについては、昨年株枯れが確認された「ブルースピアー」は約1.5%だったのに対し、「スカイスピアー」は約2割の株枯れが確認された。「アメジストスピアー」は昨年株枯れが確認されなかったが、本年度は約2割の株枯れが確認された。切り花品質については、切花長は1番花で「イエロースピアー」が120cm、他の3品種が100cm前後となった。2番花で「ブルースピアー」が約100cm、「スカイスピアー」が120cmを超えたが、「アメジストスピアー」「イエロースピアー」が90cmを下回った。3番花で「スカイスピアー」が約90cmとなったが、「ブルースピアー」「アメジストスピアー」が約50cmとなり、ボリュームが劣った。また、3番花では「イエロースピアー」が採花できなかった。花穂長は「ブルースピアー」の3番花、「アメジストスピアー」の1番花および3番花、「イエロースピアー」でボリュームがやや劣った。

その他、「ブルースピアー」の一部の株で分枝が確認された。また、「イエロースピアー」は茎がやや柔らかい傾向にあった。「スカイスピアー」では1番花採花時に一部の株で花飛びが確認された。

以上の結果、夏期冷涼な当地域においても、1番花採花後に高温に遭遇するため、夏期の株枯れ対策が必要と考えられる。

次年度は他のエラータム系品種についても生育状況、切り花品質等について調査し、品種の特性を把握するため、調査を実施したい。

表1 切り花調査 [1番花]

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	茎径 (mm)	花穂長 (cm)	葉数 (枚)	小花数 (ヶ)	側枝数 (本)	採花日
ブルースピアー	98.2	44.7	42.3	6.5	37.7	16.7	26.6	1.1	5/26~6/23
スカイスピアー	99.8	67.5	59.4	11.2	48.8	18.5	26.9	0.6	5/26~6/30
イエロースピアー	120.0	51.6	45.1	5.0	22.7	21.6	22.1	0.8	6/16~6/30
アメジストスピアー	106.0	34.5	30.5	7.4	24.5	15.9	20.8	0.5	5/21~6/30

表2 切り花調査 [2番花]

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	茎径 (mm)	花穂長 (cm)	葉数 (枚)	小花数 (ヶ)	側枝数 (本)	採花日
ブルースピアー	101.8	47.7	46.3	4.9	39.4	11.8	19.4	1.2	8/11~9/17
スカイスピアー	124.9	85.7	79.4	8.9	67.2	15.1	42.4	1.1	8/11~9/15
イエロースピアー	80.4	31.5	30.8	4.8	18.9	9.4	9.7	0.7	9/1~9/10
アメジストスピアー	89.0	44.4	43.3	5.8	34.5	13.4	25.3	1.1	8/27~9/15

表3 切り花調査 [3番花]

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	茎径 (mm)	花穂長 (cm)	葉数 (枚)	小花数 (ヶ)	側枝数 (本)	採花日
ブルースピアー	51.0	15.0	13.0	3.0	23.0	5.0	8.0	0.0	10/28
スカイスピアー	92.5	38.8	32.8	3.8	42.5	8.0	22.3	0.3	10/1~10/28
イエロースピアー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アメジストスピアー	51.3	17.3	13.3	3.3	18.0	6.3	13.7	2.0	10/13~10/28

表4 採花本数

品種名	1番花 (本/株)	2番花 (本/株)	3番花 (本/株)
ブルースピアー	2.5	2.3	0.1
スカイスピアー	1.2	1.4	0.4
イエロースピアー	1.8	0.9	-
アメジストスピアー	2.8	0.8	0.3

表5 1番花採花後の生存率

品種名	1番花採花後 (%)
ブルースピアー	98.5
スカイスピアー	83.6
イエロースピアー	100.0
アメジストスピアー	80.3

花きの部 No.2																																				
調 査 名	アルストロメリアの新品種比較調査（平成20年度～22年度）																																			
目 的	当市の夏季冷涼な気候を利用し、周年生産が可能と考えられる品目として有望なアルストロメリアの新品種について、比較調査を行い品種の特性を把握し、栽培上の資料とする。																																			
供 用 施 設	パイプハウス 1号 (132 m ² : 約 40 坪)																																			
調査区の構成	1 調査区 6 区 (1品種 1区制 9株) 2 供試品種 6 品種																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品種名</th> <th>花色</th> <th>会社名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>レベッカ</td> <td>白に赤斑</td> <td>RoyalVanZanten</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>カルタヘナ</td> <td>紫</td> <td>Hilverda</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ハッピーフィート</td> <td>桃</td> <td>Hilverda</td> <td>覆輪・スポットレス</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>セルビノ</td> <td>赤</td> <td>Hilverda</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ハワイアンドリーム</td> <td>紫</td> <td>Hilverda</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>オライオン</td> <td>黄</td> <td>Hilverda</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No.	品種名	花色	会社名	備考	1	レベッカ	白に赤斑	RoyalVanZanten	標準	2	カルタヘナ	紫	Hilverda		3	ハッピーフィート	桃	Hilverda	覆輪・スポットレス	4	セルビノ	赤	Hilverda		5	ハワイアンドリーム	紫	Hilverda		6	オライオン	黄	Hilverda	
	No.	品種名	花色	会社名	備考																															
	1	レベッカ	白に赤斑	RoyalVanZanten	標準																															
	2	カルタヘナ	紫	Hilverda																																
	3	ハッピーフィート	桃	Hilverda	覆輪・スポットレス																															
	4	セルビノ	赤	Hilverda																																
5	ハワイアンドリーム	紫	Hilverda																																	
6	オライオン	黄	Hilverda																																	
耕 種 概 要	1 定植時期 平成20年 6月30日																																			
	2 栽植距離 ベット幅70cm、株間30cm、1条植え (300株/a)																																			
	3 採花開始日 平成21年 1月6日																																			
	4 使用資材 [フラワーネット] 10cm×8目 (1段目)、18cm×4目 (2～4段目)																																			
	5 施肥量 大塚化学養液土耕 3号 20kg/132m ² (N : P : K=2.25 : 2.25 : 2.25kg/a)																																			
	6 保温・加温 平成20年10月27日～平成21年5月29日 平成21年11月2日～ 内カーテン、温風暖房機による																																			
	7 薬剤散布 6回 (平成21年4月13日～9月25日)																																			
結 果 の 概 要	<p>病害虫は、アブラムシ及び灰色かび病が散見された。</p> <p>調査区に供試した6品種において、切り花品質では、切花長は「レベッカ」を超えたのは「オライオン」で約120cmとなった。「ハワイアンドリーム」が85cm、他の3品種は90cm台となった。規格別割合では、いずれの品種も100cm以上が最も多いが、「ハワイアンドリーム」では70cm未満の割合が多かった。</p> <p>採花本数では、周年の合計で「レベッカ」が最も多かった。また、商品化率では、「オライオン」が「レベッカ」と同程度となった。「レベッカ」「オライオン」は7月から商品化率が低下したが、周年採花できた。他の品種は6,7月に商品化率が低下すると、続いて採花本数が低下し、「カルタヘナ」は7月以降1本未満となり、「ハッピーフィート」「セルビノ」「ハワイアンドリーム」は10月以降1本未満となった。</p> <p>「ハワイアンドリーム」「セルビノ」は採花後花梗が萎れやすい傾向が見られた。</p> <p>以上の結果から、本調査に供試した品種においては、「オライオン」が周年での採花に優れていると思われる。また、全体として、7月以降商品化率が低下する時期に、採花本数を抑え株養成に努めた方が良いと思われる。</p>																																			

次年度以降も引き続き、通年での生産性の確認や夏期の採花本数を抑えることによる株養成の効果を確認するため、次年度以降も調査を継続したい。

表1 切り花調査

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	茎長 (cm)	葉数 (枚)	花梗数 (本)	小花数 (個)	蕾数 (個)	茎径 (mm)
レベッカ	116.6	82.5	99.2	23.9	4.6	4.6	5.9	7.3
カルタヘナ	91.2	87.1	75.2	23.8	5.2	5.2	6.3	8.4
ハッピーフィート	99.3	97.6	87.9	28.0	5.7	5.6	8.2	8.5
セルビノ	98.5	77.9	86.2	23.0	5.4	5.4	6.5	7.4
ハワイアンドリーム	85.0	93.9	69.6	25.9	5.3	5.2	8.4	8.8
オライオン	122.7	62.5	106.6	25.6	4.7	4.7	5.4	6.7

表2 規格別割合(%)

品種名	3L	2L	L	M	S	2S	
レベッカ	61.3	14.0	14.2	6.6	3.6	0.4	3L : 100cm以上
カルタヘナ	52.0	5.3	4.9	13.8	16.0	8.0	2L : 90cm~100cm未満
ハッピーフィート	60.3	5.0	5.7	7.9	10.7	10.4	L : 80cm~90cm未満
セルビノ	70.8	1.0	1.3	3.6	4.3	19.0	M : 70cm~80cm未満
ハワイアンドリーム	43.6	3.6	11.5	13.6	13.9	13.6	S : 60cm~70cm未満
オライオン	84.2	8.2	3.4	2.5	1.5	0.2	2S : 50cm~60cm未満

表3 月別採花本数(採花本数/株)

品種名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
レベッカ (標準)	2.9 (100)	5.6 (96.0)	7.3 (100)	12.9 (96.6)	12.0 (96.3)	10.0 (92.2)	10.9 (77.6)	7.6 (82.4)	11.3 (66.7)	2.8 (88.0)	4.8 (79.1)	6.7 (91.7)	94.8 (88.0)
カルタヘナ	0.3 (100)	2.7 (100)	4.2 (100)	3.9 (100)	6.7 (71.7)	2.1 (68.4)	0.9 (50.0)	0.8 (57.1)	0.7 (33.3)	-	0.2 (50.0)	0.2 (50.0)	22.7 (84.0)
ハッピー フィート	0.9 (87.5)	3.2 (72.4)	5.6 (96.0)	6.3 (94.7)	8.0 (100)	4.3 (79.5)	4.6 (61.0)	1.2 (54.5)	1.1 (50.0)	-	-	-	35.2 (84.9)
セルビノ	3.8 (100)	4.7 (97.6)	6.8 (100)	6.4 (98.3)	5.1 (65.2)	1.9 (11.8)	1.2 (9.1)	1.6 (14.3)	1.9 (5.9)	0.2 (50.0)	0.1 (100)	0.2 (100)	33.9 (76.7)
ハワイアン ドリーム	0.1 (100)	1.3 (100)	6.8 (100)	7.2 (100)	8.6 (93.5)	7.4 (85.1)	1.9 (17.6)	1.9 (41.2)	1.2 (27.3)	0.2 (0)	-	-	36.6 (85.2)
オライオン	2.1 (100)	2.2 (90.0)	6.1 (85.5)	10.0 (97.8)	7.0 (95.2)	0.6 (100)	4.6 (87.8)	3.6 (96.9)	10.0 (73.3)	1.8 (81.3)	2.0 (77.8)	2.9 (76.9)	52.9 (87.8)

上段：採花本数/株

下段：(商品化率(%))

※商品化率…切花長60cm以上、小花数・蕾数共に4個以上の切花が全切花数に占める割合

花きの部 No.3	
調 査 名	秋輪菊の栽培調査(季咲き) (平成20年度～22年度)
目 的	当地域輪菊(神馬)栽培では1マス3本直挿し無摘心栽培が主流となっているが、生産性向上を図るため1マス4本直挿し無摘心栽培及び大苗直挿しによる栽培について調査し、栽培上の資料とする。
供 用 施 設	パイプハウス8号(99㎡:約30坪)
調査区の構成	1 調査区 1 区 (1区30株) 2 供試品種 神馬 ① 3本直挿し 大苗(20cm) 無摘心 ② 4本直挿し 幼苗(10cm) 無摘心 ③ 4本直挿し 大苗(20cm) 無摘心 ④ 3本直挿し 幼苗(10cm) 無摘心 [対照区]
耕 種 概 要	1 採穂時期 平成21年 6月29日(10cm苗)、7月2日(20cm苗)、7月14日 2 定植時期 平成21年 7月 6日 3 栽植距離 ベット幅45cm、株間15cm、条間15cm、1マス3本の2条植え(3,600本/a) ベット幅45cm、株間15cm、条間15cm、1マス4本の2条植え(4,800本/a) 4 発蕾日 平成21年 9月17日 5 採花期間 平成21年10月15日～10月20日 6 使用資材 15cm×3目フラワーネット、オキシベロン液剤、 ビーナイン水和剤80、ケイントップ(有機質資材)60kg、 ハイプロN(微生物資材)7.25kg 7 施肥量 バーク堆肥100kg、トリオ有機S048号10kg (N:P:K=1.0:0.4:0.8kg/a) 8 薬剤散布 10回(平成21年7月24日～10月6日)
結 果 の 概 要	病害虫については、アブラムシ類が散見された他、一部で下葉が斑点状に壊死する症状が見られた。 挿し穂が活着して新葉が伸び始めるまでの期間については、幼苗(10cm)が約7日間だったのに対し、大苗(20cm)は比べ活着するまでに約11日間を要し、昨年と同様の傾向が見られた。草丈については、7月下旬から8月上旬にかけて気温及び日照時間が低く推移したため昨年に比べ低くなったが、9月25日時点で全ての調査区で草丈が90cmを超えた。 切り花品質について、1マス4本植えの調査区は1マス3本植えの調査区に比べ調整重は低くなった。切り花長は全て110cm前後となり、1マス4本植えと3本植え並びに大苗(20cm)と幼苗(10cm)の違いは判然としなかった。 採花期については、全ての調査区でほぼ同時期となった。 良品率については「1マス3本 幼苗(10cm)[対照区]」で86.7%と最も高く、続いて「1マス4本 大苗(20cm)」「1マス3本 大苗(20cm)」「1マス4本 幼苗(10cm)」の順であり、昨年に比べ良品率の差は小さかったが、対照区が最も高く、「1マス4本 幼苗(10cm)」が最も低い傾向は同様であった。

以上の結果、「1マス4本 大苗(20cm)」「1マス3本 大苗(20cm)」栽培については、「1マス3本 幼苗(10cm)[対照区]」に比べ良品率はやや低くなるものの、1a当たりの収量では1マス3本植え栽培とほぼ同じであった。

次年度は引き続き定植時期について検討するとともに、年次間での影響を確認するため引き続き調査を実施したい。

表1 生育調査 [草丈]

品種名	8/14	8/28	9/11	9/25
1マス3本植え 20cm苗	38.1	60.4	89.5	101.2
1マス4本植え 10cm苗	30.1	54.8	87.6	97.6
1マス4本植え 20cm苗	37.6	62.1	90.0	99.7
1マス3本植え 10cm苗(対照)	31.4	56.3	88.3	96.9

表2 切り花調査

品種名	切花長 (cm)	切り花重 (g)	調整重 (g)	葉数 (枚)	花首長 (cm)	茎径 (mm)	採花期
1マス3本植え 20cm苗	111.5	88.9	72.5	44.3	3.8	4.7	10/15~10/20
1マス4本植え 10cm苗	110.6	77.9	63.5	55.1	4.0	4.4	10/15
1マス4本植え 20cm苗	107.5	82.8	68.4	57.1	3.5	4.4	10/20
1マス3本植え 10cm苗(対照)	107.6	81.4	71.7	55.2	3.5	4.9	10/15

※ 調整重：草丈100cmにし、下葉を20cm除去した重さ

表3 良品率調査

品種名	良品率 (%)
1マス3本植え 20cm苗	76.7
1マス4本植え 10cm苗	70.0
1マス4本植え 20cm苗	80.0
1マス3本植え 10cm苗(対照)	86.7

※ 良品率：草丈90cm、調整重60g以上の割合

花きの部 No.4												
調 査 名	秋菊の栽培調査(11月出荷) (平成21年度～22年度)											
目 的	当地域における白輪菊の特性を把握するため、開花時期及び切り花品質について調査し栽培上の資料とする、											
供 用 施 設	パイプハウス9号 (99㎡：約30坪)											
調査区の構成	1 調査区 3 区 (1品種 1区制 30株) 2 供試品種 3 品種											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品種・系統名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>神馬2号・長崎2</td> <td>長崎県農試選抜</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>新神2</td> <td>鹿児島県育成</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>神馬 (標準)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No.	品種・系統名	備考	1	神馬2号・長崎2	長崎県農試選抜	2	新神2	鹿児島県育成	3	神馬 (標準)
No.	品種・系統名	備考										
1	神馬2号・長崎2	長崎県農試選抜										
2	新神2	鹿児島県育成										
3	神馬 (標準)											
耕 種 概 要	1 親株処理 電照による長日処理は無し エスレル10 (500倍希釈) 散布1回 (7月22日) 2 採穂時期 平成21年 8月12日 (神馬)、8月14日 (神馬2号・長崎2、新神2) 3 定植時期 平成21年 8月19日 (全品種)、8月26日 (全品種) 4 摘芯時期 無摘心 5 栽植距離 ベット幅45cm、株間15cm、条間15cm、1マス3本植えの2条植え (中1条抜き) (3,600本/a) 6 電照期間 平成21年 8月19日～ 9月25日 (22時～2時：深夜暗期中断4時間) 7 採花期間 収穫に至らず 8 加温期間 なし 9 使用資材 15cm×3目フラワーネット、オキシベロン液剤、 ケイントップ (有機質資材) 60kg、ハイプロN (微生物資材) 7.2l バイオテックライト、エスレル10 10 施肥量 バーク堆肥 100kg、トリオ有機S O 4 8号 10kg (N : P : K = 1.0 : 0.4 : 0.8kg/a) 11 薬剤散布 2回 (平成21年9月7日～9月14日)											
結 果 の 概 要	<p>病害虫については、アブラムシ類が散見された他、一部で下葉が斑点状に壊死する症状が見られた。定植時期を検討するため、全品種において8月19日及び8月26日に定植した。</p> <p>生育状況について、挿し穂が活着し新葉が伸び始めるまでの期間は、「神馬」が約7日間だったのに対し、「神馬2号・長崎2」、「新神2」は10日以上を要した。その後の生育は、いずれの品種及び系統においても草丈は同程度であったが、8月26日定植では、8月19日定植に比べ草丈の伸長が若干遅くなる傾向にあった。9月下旬に全品種が発蕾したため (8月19日定植で40cm前後、8月26日で草丈約20cm)、収穫には至らなかった。これは、親株管理において無電照であったことやエスレル処理が十分でなかったため、採穂時にすでに幼若性が失われていたことと、8月の涼温と日照不足の影響で、花芽形成が促進されたものと思われる。</p>											

病害虫については、生育初期にアブラムシ類が散見された。また、「新神2」については、生育途中で下葉が枯れ上がってくる症状が見られ、昨年度と同様の傾向が見られた。

次年度については、引き続き定植時期等について検討するとともに、年次間での影響を確認するため引き続き調査を実施したい。

表1 生育調査 (草丈)

(単位: cm)

品種・系統名	(定植日)	9月4日	9月11日	9月18日	9月25日
神馬2号・長崎2	8月19日	16.0	24.9	32.6	39.7
新神2	8月19日	14.9	26.4	33.8	41.7
神馬(標準)	8月19日	14.7	25.8	33.1	40.7
神馬2号・長崎2	8月26日	6.3	14.2	21.6	25.7
新神2	8月26日	6.6	15.8	23.0	26.9
神馬(標準)	8月26日	5.4	14.9	21.1	25.4

花きの部 No.5					
調 査 名	小輪アスターの輪作栽培調査(9月出荷) (平成19年度～)				
目 的	アスターの施設栽培では、萎ちょう病により同一ほ場での連作栽培が困難なことから、八戸地域における輪作体系を確立するため、栽培上の資料とする。				
供 用 施 設	パイプハウス10号 (99㎡：約30坪)				
調査区の構成	1 調査区	12 区	(1品種1区制10株)		
	2 供試品種	12 品種			
	No.	品種	花色	会社名	備考
	1	ステラトップローズ	桃	(株)サカタのタネ	半八重
	2	ステラトップブルー	青	(株)サカタのタネ	半八重
	3	ステラカーマイン	赤	(株)サカタのタネ	半八重
	4	ステラホワイト	白	(株)サカタのタネ	半八重
	5	ネネスカーレット	赤	タキイ種苗(株)	半八重
	6	ネネパープル	紫	タキイ種苗(株)	半八重
	7	ネネホワイト	白	タキイ種苗(株)	半八重
	8	ナナピンク	桃	タキイ種苗(株)	半八重
	9	ナナホワイト	白	タキイ種苗(株)	半八重
	10	ナナパープル	紫	タキイ種苗(株)	半八重
11	ナナカーマイン	ローズ	タキイ種苗(株)	半八重	
12	ナナサーモンピンク	サーモンピンク	タキイ種苗(株)	半八重	
耕 種 概 要	1 は種時期	平成21年 6月 8日			
	2 定植時期	平成21年 7月 10日			
	3 栽植距離	ベット幅96cm、株間12cm、条間12cm、6条植え(中2条抜き) (2,700本/a)			
	4 採花期間	平成21年 9月18日～10月 9日			
	5 電照期間	平成21年 7月10日～ 9月 7日			
	6 使用資材	セルトレイ 200穴、12cm×8目フラワーネット、黒マルチ ネニソイル(微生物資材) 15kg			
	7 施肥量	バーク堆肥 200kg、トリオ有機048 10kg (N:P:K = 1.0:0.4:0.8 kg/a)			
	8 薬剤散布	10回(7月9日～9月11日)			
	9 栽培経過	平成18年	6月～ 9月	アスター	
	平成18年	10月～ 4月	ブプレウルム		
	平成19年	6月～ 9月	アスター		
	平成19年	10月～ 3月	ストック		
	平成20年	6月～ 9月	アスター		
	平成20年	10月～ 6月	カンパニユラ		
	平成21年	7月～10月	アスター		
結果の概要	病害虫については、萎ちょう病による連作障害が、昨年「ステラブルー」で確認された箇所に定植した「ステラカーマイン」で確認され、その周辺に定植した「ステラホワイト」「ステラトップローズ」「ネネスカーレット」「ナナピンク」の一部において、萎ちょう病に伴い枯死や草丈が伸びない症状が確認された。本				

調査では輪作開始から3年目のアスター栽培で萎ちょう病が一部見られ、4年目は病害が周辺に広がることとなった。その他にハモグリバエが散見された。

生育状況については、7月下旬から8月上旬の低温や日照不足が影響し、草丈の伸長が遅れた。また、「ステラホワイト」「ステラカーマイン」については萎ちょう病の影響により草丈の伸長が著しく遅れたため、これらを除いた10品種が草丈60cmとなった時点で、電照を消灯した。その結果、昨年と比べ7日間消灯が遅くなり、それに伴い開花時期が約7日間遅れた。

切り花品質については、ナナ系統、ネネ系統で一部草姿が乱れる傾向があった。これは全栽培期間で電照を行った平成19年度と同様であった。

以上の結果から、適品種の選定及び輪作をすることにより、同じ圃場であっても2~3年間はアスター栽培が可能であると考えられるが、一度萎ちょう病が発生すると、輪作を行っても病害の拡大を防ぐのは困難と思われる。また、電照期間については、採花時期近くまで電照を行うと草姿が乱れる可能性があるため、本作型では8月末頃まで（平成20年度調査結果）が適していると思われる。

本調査は、萎ちょう病に対する輪作の効果及び本作型における草姿への電照期間の影響について知見を得たため、本年度をもって終了とする。

表1 生育調査 [草丈]

品種名	8月21日	9月7日
ステラトップローズ	48.9	60.8
ステラトップブルー	52.1	68.2
ステラカーマイン	28.7	—
ステラホワイト	42.6	53.4
ネネスカーレット	40.3	67.1
ネネパープル	35.5	60.3
ネネホワイト	45.8	62.5
ナナピンク	41.1	60.7
ナナホワイト	45.6	63.2
ナナパープル	44.7	64.1
ナナカーマインローズ	47.1	67.7
ナナサーモンピンク	46.6	66.8

表2 生育調査 [側枝数]

品種名	9月7日
ステラトップローズ	4.6
ステラトップブルー	6.2
ステラカーマイン	—
ステラホワイト	4.1
ネネスカーレット	4.8
ネネパープル	5.3
ネネホワイト	4.3
ナナピンク	3.1
ナナホワイト	4.8
ナナパープル	4.1
ナナカーマインローズ	2.3
ナナサーモンピンク	4.2

表3 切り花調査

品種名	切花長 (cm)	切り花重 (g)	調整重 (g)	葉数 (枚)	茎径 (mm)	側枝数 (本)	茎長 (cm)	採花期
ステラトップローズ	64.4	34.9	29.4	14.1	5.4	5.3	29.1	9/22~24
ステラトップブルー	82.8	72.8	63.7	20.3	7.3	7.0	43.7	9/24~29
ステラカーマイン	—	—	—	—	—	—	—	—
ステラホワイト	57.3	16.7	16.7	17.3	4.7	4.3	30.7	9/18
ネネスカーレット	85.9	45.3	41.4	23.3	7.1	5.3	51.8	9/29
ネネパープル	75.6	56.8	47.9	22.5	7.5	8.5	40.5	9/29~10/5
ネネホワイト	85.5	64.3	55.9	18.2	7.1	8.5	45.6	9/25~10/5
ナナピンク	78.8	34.5	30.8	27.4	6.2	4.8	55.6	10/5
ナナホワイト	84.8	67.4	54.7	23.6	7.7	5.1	50.7	9/29~10/1
ナナパープル	85.3	63.3	57.1	21.2	6.8	5.6	45.1	9/29
ナナカーマインローズ	104.4	64.9	54.5	23.2	6.5	4.9	62.5	10/6
ナナサーモンピンク	104.8	43.4	37.6	21.3	6.2	4.4	62.6	9/29~10/9

表4 規格別割合(%)

	3L	2L	L	M	S	
ステラトップローズ	0.0	0.0	15.4	84.6	0.0	3 L : 90cm以上~100cm未満
ステラトップブルー	14.3	57.1	28.6	37.2	4.7	2 L : 80cm以上~90cm未満
ステラカーマイン	—	—	—	—	—	L : 70cm以上~80cm未満
ステラホワイト	0.0	0.0	0.0	44.4	55.6	M : 60cm以上~70cm未満
ネネスカーレット	66.7	33.3	0.0	23.8	11.9	S : 50cm以上~60cm未満
ネネパープル	0.0	11.8	47.0	41.2	0.0	
ネネホワイト	11.1	55.6	33.3	0.0	48.8	
ナナピンク	0.0	38.5	53.8	7.7	0.0	
ナナホワイト	33.3	60.0	6.7	21.1	0.0	
ナナパープル	8.3	50.0	33.4	8.3	0.0	
ナナカーマインローズ	57.9	36.8	5.3	54.5	0.0	
ナナサーモンピンク	75.0	12.5	12.5	22.2	0.0	

花きの部 No.6																																									
調 査 名	ハボタン（切花）の栽培調査（平成19年度～26年度）																																								
目 的	近年、灯油の高騰が著しく、冬季間のハウスで栽培する品目の選定が求められているところである。そこで冬季間のハウスの有効利用を図るため、当地域においても無加温での栽培が可能であるか調査し栽培上の資料とする。																																								
供 用 施 設	パイプハウス 11号 (99 m ² : 約 30 坪)																																								
調 査 区 の 構 成	1 調査区 9 区 (1品種1区制10株) 2 供試品種 9 品種																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品種名</th> <th>葉色</th> <th>会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>晴姿</td> <td>白</td> <td>タキイ種苗(株)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>サニーブライト</td> <td>淡紅</td> <td>(株)ミヨシ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>紅寿2号</td> <td>淡紅</td> <td>(株)ミヨシ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ウインターチェリー</td> <td>淡紅</td> <td>タキイ種苗(株)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>レイクスワン</td> <td>白</td> <td>(株)ムラカミシード</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>紅神楽</td> <td>淡紅</td> <td>(株)ムラカミシード</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>桜神楽</td> <td>白に中心淡紅</td> <td>(株)ムラカミシード</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>雪神楽</td> <td>白</td> <td>(株)ムラカミシード</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>MY-3</td> <td>白・切れ葉</td> <td>(株)ムラカミシード</td> </tr> </tbody> </table>	No.	品種名	葉色	会社名	1	晴姿	白	タキイ種苗(株)	2	サニーブライト	淡紅	(株)ミヨシ	3	紅寿2号	淡紅	(株)ミヨシ	4	ウインターチェリー	淡紅	タキイ種苗(株)	5	レイクスワン	白	(株)ムラカミシード	6	紅神楽	淡紅	(株)ムラカミシード	7	桜神楽	白に中心淡紅	(株)ムラカミシード	8	雪神楽	白	(株)ムラカミシード	9	MY-3	白・切れ葉	(株)ムラカミシード
	No.	品種名	葉色	会社名																																					
	1	晴姿	白	タキイ種苗(株)																																					
	2	サニーブライト	淡紅	(株)ミヨシ																																					
	3	紅寿2号	淡紅	(株)ミヨシ																																					
	4	ウインターチェリー	淡紅	タキイ種苗(株)																																					
	5	レイクスワン	白	(株)ムラカミシード																																					
	6	紅神楽	淡紅	(株)ムラカミシード																																					
	7	桜神楽	白に中心淡紅	(株)ムラカミシード																																					
8	雪神楽	白	(株)ムラカミシード																																						
9	MY-3	白・切れ葉	(株)ムラカミシード																																						
耕 種 概 要	1 は種時期 平成21年8月 3日																																								
	2 定植時期 平成21年8月28日																																								
	3 栽植距離 ベット幅80cm、株間10cm、条間10cmの6条植え、中2条抜き (3,240本/a)																																								
	4 採花期間 平成21年11月6日～12月23日																																								
	5 使用資材 セルトレイ200穴、10cm×8目フラワーネット、黒マルチ、																																								
	6 施肥量 トリオ有機S048号 10kg/99m ² (N : P : K = 0.75 : 0.3 : 0.6 kg/a)																																								
	7 薬剤散布 7回 (9月7日～10月31日)																																								
結 果 の 概 要	<p>病害虫については、コナガが散見された。</p> <p>生育状況については、定植が昨年に比べ約1週間遅れたために苗がやや徒長したことが影響し、全体として草丈が伸びなかった。葉の着色は「ウインターチェリー」「サニーブライト」「レイクスワン」で11月上旬頃、「晴姿」他の品種では11月中旬から始まり、昨年に比べ約半月早かった。これは11月前半に低温になったのが影響したと考えられるが、その後11月後半に昼温が高くなると「晴姿」「サニーブライト」「紅寿2号」「紅神楽」「桜神楽」で特に着色部に緑色が入り、草姿が悪くなった。「レイクスワン」は着色部にほとんどの株で緑色が入らなかった。また生育後半になるに伴い、着色部にべと病の発現が多くなった。</p> <p>切り花品質について、「晴姿」「サニーブライト」「紅寿2号」は葉枚数が多く立葉性でまとまりが良かった。「ウインターチェリー」は立葉性でやや葉数が少なかった。「紅神楽」「桜神楽」「雪神楽」は開張性で、草姿は良かった。「レイクスワン」は開張性で着色部の葉がやや大きかった。「MY-3」は立葉性で緑葉が着色部の葉よりも伸び、中心部がややくぼむような草姿となった。切花長については「サ</p>																																								

ニーブライト」「レイクスワン」「桜神楽」で「晴姿」を下回った。
 規格別割合は、「紅寿2号」、「紅神楽」「雪神楽」「MY-3」でL以上の割合が高かった。
 以上の結果から、ハボタンは無加温での栽培が可能であるが、着色部の発色や病害の発生を考慮し、温度管理や換気に特に注意が必要と考えられる。
 次年度は、適品種の選定及び年次間での影響を確認するため、引き続き調査を実施したい。

表1 切り花調査

品種名	切花長 (cm)	切花重 (g)	茎長 (cm)	茎径 (mm)	着色部径 (cm)	採花期
晴姿	59.0	68.4	45.2	11.5	9.4	11/27
(昨年)	80.5	96.5	67.6	11.4	6.0	12/3
サニーブライト	53.0	101.3	38.0	12.3	10.8	11/27
紅寿2号	73.0	100.4	58.2	11.9	10.1	11/27
ウィンターチェリー	62.5	106.9	46.5	13.0	11.7	11/27
(昨年)	80.8	114.0	64.8	11.8	7.6	11/17~12/3
レイクスワン	57.0	96.9	39.0	14.0	10.8	11/27
紅神楽	71.9	115.1	54.9	15.2	10.4	11/27
桜神楽	56.5	88.7	40.7	13.0	11.2	11/27
雪神楽	67.7	96.4	49.0	12.0	11.1	11/27
MY-3	67.6	138.6	41.2	14.0	13.2	11/27

茎長：切り口から最下位葉までの長さ
 茎径：調整後の葉の直下部分の太さ
 着色部径：緑が混じらない部分の外径

表2 規格別割合(%)

品種名	3L	2L	L	M	S	規格外
晴姿	0.0	0.0	12.7	49.6	37.7	0.0
(昨年)	0.0	53.0	36.5	3.0	0.0	7.5
サニーブライト	0.0	0.0	0.0	41.6	61.5	0.0
紅寿2号	0.0	40.0	56.0	4.0	0.0	0.0
ウィンターチェリー	0.0	4.7	32.6	60.4	2.3	0.0
(昨年)	3.0	32.0	24.0	10.0	0.0	31.0
レイクスワン	0.0	0.0	4.5	68.2	27.3	0.0
紅神楽	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0
桜神楽	0.0	0.0	5.8	32.5	61.7	0.0
雪神楽	0.0	0.0	57.7	42.3	0.0	0.0
MY-3	0.0	9.5	61.9	23.8	4.8	0.0

切花長 (cm) 3L：80以上、2L：70以上～80未満、L：60以上～70未満、
 M：50以上～60未満、S：40以上～50未満

花きの部 No.7																																																																																					
調 査 名	トルコギキョウの品種比較調査 (8月出荷) (平成7年度～26年度)																																																																																				
目 的	8月出し栽培におけるトルコギキョウの品種について比較調査し、栽培上の資料とする。																																																																																				
供 用 施 設	パイプハウス5号棟 (132㎡:約40坪)																																																																																				
調査区の構成	1 調査区 13区 (1品種1区制10株) 2 供試品種 13品種																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品 種 名</th> <th>早晩性</th> <th>花色</th> <th>花径</th> <th>会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ニューリネーションホワイト</td> <td>極早生</td> <td>白・八重</td> <td>中大輪</td> <td>(株)サカタのタネ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ニューリネーションピンク (Ver.2)</td> <td>極早生</td> <td>桃・八重</td> <td>中大輪</td> <td>(株)サカタのタネ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ソワレピンク</td> <td>早生</td> <td>桃・八重</td> <td>大輪</td> <td>(株)ミヨシ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>せせらぎ</td> <td>早生</td> <td>紫・覆輪</td> <td>中小輪</td> <td>(株)ムラカミシード</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>アドバンテージパープル</td> <td>中早生</td> <td>紫・八重</td> <td>大輪</td> <td>タキイ種苗(株)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ボレロマリン</td> <td>中早生</td> <td>紫・八重・覆輪</td> <td>中輪</td> <td>(株)ミヨシ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>トレーシー</td> <td>中生</td> <td>紫</td> <td>中輪</td> <td>福花園種苗(株)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>バルカンマリン</td> <td>中生</td> <td>紫・覆輪</td> <td>中輪</td> <td>タキイ種苗(株)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>バルカンホワイト</td> <td>中生</td> <td>白</td> <td>中輪</td> <td>タキイ種苗(株)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>バルカンリップス</td> <td>中生</td> <td>桃・覆輪</td> <td>中小輪</td> <td>タキイ種苗(株)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>ノーブルバイオレット</td> <td>中生</td> <td>紫</td> <td>大輪</td> <td>(株)サカタのタネ</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>エスコートホワイト</td> <td>中生</td> <td>白</td> <td>大輪</td> <td>(株)サカタのタネ</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>おり姫ミニ</td> <td>中生</td> <td>桃・覆輪</td> <td>小輪</td> <td>(株)サカタのタネ</td> </tr> </tbody> </table>	No.	品 種 名	早晩性	花色	花径	会社名	1	ニューリネーションホワイト	極早生	白・八重	中大輪	(株)サカタのタネ	2	ニューリネーションピンク (Ver.2)	極早生	桃・八重	中大輪	(株)サカタのタネ	3	ソワレピンク	早生	桃・八重	大輪	(株)ミヨシ	4	せせらぎ	早生	紫・覆輪	中小輪	(株)ムラカミシード	5	アドバンテージパープル	中早生	紫・八重	大輪	タキイ種苗(株)	6	ボレロマリン	中早生	紫・八重・覆輪	中輪	(株)ミヨシ	7	トレーシー	中生	紫	中輪	福花園種苗(株)	8	バルカンマリン	中生	紫・覆輪	中輪	タキイ種苗(株)	9	バルカンホワイト	中生	白	中輪	タキイ種苗(株)	10	バルカンリップス	中生	桃・覆輪	中小輪	タキイ種苗(株)	11	ノーブルバイオレット	中生	紫	大輪	(株)サカタのタネ	12	エスコートホワイト	中生	白	大輪	(株)サカタのタネ	13	おり姫ミニ	中生	桃・覆輪	小輪	(株)サカタのタネ
	No.	品 種 名	早晩性	花色	花径	会社名																																																																															
	1	ニューリネーションホワイト	極早生	白・八重	中大輪	(株)サカタのタネ																																																																															
	2	ニューリネーションピンク (Ver.2)	極早生	桃・八重	中大輪	(株)サカタのタネ																																																																															
	3	ソワレピンク	早生	桃・八重	大輪	(株)ミヨシ																																																																															
	4	せせらぎ	早生	紫・覆輪	中小輪	(株)ムラカミシード																																																																															
	5	アドバンテージパープル	中早生	紫・八重	大輪	タキイ種苗(株)																																																																															
	6	ボレロマリン	中早生	紫・八重・覆輪	中輪	(株)ミヨシ																																																																															
	7	トレーシー	中生	紫	中輪	福花園種苗(株)																																																																															
	8	バルカンマリン	中生	紫・覆輪	中輪	タキイ種苗(株)																																																																															
	9	バルカンホワイト	中生	白	中輪	タキイ種苗(株)																																																																															
	10	バルカンリップス	中生	桃・覆輪	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																															
	11	ノーブルバイオレット	中生	紫	大輪	(株)サカタのタネ																																																																															
12	エスコートホワイト	中生	白	大輪	(株)サカタのタネ																																																																																
13	おり姫ミニ	中生	桃・覆輪	小輪	(株)サカタのタネ																																																																																
耕 種 概 要	1 は種時期 平成21年 2月9日																																																																																				
	2 定植時期 平成21年 4月3日																																																																																				
	3 栽植距離 ベット幅110cm、株間10cm、条間10cm、8条植え (中3条抜き) (4,300本/a)																																																																																				
	4 採花期間 平成21年 8月18日～9月8日																																																																																				
	5 使用資材 セルトレイ 288穴、10cm×11目フラワーネット、 白黒ダブルマルチ、ネニソイル 15kg (微生物資材)																																																																																				
	6 施肥量 大塚化学養液土耕 5号 1.7kg、2号 5.7kg/132㎡ (N:P:K=0.9:0.7:1.7kg/a) *養液 EC 濃度 0.2～0.7 (生育ステージによる。)																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>合計肥料使用量</th> <th>灌水時間 (分)</th> <th>灌水量 (ℓ/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/3～4/15</td> <td>0.3 (養液土耕5号)</td> <td>11</td> <td>396</td> </tr> <tr> <td>4/16～4/29</td> <td>0.5 (養液土耕5号)</td> <td>17</td> <td>612</td> </tr> <tr> <td>4/30～5/13</td> <td>0.9 (養液土耕5号)</td> <td>14</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>5/14～6/7</td> <td>2.0 (養液土耕2号)</td> <td>11</td> <td>396</td> </tr> <tr> <td>6/8～6/25</td> <td>1.5 (養液土耕2号)</td> <td>8</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>6/26～7/16</td> <td>1.2 (養液土耕2号)</td> <td>5</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>7/17～8/3</td> <td>1.0 (養液土耕2号)</td> <td>5</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	合計肥料使用量	灌水時間 (分)	灌水量 (ℓ/日)	4/3～4/15	0.3 (養液土耕5号)	11	396	4/16～4/29	0.5 (養液土耕5号)	17	612	4/30～5/13	0.9 (養液土耕5号)	14	504	5/14～6/7	2.0 (養液土耕2号)	11	396	6/8～6/25	1.5 (養液土耕2号)	8	288	6/26～7/16	1.2 (養液土耕2号)	5	180	7/17～8/3	1.0 (養液土耕2号)	5	180																																																				
	月 日	合計肥料使用量	灌水時間 (分)	灌水量 (ℓ/日)																																																																																	
4/3～4/15	0.3 (養液土耕5号)	11	396																																																																																		
4/16～4/29	0.5 (養液土耕5号)	17	612																																																																																		
4/30～5/13	0.9 (養液土耕5号)	14	504																																																																																		
5/14～6/7	2.0 (養液土耕2号)	11	396																																																																																		
6/8～6/25	1.5 (養液土耕2号)	8	288																																																																																		
6/26～7/16	1.2 (養液土耕2号)	5	180																																																																																		
7/17～8/3	1.0 (養液土耕2号)	5	180																																																																																		
* 灌水量は1棟 (40坪) 当たり																																																																																					
7 保温・加温 平成21年4月3日～5月29日 10℃設定 内カーテン、保温暖房機による																																																																																					
8 薬剤散布 5回 (平成21年5月13日～8月7日)																																																																																					

結果の概要

病害虫については、ハモグリバエ、採花期にアザミウマが散見された。

生育状況については、4月及び6月が低温で推移したことから初期の生育が遅れ、すべての品種で8月後半からの採花となった。

切り花品質については、初期の生育の遅れにより、切り花長が前年度に比べ短くなった。上物率は中生系では「トレーシー」で80%を超えた。また、「バルカンマリン」「おり姫ミニ」で50%を超えた。

以上の結果、今回の調査では供試した品種の中では、中生系の「トレーシー」「バルカンマリン」「おり姫ミニ」が切花長、上物率から優れていると思われた。次年度も引き続き本作型に適した品種を選定しながら、調査を実施したい。

表1 調査結果一覧

品種名	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	調整重 (g)	節数 (節)	茎長 (cm)	茎径 (cm)	着蕾側 枝数 (本)	開花数 (個)	花蕾数 (個)	上物率 (%)	商品化 率 (%)	調査日	
ニュリネーション初イ	75.4	88.7	85.9	7.9	39.3	3.8	4.1	4.7	11.4	30	100	8/18～8/25	
ニュリネーションピンクver.2	65.8	83.9	78.5	7.5	35.0	4.1	2.9	4.3	10.2	0	100	8/25～8/27	
ワリビソク	56.0	50.6	50.6	8.0	30.8	2.8	2.7	4.0	5.2	0	100	8/27～9/1	
せせらぎ	69.9	80.6	76.1	7.8	36.6	4.2	4.6	5.5	12.8	10	100	8/18	
アトハンテージパープル	74.4	75.9	75.1	8.9	48.1	4.2	3.2	4.2	5.9	30	100	8/27～9/1	
ホレマリン	66.6	76.9	74.6	9.5	36.0	5.0	2.9	3.9	7.9	0	100	8/27	
トレン-	本年	90.4	120.3	118.9	9.8	53.8	5.0	4.0	5.4	12.4	100	100	8/27
	昨年	107.7	150.0	119.8	12.5	73.4	6.0	5.6	6.1	9.0	100	100	8/19
パルンマリン	79.1	84.9	84.2	10.7	47.7	5.0	2.9	4.8	8.9	50	100	8/27	
パルンホワイト	本年	74.4	62.8	61.2	9.0	36.7	4.2	1.7	4.5	6.0	30	100	8/27～9/3
	昨年	105.9	110.5	94.3	13.5	67.8	5.5	3.5	5.1	7.0	100	100	8/21～8/26
パルンソックス	本年	73.7	72.4	71.4	7.8	38.7	4.7	2.5	4.7	6.6	0	100	9/1～9/3
	昨年	88.7	89.8	71.0	12.4	58.9	6.1	3.4	4.2	3.8	100	100	8/21～8/26
ノーブルホワイト	本年	74.2	90.6	89.2	7.9	38.7	5.8	2.0	4.3	8.7	20	100	8/27～9/1
	昨年	88.3	109.3	94.0	12.0	61.6	6.9	3.6	5.0	4.3	100	100	8/19～8/21
エスコートホワイト	70.0	79.5	77.1	8.7	40.2	4.3	3.2	5.0	11.6	0	100	8/25	
おり姫ニ	本年	78.4	94.0	93.3	8.1	43.5	4.3	3.4	5.0	9.1	60	100	9/1～9/8
	昨年	93.7	108.0	85.0	12.3	63.9	6.0	4.4	5.0	6.8	100	100	8/28～9/2

※上物率：切り花長80cm、調整重45g以上で、開花数+花蕾数6個以上のもの

※商品化率：切り花長50cm以上のもの

図1 切り花長の比較

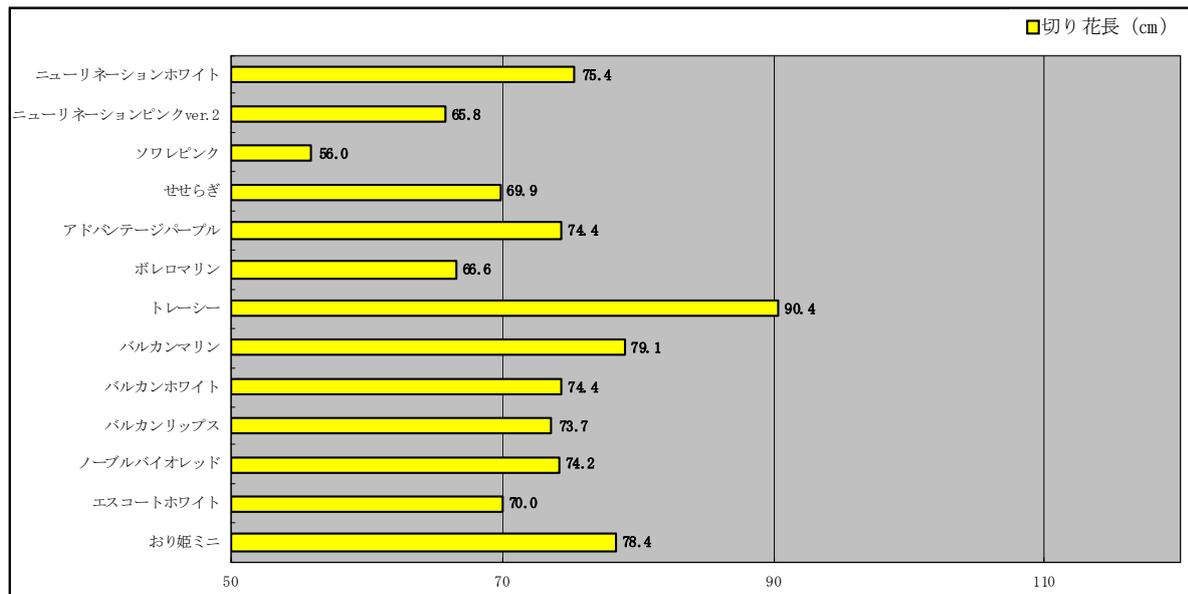
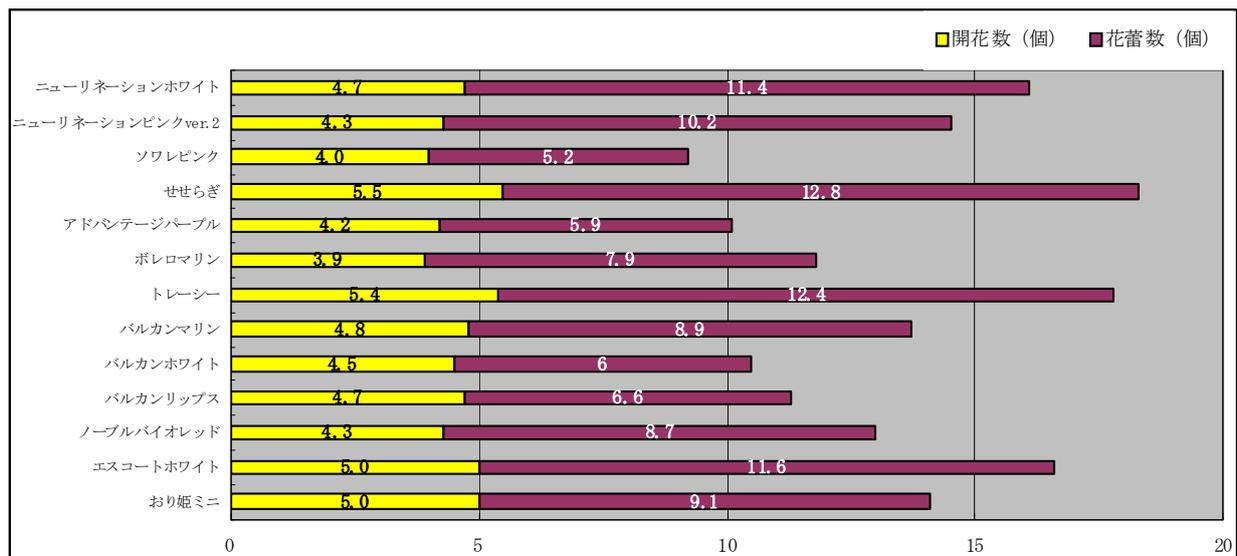


図2 開花数+花蕾数の比較



花きの部 No.8																																																																																																																																																	
調 査 名	トルコギキョウの品種比較調査(9月出荷・養液土耕栽培)(平成12年度～26年度)																																																																																																																																																
目 的	9月出し栽培におけるトルコギキョウの品種について比較調査し、栽培上の資料とする。																																																																																																																																																
供 用 施 設	パイプハウス2号棟(132㎡:約40坪)																																																																																																																																																
調査区の構成	1 調査区 26区 (1品種1区制10株) 2 供試品種 26品種																																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品 種 名</th> <th>早晩性</th> <th>花色</th> <th>花径</th> <th>会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>トレシー</td><td>中生</td><td>紫</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>2</td><td>カルメンバイオレット</td><td>中生</td><td>紫・八重</td><td>大輪</td><td>(株)サカタのタネ</td></tr> <tr><td>3</td><td>エスコートホワイト</td><td>中生</td><td>白</td><td>大輪</td><td>(株)サカタのタネ</td></tr> <tr><td>4</td><td>ロジーナスノー</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中輪</td><td>(株)サカタのタネ</td></tr> <tr><td>5</td><td>アルベールスノー</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>6</td><td>メルシーイエロー</td><td>中生</td><td>黄</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>7</td><td>06-056</td><td>中生</td><td>桃・八重</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>8</td><td>紫音</td><td>中生</td><td>紫・覆輪</td><td>中大輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>9</td><td>カシスピンク</td><td>中生</td><td>黄</td><td>中輪</td><td>(株)サカタのタネ</td></tr> <tr><td>10</td><td>ロジーナブルー</td><td>中生</td><td>桃・覆輪</td><td>小輪</td><td>(株)サカタのタネ</td></tr> <tr><td>11</td><td>MEX6095</td><td>中生</td><td>紫・覆輪</td><td>中輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>12</td><td>クレアピンク</td><td>中生</td><td>白</td><td>中小輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>13</td><td>マシュマロホワイト</td><td>中生</td><td>緑・八重</td><td>中輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>14</td><td>カルメンルージュ</td><td>中生</td><td>薄紫緋</td><td>中輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>15</td><td>MEX6095</td><td>中晩生</td><td>赤・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>16</td><td>黄翔</td><td>中晩生</td><td>白</td><td>中輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>17</td><td>ロジーナピンク</td><td>中晩生</td><td>桃・八重</td><td>大輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>18</td><td>イキナレッド</td><td>中晩生</td><td>白・八重</td><td>中大輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>19</td><td>ポップスター</td><td>中晩生</td><td>桃・覆輪</td><td>中大輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>20</td><td>ラ・フォリア</td><td>中晩生</td><td>桃・八重</td><td>中小輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>21</td><td>紅音</td><td>中晩生</td><td>桃・覆輪</td><td>中輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>22</td><td>ファイナルホワイト</td><td>晩生</td><td>白・八重</td><td>大輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>23</td><td>シリウスブラッシュ360</td><td>晩生</td><td>桃・八重・覆輪</td><td>中小輪</td><td>みかど協和(株)</td></tr> </tbody> </table>	No.	品 種 名	早晩性	花色	花径	会社名	1	トレシー	中生	紫	中輪	福花園種苗(株)	2	カルメンバイオレット	中生	紫・八重	大輪	(株)サカタのタネ	3	エスコートホワイト	中生	白	大輪	(株)サカタのタネ	4	ロジーナスノー	中生	白・八重	中輪	(株)サカタのタネ	5	アルベールスノー	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード	6	メルシーイエロー	中生	黄	中輪	福花園種苗(株)	7	06-056	中生	桃・八重	中輪	福花園種苗(株)	8	紫音	中生	紫・覆輪	中大輪	カネコ種苗(株)	9	カシスピンク	中生	黄	中輪	(株)サカタのタネ	10	ロジーナブルー	中生	桃・覆輪	小輪	(株)サカタのタネ	11	MEX6095	中生	紫・覆輪	中輪	タキイ種苗(株)	12	クレアピンク	中生	白	中小輪	タキイ種苗(株)	13	マシュマロホワイト	中生	緑・八重	中輪	(株)ムラカミシード	14	カルメンルージュ	中生	薄紫緋	中輪	カネコ種苗(株)	15	MEX6095	中晩生	赤・八重	中大輪	(株)ミヨシ	16	黄翔	中晩生	白	中輪	(株)ムラカミシード	17	ロジーナピンク	中晩生	桃・八重	大輪	(株)ムラカミシード	18	イキナレッド	中晩生	白・八重	中大輪	カネコ種苗(株)	19	ポップスター	中晩生	桃・覆輪	中大輪	タキイ種苗(株)	20	ラ・フォリア	中晩生	桃・八重	中小輪	タキイ種苗(株)	21	紅音	中晩生	桃・覆輪	中輪	カネコ種苗(株)	22	ファイナルホワイト	晩生	白・八重	大輪	タキイ種苗(株)	23	シリウスブラッシュ360	晩生	桃・八重・覆輪	中小輪	みかど協和(株)
	No.	品 種 名	早晩性	花色	花径	会社名																																																																																																																																											
	1	トレシー	中生	紫	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																																											
	2	カルメンバイオレット	中生	紫・八重	大輪	(株)サカタのタネ																																																																																																																																											
	3	エスコートホワイト	中生	白	大輪	(株)サカタのタネ																																																																																																																																											
	4	ロジーナスノー	中生	白・八重	中輪	(株)サカタのタネ																																																																																																																																											
	5	アルベールスノー	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																											
	6	メルシーイエロー	中生	黄	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																																											
	7	06-056	中生	桃・八重	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																																											
	8	紫音	中生	紫・覆輪	中大輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																											
	9	カシスピンク	中生	黄	中輪	(株)サカタのタネ																																																																																																																																											
	10	ロジーナブルー	中生	桃・覆輪	小輪	(株)サカタのタネ																																																																																																																																											
	11	MEX6095	中生	紫・覆輪	中輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																																											
	12	クレアピンク	中生	白	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																																											
	13	マシュマロホワイト	中生	緑・八重	中輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																											
	14	カルメンルージュ	中生	薄紫緋	中輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																											
	15	MEX6095	中晩生	赤・八重	中大輪	(株)ミヨシ																																																																																																																																											
	16	黄翔	中晩生	白	中輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																											
	17	ロジーナピンク	中晩生	桃・八重	大輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																											
	18	イキナレッド	中晩生	白・八重	中大輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																											
	19	ポップスター	中晩生	桃・覆輪	中大輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																																											
	20	ラ・フォリア	中晩生	桃・八重	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																																											
	21	紅音	中晩生	桃・覆輪	中輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																											
22	ファイナルホワイト	晩生	白・八重	大輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																																												
23	シリウスブラッシュ360	晩生	桃・八重・覆輪	中小輪	みかど協和(株)																																																																																																																																												
耕 種 概 要	1 は種時期 平成21年 3月19日																																																																																																																																																
	2 定植時期 平成21年 5月25日																																																																																																																																																
	3 栽植距離 ベット幅110cm、株間10cm、条間10cm、8条植え(中3条抜き) (4,300本/a)																																																																																																																																																
	4 短日処理 定植直後から30日間(17時～8時)																																																																																																																																																
	5 採花期間 平成21年 9月24日～10月29日																																																																																																																																																
	6 使用資材 10cm×11目フラワーネット、白黒ダブルマルチ、 メガクール(遮光フィルム)、エクセルソイル(育苗培土)288穴、 ネニソイル(微生物資材)15kg																																																																																																																																																
	7 施肥量 大塚化学養液土耕5号 1.7kg、2号 5.7kg/132㎡ (N:P:K=0.9:0.7:1.7 kg/a)																																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>合計肥料使用量</th> <th>灌水時間(分)</th> <th>灌水量(ℓ/日)</th> <th>粉体からの倍率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/25～6/18</td> <td>0.8(養液土耕5号)</td> <td>12</td> <td>438</td> <td>4,800</td> </tr> <tr> <td>6/19～7/6</td> <td>0.9(養液土耕5号)</td> <td>17</td> <td>620</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>7/7～8/5</td> <td>2.0(養液土耕2号)</td> <td>13</td> <td>474</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>8/6～8/27</td> <td>2.0(養液土耕2号)</td> <td>8</td> <td>288</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>8/27～9/30</td> <td>1.7(養液土耕2号)</td> <td>5</td> <td>180</td> <td>1,400</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	合計肥料使用量	灌水時間(分)	灌水量(ℓ/日)	粉体からの倍率	5/25～6/18	0.8(養液土耕5号)	12	438	4,800	6/19～7/6	0.9(養液土耕5号)	17	620	4,000	7/7～8/5	2.0(養液土耕2号)	13	474	1,800	8/6～8/27	2.0(養液土耕2号)	8	288	1,400	8/27～9/30	1.7(養液土耕2号)	5	180	1,400																																																																																																																		
	月 日	合計肥料使用量	灌水時間(分)	灌水量(ℓ/日)	粉体からの倍率																																																																																																																																												
	5/25～6/18	0.8(養液土耕5号)	12	438	4,800																																																																																																																																												
6/19～7/6	0.9(養液土耕5号)	17	620	4,000																																																																																																																																													
7/7～8/5	2.0(養液土耕2号)	13	474	1,800																																																																																																																																													
8/6～8/27	2.0(養液土耕2号)	8	288	1,400																																																																																																																																													
8/27～9/30	1.7(養液土耕2号)	5	180	1,400																																																																																																																																													
* 養液EC濃度 0.2～0.7(生育ステージによる)																																																																																																																																																	
* 灌水量は1棟(40坪)当たり																																																																																																																																																	

	<p>8 薬剤散布 5回（平成21年7月8日～9月11日） ※ 育苗方法については、セルトレイに播種、十分吸水させた後、6℃の暗黒条件下で35日間冷蔵処理する。その後は普通育苗とする。</p>
<p>結果の概要</p>	<p>病害虫については、採花期にアザミウマが散見された。</p> <p>生育状況については、6月中旬から7月上旬にかけ高温で推移し、短日処理期と重なった影響で、「ポップスター」「紫音」「紅音」「ファイナルホワイト」「ラ・フォリア」「カルメンバイオレッド」「カルメンルージュ」でロゼット株の発生が見られた。採花期は、中生系で9月下旬から10月下旬、中晩生系で10月上旬から10月下旬、晩生系は10月後半となった。</p> <p>切り花品質については、6月、7月と高温で推移したため、昨年と比べ草丈、切り花重ともに低かった。開花数及び花蕾数は昨年と比べ多かった。上物率は中生系の「トレーシー」、中晩生系の「MEX6084」で80%を超えた。</p> <p>以上の結果、今回供試した品種の中では、中生系の「トレーシー」「MEX6084」が上物率から優れていると思われる。また生育期間が高温、長日条件となる本作型では種子冷蔵処理は品種によっては有効と思われる。</p> <p>来年度も引き続き本作型に適した品種を選定しながら、栽培調査を実施したい。</p>

表1 調査結果一覧

品種名	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	調整重 (g)	節数 (節)	茎長 (cm)	茎径 (cm)	着蕾側枝数 (本)	開花数 (個)	花蕾数 (個)	上物率 (%)	商品化率 (%)	調査日
トレーシー 本年	81.1	78.2	66.6	6.0	41.7	4.1	1.8	4.2	6.0	70	100	10/4
トレーシー 昨年	82.1	73.5	52.5	9.0	45.9	4.4	3.0	3.5	2.9	100	100	10/22～10/27
カルメンバイオレット	47.8	55.1	40.7	5.9	23.3	3.4	0.5	3.2	2.7	0	40	9/24
エスコートホワイト	69.4	55.6	52.0	7.2	38.5	3.8	1.9	4.3	7.0	0	100	10/5～10/13
ロジアンナー	67.7	56.7	46.0	5.9	34.2	3.4	1.3	4.1	2.4	0	100	10/5
アルペールスノー	66.3	84.0	71.7	5.7	34.5	4.1	2.8	4.0	5.1	0	100	10/8
メルシーエロー	62.4	55.2	46.6	6.9	38.5	3.1	1.2	4.0	2.6	20	100	10/8～10/15
06-056	64.3	63.8	54.0	5.3	31.5	3.2	1.2	4.0	3.8	0	100	10/8
紫音	69.4	64.4	52.9	6.9	28.8	4.3	1.7	4.3	5.9	0	100	10/1～10/5
ガスピック	54.1	53.2	37.1	6.5	28.5	3.5	1.0	3.4	2.6	0	100	10/20～10/27
ロジアンブルー	61.5	67.6	58.8	6.2	28.5	4.0	1.3	4.0	2.5	0	100	10/13～10/20
MEX6095	60.5	74.1	58.1	7.5	29.2	4.0	1.5	3.9	4.6	0	100	10/13～10/20
クレアピック	72.7	65.8	56.8	7.3	40.9	4.7	1.7	4.4	6.2	0	100	9/29
マッシュルームホワイト	68.4	62.2	49.3	6.4	32.9	3.9	1.9	4.1	6.1	0	100	9/29
カルメンルージュ	56.9	54.2	46.1	6.3	28.1	3.1	1.0	4.0	3.4	0	100	10/5～10/8
MEX6084	80.3	76.4	68.2	8.3	43.0	3.6	2.4	4.4	4.3	80	100	10/8
黄翔	74.7	74.3	59.9	8.1	40.4	4.4	1.5	4.0	3.9	20	100	10/8
ロジアンピンク	65.8	74.2	62.0	5.5	29.8	3.9	1.8	4.1	3.2	0	100	10/5～10/8
待れット	68.1	77.5	96.6	8.6	37.9	3.6	2.3	3.5	5.7	10	100	10/22～10/29
ポップスター	78.0	82.8	66.6	8.0	38.1	4.3	1.2	3.8	4.6	50	100	10/22～10/27
ラ・フォリア	61.7	44.3	34.3	7.1	29.7	2.8	1.3	3.7	3.0	0	100	10/13～10/27
紅音	59.8	59.4	46.4	7.4	29.0	3.7	0.7	4.0	3.4	0	100	10/13～10/20
ファイナルホワイト	61	78.5	62.5	9.5	40.0	4.3	1.5	3.3	3.8	0	30	10/29
シリウスラッシュ360	61.0	74.0	61.4	8.5	40.0	4.2	2.5	3.9	6.3	0	100	10/20～10/27

※ 上物率：切り花長 80 cm、調整重 45 g 以上で、開花数+花蕾数 6 個以上のもの

※ 商品化率：切り花長 50 cm 以上のもの

図1 切り花長の比較

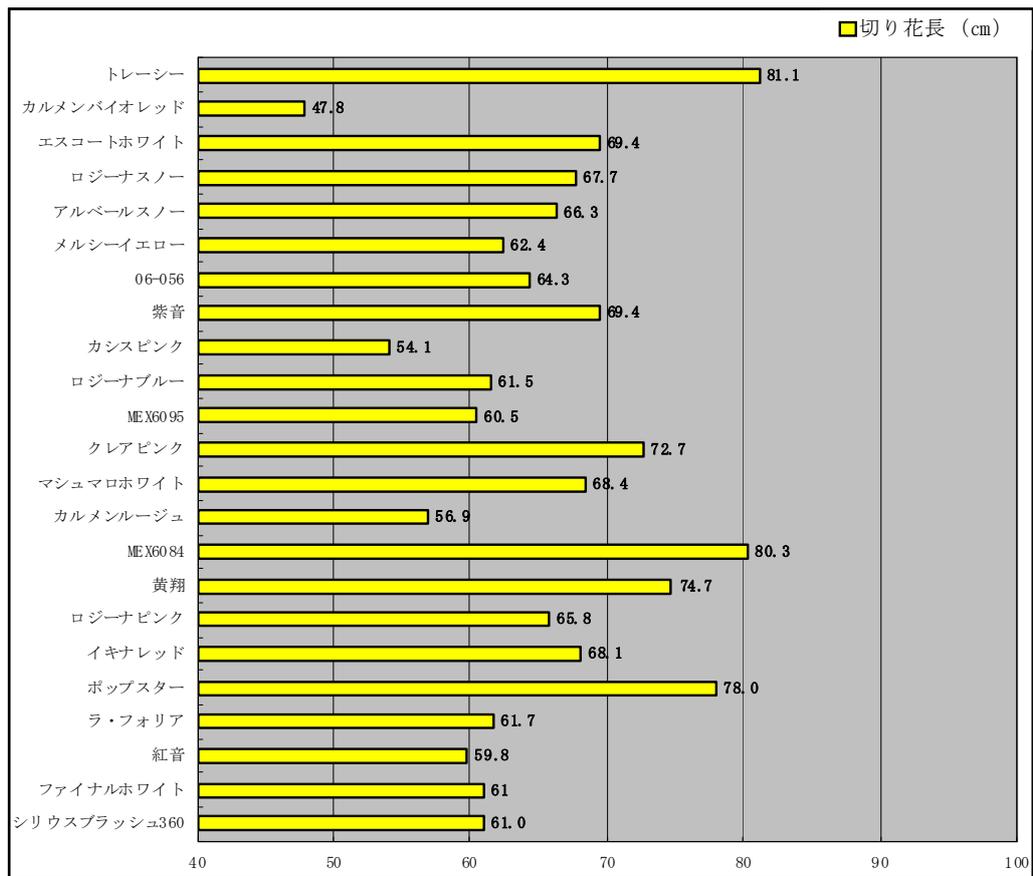
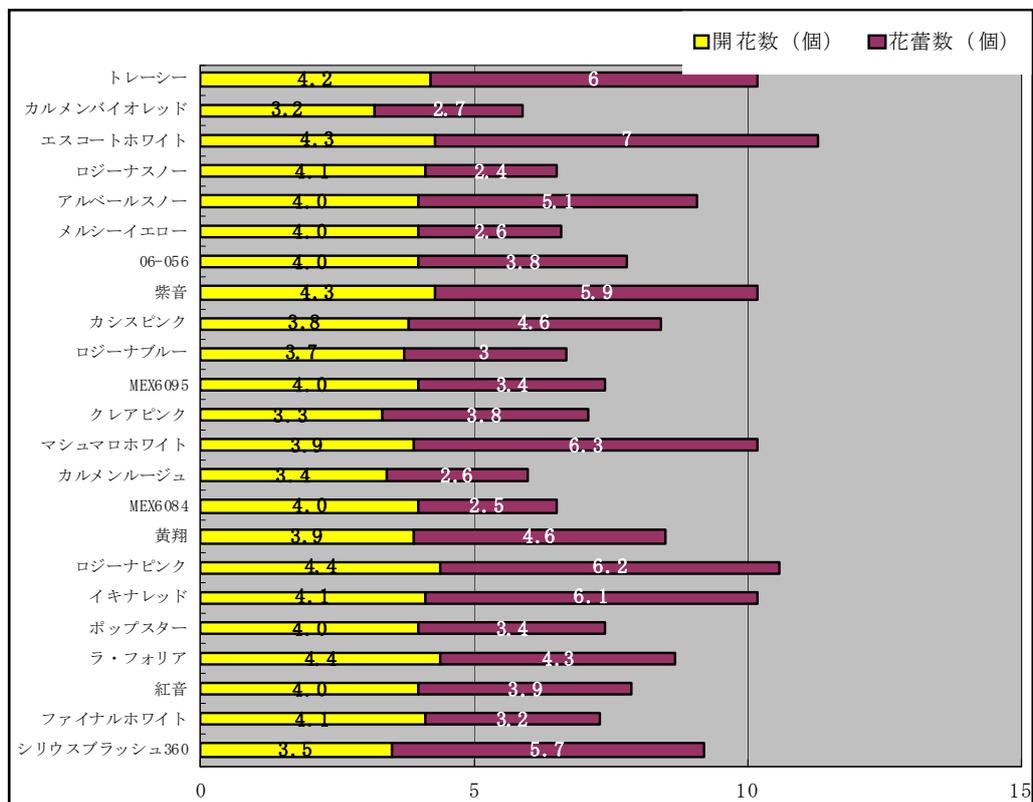


図2 開花数+花蕾数の比較



2-5 土壌分析

1 目的

農業者及び農業団体から依頼された土壌を分析し、土壌改良の資料とする。

また、当市において、産地形成されている地域のモデルとなる地点を定点観測地点に設定し、土壌分析を行ない、土壌改良の資料とする。

2 分析実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
依頼数(人)	34	31	24	26	25	15	15	36	19	13	56	66	360
サンプル数(件)	55	38	54	55	71	24	23	70	34	47	130	141	742
分析数	327	216	395	446	618	195	130	623	278	423	1142	849	5,642

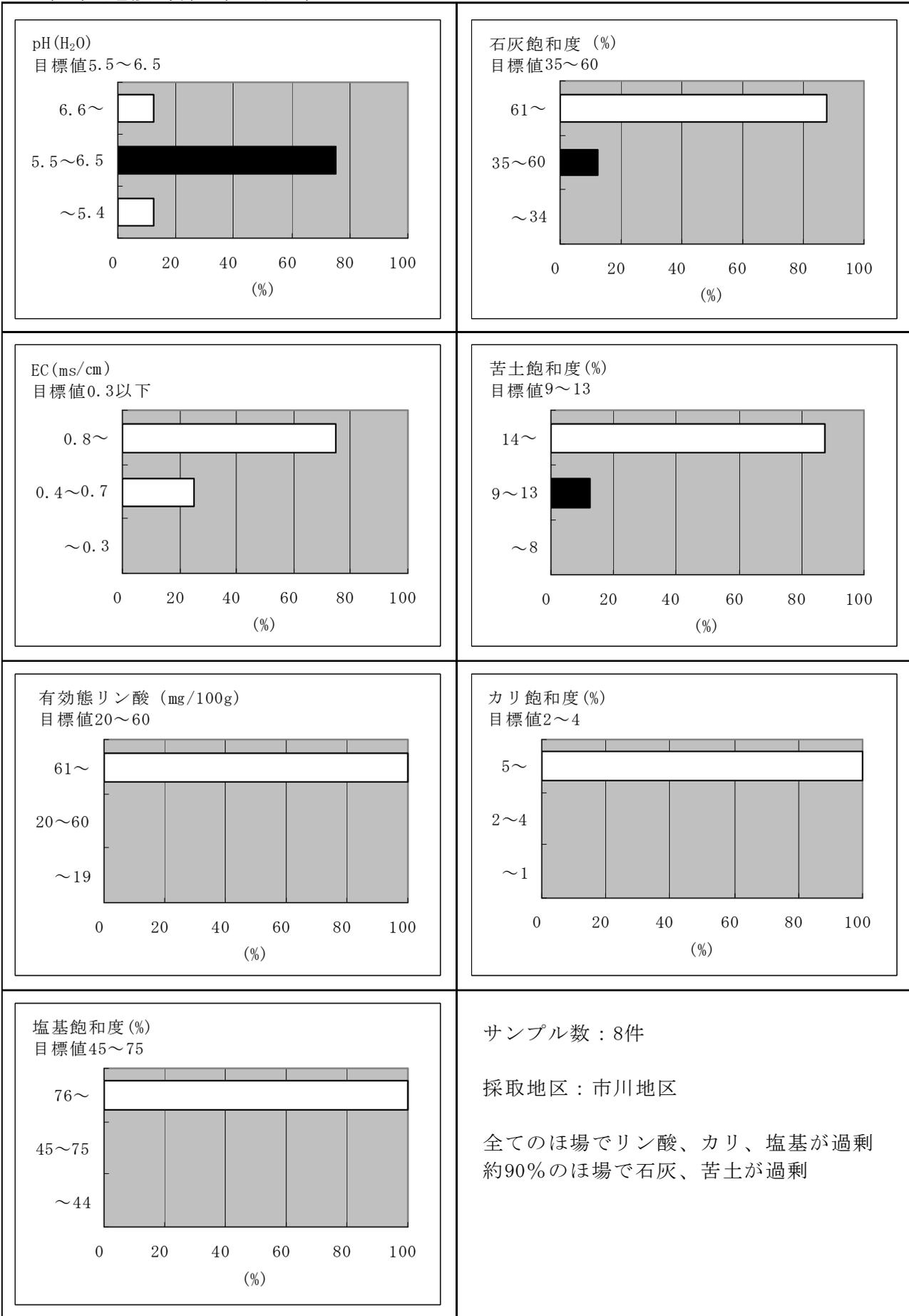
3 定点観測地点の概要

地区名	地点数		対象作物	
市川地区	8		いちご	施設
下長地区	3		花き	施設
上長地区	2	1	ながいも	露地
		1	食用菊	露地
豊崎地区	3	1	にんにく	露地
		1	ピーマン	露地
		1	ながいも	露地
館地区	6		ミニトマト	施設
是川地区	7	2	ねぎ	露地
		1	ながいも	露地
		4	きゅうり	施設
南郷地区	6	1	トマト	施設
		1	きゅうり	施設
		2	そば	露地
		2	農園	露地

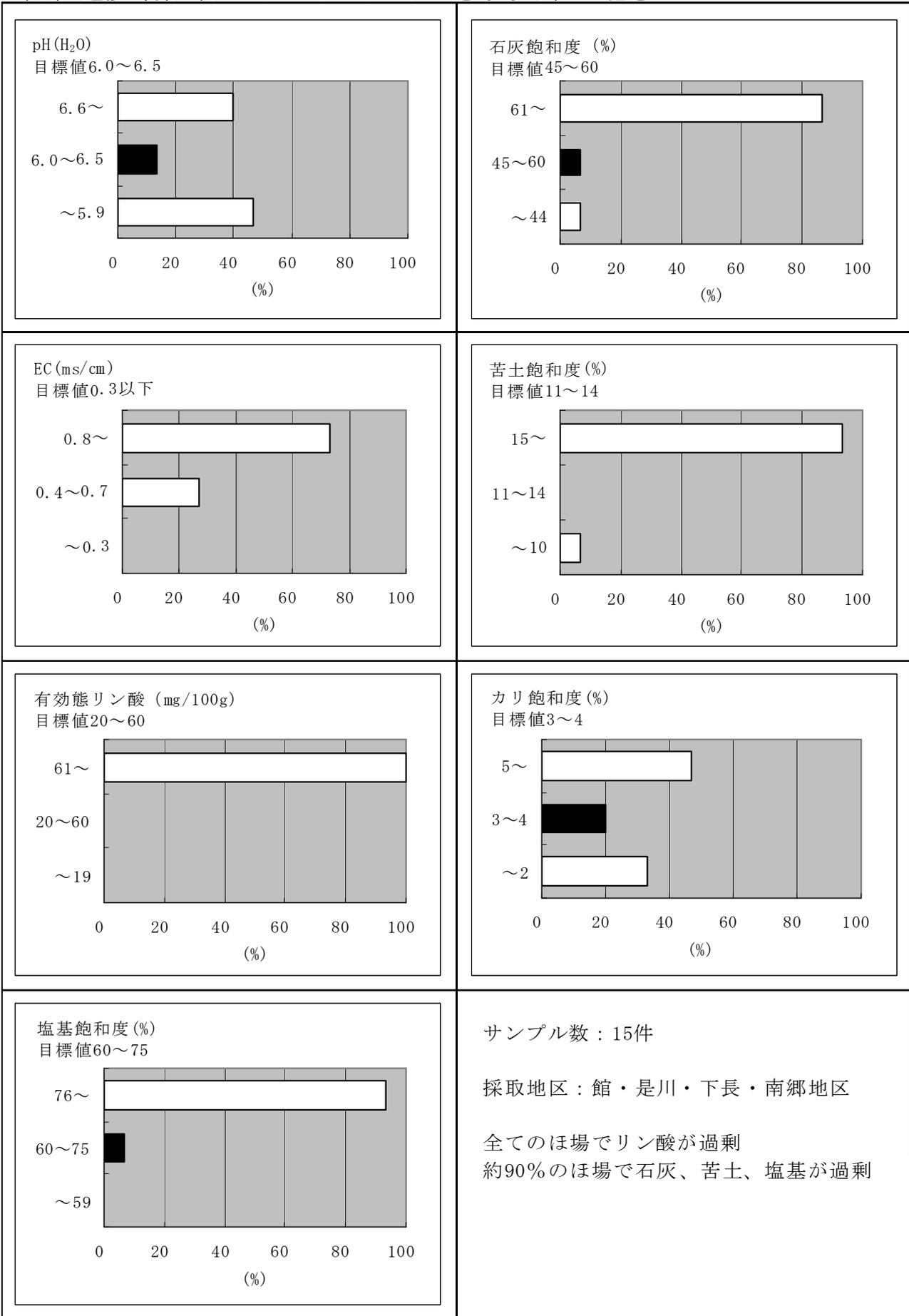
4 分析項目

- (1) pH (H₂O・KC1) (2) EC (電気伝導度) (3) 有効態リン酸
 (4) リン酸吸収係数 (5) CEC (塩基置換容量) (6) 置換性カルシウム
 (7) 置換性マグネシウム (8) 置換性カリウム (9) 水分

5 分析結果 (定点観測)
 (1) 施設野菜 (いちご)



(2) 施設野菜 (トマト・ミニトマト・きゅうり) ・花き

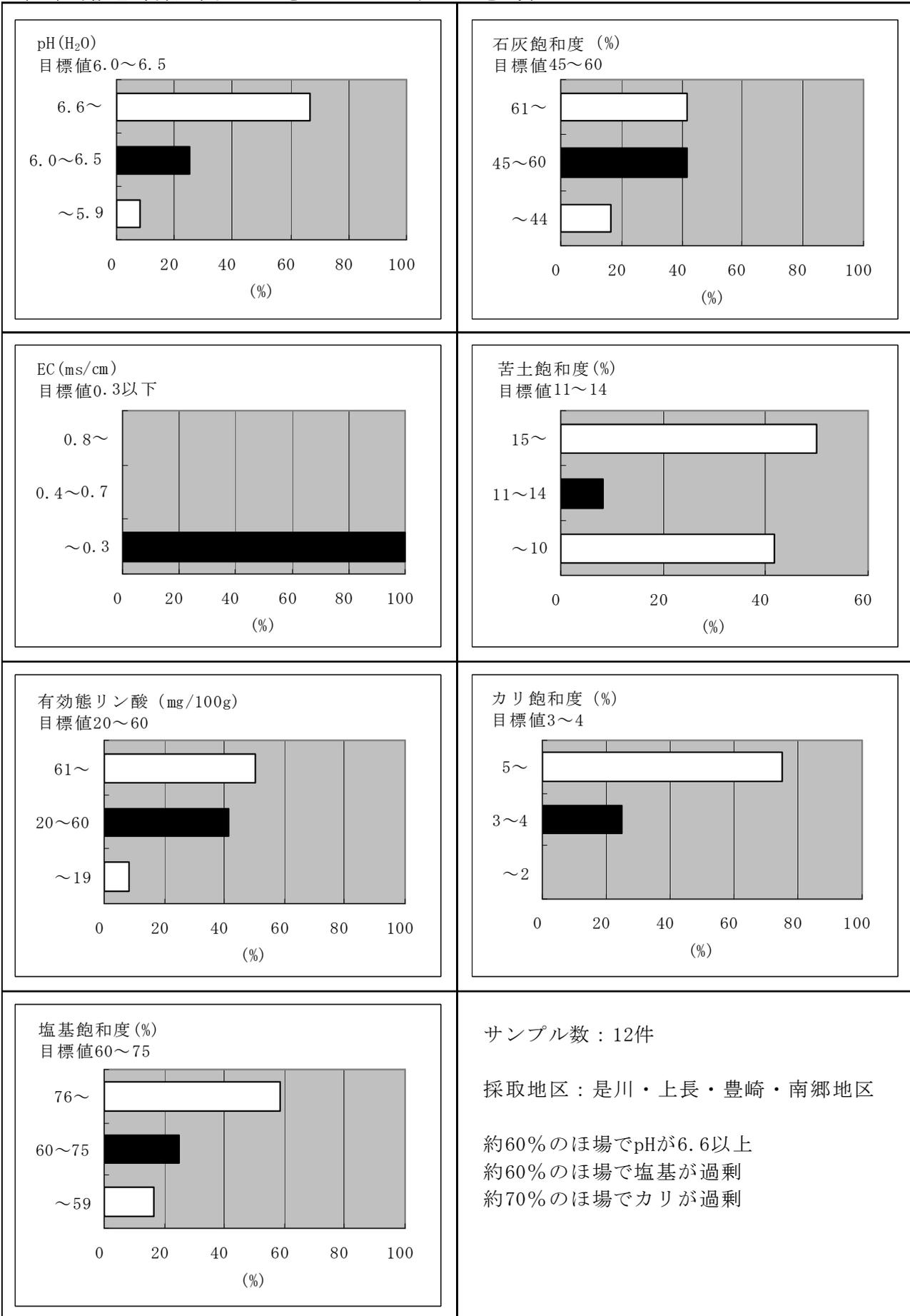


サンプル数：15件

採取地区：館・是川・下長・南郷地区

全てのほ場でリン酸が過剰
約90%のほ場で石灰、苦土、塩基が過剰

(3) 露地野菜 (ながいも・にんにく・ねぎ等)



2-6 植物組織培養

1 優良種苗の増殖実績

- (1) にんにく・・・(3品種 培養中)
- (2) いちご・・・(4品種、培養中)
- (3) デルフィニウム・・・(2品種、随時順化中)

2 優良種苗の配布実績

デルフィニウム (品種名 フォルカフリーデン、ボールクラウド)
・・・市内花き生産者、約 1,200 株 (72 穴セル苗) 配布済

2-7 市民農園設置事業

目 的	自然環境の中で市民が家族ぐるみによる農業体験を通じて、農業知の向上並びに農業に対する理解を深めてもらうために実施した。
期 間	平成21年4月26日から平成21年11月20日まで
面積及び区画	1区画当たり33㎡、274区画
対 象	八戸市民 (1世帯1区画)
使 用 料	2,500円 (1区画)
主 要 施 設	休憩所 (1ヶ所) トイレ(2基) 電話 (1台) 農業用水道 (6ヶ月 駐車場 (1ヶ所 1,000㎡)

市民農園での主な作付け作物

【春】

ジャガイモ、マメ類、ダイコン、ホウレンソウ、ネギ

【秋】

ダイコン、ネギ、ハクサイ、ホウレンソウ、ニンジン

2-8 農業体験学習

目的	小学生等の食育の一環として、農作物を育て収穫する喜びを体験し、農業及び食物に対する理解を深めてもらうために農業体験の場を提供した。			
実績	名称	人数	内容	日
	イメルダ幼稚園	25	植え付け体験	5月27日
イメルダ幼稚園	27	収穫体験及び焼き芋	10月30日	
岩館ファミリー農園	38	農園開き・栽培相談	4月13日	
岩館ファミリー農園	38	出品審査・収穫祭	8月24日	
鷗盟大学	21	じゃがいも植え付け	5月7日	
鷗盟大学	21	じゃがいも追肥土寄せ	6月19日	
鷗盟大学	20	大根播種	8月28日	
鷗盟大学	12	大根収穫	11月17日	
こだまの園	2	職場体験	7月15日～9月30日(20日間)	
三條小学校5年生	41	施設見学	5月1日	
三條中学校2年生	5	職場体験	8月31日～9月3日	
下長小学校2年生	66	植え付け体験	5月26日	
下長小学校2年生	66	収穫体験及び焼き芋	10月23日	
下長町子供会	11	植え付け体験	5月2日	
下長町子供会	25	土寄せ、収穫、播種	6月21日	
下長町子供会	25	収穫、播種	8月2日	
下長町子供会	10	収穫体験	10月17日	
白銀台保育園	73	植え付け体験	5月29日	
白銀台保育園	65	草取り・大根播種	8月25日	
白銀台保育園	77	収穫体験及び焼き芋	10月23日	
種差小学校	64	農業体験出前講座	6月9日	
根城小学校ひばり学級	9	植え付け体験	6月2日	
八戸短期大学附属幼稚園	141	植え付け体験	5月28日	
八戸短期大学附属幼稚園	266	収穫体験及び焼き芋	10月29日	
八戸幼稚園	30	植え付け体験	5月26日	
八戸幼稚園	32	収穫体験及び焼き芋	10月22日	
合計 1,210				

2-9 農業講座開催実績

平成21年度八戸市農業講座の概要(実績)

月日	時間	演題	講師	受講者数
1月19日 (火)	13時00分 ～15時00分	今年の八戸の天候について	(株)吉田産業 海洋気象事業部 所長 気象予報士 田嶋研逸	47名
	15時00分 ～17時00分	花き部における 試験概要と生産者育種	(地独)青森県産業技術センター 農林総合研究所 花き部 研究管理員 今満	28名
1月20日 (水)	13時00分 ～15時00分	ネギの品種紹介と栽培について	(株)サカタのタネ 掛川総合研究センター 育種第一課 小野寺忠宣	73名
	15時00分 ～17時00分	「GAP」ってなんだ?～GAPで実現! 安全で環境に優しい農業～	青森県三八地域県民局 地域農林水産部普及指導室 技師 板垣美香子	38名
1月21日 (木)	13時00分 ～15時00分	ミニトマト・トマト品種と動向について	タキイ種苗(株) 仙台営業所 主任研究員 山崎了	35名
2月2日 (火)	13時00分 ～15時00分	土壌診断と家畜ふん堆肥の有効活用	東京農業大学 生産環境化学研究室 教授 後藤逸男	93名
	15時00分 ～17時00分	青森県立名久井農業高等学校 研究発表	青森県立名久井農業高等学校 生物生産科三学年 他27名 引率教師6名	41名
合計				355名

2-10 施設利用実績

農業講座、家庭菜園講習会等の各種研修、並びに農業関係機関による農業振興に係る営農指導会議等の開催による研修室等における施設利用実績である。

※研修室等利用実績

施設名		月	計
多目的研修室	135m ² (100名)	回数	29
小会議室		人数	1,476
調理実習室	56m ² (20名)	回数	1
研修室	35m ² (15名)	人数	60
計		回数	30
		人数	1,536

小会議室については、多目的研修室と連結しているため含んだ数値。

◆来場者数 4,531 名

※ 施設見学及び指導相談並びに土壌分析
依頼・指導による来場者の集計である。

※ 指導相談件数 317 件

業務計画

平成 22 年度

場 長	大久保 聡一郎
主幹 (研修業務グループリーダー)	石丸 隆典
技 査	久保 昌広
主 事	佐藤 靖代
技 師	田茂 竜児
技 師	福田 悠紀夫
技 師	菊谷 武夫

第3 業務計画

3-1 調査計画（施設野菜）

施設野菜の部 No.1																						
調査名	いちごの促成栽培調査（平成18年度～平成22年度）																					
目的	いちご促成栽培について調査し、栽培上の資料とする。																					
供用施設	パイプハウス4号（132㎡：約40坪）																					
調査区の構成	1 調査区 4区（1品種 1区制 10株） 2 供試品種 2品種 (1) さちのか (2) とちおとめ 3 栽植距離 (1) 15cm (2) 18cm																					
耕種概要	1 栽培方法 養液土耕栽培 2 ポット受期 平成21年7月1日～ 3 夜冷処理期間 平成21年8月3日～9月8日 4 夜冷処理日数 37日 5 夜冷処理方法 短日処理 8時間日長（16時30分～8時30分遮光） 低温処理 13～15℃（16時30分～8時30分） 6 育苗日数 71日 7 定植年月日 平成21年9月10日 8 栽植距離 畦幅110cm×株間15・18cm×2条・千鳥植え 9 定植株数 1,060株/棟（株間15cm）、880株/棟（株間18cm） 10 施肥量（パイプハウス1棟：132㎡） <table border="1" data-bbox="691 1182 1409 1496"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>施肥量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>260kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td>30kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>LPコートS100</td> <td>3.8kg</td> <td>N：40</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸加里</td> <td>34kg</td> <td>K：20</td> </tr> <tr> <td>畑のカルシウム</td> <td>18kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイクド40</td> <td>9.4kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 11 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.5～1.0（生育ステージによる） 養液土耕肥料（大塚化学株）使用による 12 収穫期間 平成21年11月30日～平成22年6月下旬	資材名	施肥量	摘要	堆肥（バーク堆肥）	260kg		ハイフミンデルマ	30kg	微生物資材	LPコートS100	3.8kg	N：40	ケイ酸加里	34kg	K：20	畑のカルシウム	18kg		ハイクド40	9.4kg	
資材名	施肥量	摘要																				
堆肥（バーク堆肥）	260kg																					
ハイフミンデルマ	30kg	微生物資材																				
LPコートS100	3.8kg	N：40																				
ケイ酸加里	34kg	K：20																				
畑のカルシウム	18kg																					
ハイクド40	9.4kg																					
調査項目	1 生育調査 2 収量調査																					

施設野菜の部 No.2																				
調 査 名	いちごの普通促成栽培調査（平成 18 年度～平成 22 年度）																			
目 的	いちご普通促成栽培について調査し、栽培上の資料とする。																			
供 用 施 設	パイプハウス 6 号 (99 m ² : 約 30 坪)																			
調査区の構成	1 調査区 4 区 (1 品種 1 区制 10 株) 2 供試品種 2 品種 (1) さちのか (2) とちおとめ 3 栽植距離 (1) 15 cm (2) 18 cm																			
耕 種 概 要	1 栽培方法 養液土耕栽培 2 ポット受期 平成 21 年 7 月 1 日～ 3 短日処理期間 平成 21 年 8 月 3 日～9 月 15 日 4 短日処理日数 44 日 5 短日処理方法 8 時間日長 (16 時 30 分～8 時 30 分遮光) 6 育苗日数 78 日 7 定植年月日 平成 21 年 9 月 17 日 8 栽植距離 畦幅 110 cm×株間 15・18 cm×2 条・千鳥植え 9 定植株数 848 株/棟 (株間 15 cm)、704 株/棟 (株間 18 cm) 10 施肥量 (パイプハウス 1 棟 : 99 m ²) <table border="1" data-bbox="691 1122 1409 1391"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>施肥量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥 (バーク堆肥)</td> <td>200 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td>30 kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>LP コート S100</td> <td>3.8 kg</td> <td>N : 40</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸加里</td> <td>26 kg</td> <td>K : 20</td> </tr> <tr> <td>畑のカルシウム</td> <td>14 kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 11 施肥設計 土壌溶液 EC 濃度 0.5～1.0 (生育ステージによる) 養液土耕肥料 (大塚化学株) 使用による 12 収穫期間 平成 22 年 1 月 22 日～平成 22 年 6 月下旬		資材名	施肥量	摘 要	堆肥 (バーク堆肥)	200 kg		ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材	LP コート S100	3.8 kg	N : 40	ケイ酸加里	26 kg	K : 20	畑のカルシウム	14 kg	
資材名	施肥量	摘 要																		
堆肥 (バーク堆肥)	200 kg																			
ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材																		
LP コート S100	3.8 kg	N : 40																		
ケイ酸加里	26 kg	K : 20																		
畑のカルシウム	14 kg																			
調 査 項 目	1 生育調査 2 収量調査																			

施設野菜の部 No.3																							
調 査 名	いちごの半促成栽培における品種比較調査（平成 17 年度～平成 22 年度）																						
目 的	近年、当地域で栽培されている「麗紅」の収量・品質が低下し、それに替わる半促成栽培に適した品種が望まれていることから、品種比較し、栽培上の資料とする。																						
供 用 施 設	パイプハウス 14 号 (99 m ² : 約 30 坪)																						
調査区の構成	1 調査区 5 区 (1 品種 1 区制 10 株) 2 供試品種 5 品種 (1) さちのか (2) とちおとめ (3) 栃の峰 (4) 紅ほっぺ (5) 麗紅																						
耕 種 概 要	1 栽培方法 養液土耕栽培 2 ポット受期 平成 21 年 7 月 1 日～ 3 育苗日数 57 日 4 定植年月日 平成 21 年 8 月 27 日 5 栽植距離 畦幅 110 cm×株間 18 cm×2 条・千鳥植え 6 定植株数 704 株/棟 (株間 18 cm) 7 施肥量 (パイプハウス 1 棟 : 99 m ²) <table border="1" data-bbox="691 983 1409 1294"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>施肥量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥 (バーク堆肥)</td> <td>200 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td>30 kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>LP コート S100</td> <td>2 kg</td> <td>N : 40</td> </tr> <tr> <td>有機アグレット 666 特号</td> <td>5 kg</td> <td>N : P : K=6 : 6 : 6</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸加里</td> <td>30 kg</td> <td>K : 20</td> </tr> <tr> <td>畑のカルシウム</td> <td>14 kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		資材名	施肥量	摘 要	堆肥 (バーク堆肥)	200 kg		ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材	LP コート S100	2 kg	N : 40	有機アグレット 666 特号	5 kg	N : P : K=6 : 6 : 6	ケイ酸加里	30 kg	K : 20	畑のカルシウム	14 kg	
資材名	施肥量	摘 要																					
堆肥 (バーク堆肥)	200 kg																						
ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材																					
LP コート S100	2 kg	N : 40																					
有機アグレット 666 特号	5 kg	N : P : K=6 : 6 : 6																					
ケイ酸加里	30 kg	K : 20																					
畑のカルシウム	14 kg																						
	8 施肥設計	土壌溶液 EC 濃度 0.5～1.0 (生育ステージによる) 養液土耕肥料 (大塚化学株) 使用による																					
	9 収穫期間	平成 22 年 3 月 3 日～平成 22 年 6 月下旬																					
調 査 項 目	1 生育調査 2 収量調査																						

施設野菜の部 No.4																						
調査名	夏秋どりいちごの品種比較調査（新規：平成22年度～平成24年度）																					
目的	夏秋いちご生産の主体である四季成り性いちごについて品種比較し、栽培上の資料とする。																					
供用施設	パイプハウス15号（99㎡：約30坪）																					
調査区の構成	1 調査区 3区（1品種 1区制 10株） 2 供試品種 3品種 (1) サマールビー (2) すずあかね (3) なつあかり (4) ペチカサンタ																					
耕種概要	1 栽培方法 養液土耕栽培 2 定植年月日 平成22年4月30日 3 栽植距離 畦幅110cm×株間25cm×2条・千鳥植え 4 定植株数 512株/棟 5 施肥量 (パイプハウス1棟：99㎡) <table border="1" data-bbox="692 808 1410 1117"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>施肥量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バーク堆肥</td> <td>200 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイフミンデルマ</td> <td>30 kg</td> <td>微生物資材</td> </tr> <tr> <td>スーパーロング424</td> <td>2 kg</td> <td>14-12-14(%)</td> </tr> <tr> <td>有機アグレット666特号</td> <td>3 kg</td> <td>6:6:6(%)</td> </tr> <tr> <td>硫酸加里</td> <td>6.8 kg</td> <td>K:50%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">成分計 10-9-44(kg/10a)ペチカサンタのみ 8-8-42(kg/10a)</td> </tr> </tbody> </table> 6 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.5～1.0（生育ステージによる） 養液土耕肥料（大塚化学株）使用による 7 収穫期間 平成22年7月中旬～平成22年11月上旬	資材名	施肥量	摘要	バーク堆肥	200 kg		ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材	スーパーロング424	2 kg	14-12-14(%)	有機アグレット666特号	3 kg	6:6:6(%)	硫酸加里	6.8 kg	K:50%	成分計 10-9-44(kg/10a)ペチカサンタのみ 8-8-42(kg/10a)		
資材名	施肥量	摘要																				
バーク堆肥	200 kg																					
ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材																				
スーパーロング424	2 kg	14-12-14(%)																				
有機アグレット666特号	3 kg	6:6:6(%)																				
硫酸加里	6.8 kg	K:50%																				
成分計 10-9-44(kg/10a)ペチカサンタのみ 8-8-42(kg/10a)																						
調査項目	1 生育調査 2 収量調査 3 品質調査																					

施設野菜の部 No.5					
調査名	夏秋どりいちごの栽培管理別比較調査（新規：平成 22 年度～平成 24 年度）				
目的	夏秋いちご生産の主体である四季成り性品種の摘葉、摘花・摘果の違いによる収量や品質等への影響を把握し、栽培上の資料とする。				
供用施設	パイプハウス 15 号 (99 m ² : 約 30 坪)				
調査区の構成	1 調査区	3 区 (1 品種 1 区制 10 株)			
	2 供試品種	サマールビー			
	3 栽培管理方法				
		調査区の構成	摘葉	摘花(果)	芽
		サマールビー (1 芽)	1~2枚/週	頂花房5~6果 以降8~9果	始め1芽 2~3芽
	サマールビー (2 芽)	1~2枚/週	頂花房5~6果 以降8~9果	2~3芽	
	サマールビー (放任)	8月中旬に一度に5~6枚 以降古葉のみ	頂花房5~6果 以降放任	放任	
耕種概要	1 栽培方法	養液土耕栽培			
	2 定植年月日	平成 22 年 4 月 30 日			
	3 栽植距離	畦幅 110 cm×株間 25 cm×2 条・千鳥植え			
	4 定植株数	512 株/棟			
	5 施肥量	(パイプハウス 1 棟 : 99 m ²)			
		資材名	施肥量	摘要	
		バーク堆肥	200 kg		
		ハイフミンデルマ	30 kg	微生物資材	
		スーパーロング 424	2 kg	14-12-14 (%)	
		有機アグレット 666 特号	3 kg	6 : 6 : 6 (%)	
	硫酸加里	6.8 kg	K : 50%		
	成分計 10-9-44 (kg/10a)				
	6 施肥設計	土壌溶液 EC 濃度 0.5~1.0 (生育ステージによる) 養液土耕肥料 (大塚化学株) 使用による			
	7 施肥設計	土壌診断結果による			
	8 収穫期間	平成 22 年 7 月中旬~平成 22 年 11 月上旬			
調査項目	1 生育調査				
	2 収量調査				

施設野菜の部 No.6	
調 査 名	きゅうりの半促成栽培における品種比較調査（新規:平成 22 年度～24 年度）
目 的	当地域におけるきゅうり半促成栽培について比較調査し、栽培上の資料とする。
供 用 施 設	パイプハウス 7 号 (99 m ² : 約 30 坪)
調査区の構成	1 調査区 4 区 (1 品種 1 区制 5 株) 2 供試品種 4 品種 (1) シャープ 1 (埼) × ゆうゆう一輝 (埼) (2) グリーンラックス 2 (埼) × ゆうゆう一輝 (埼) (3) エクセレント節成 2 号 (埼) × ゆうゆう一輝黒 (埼) (4) プロジェクト X (と) × ときわパワー Z2 (と) ※ (埼): (株) 埼玉原種育成会 (と): (株) ときわ研究場
耕 種 概 要	1 栽培方法 養液土耕栽培 2 は種月日 (穂木) 平成 22 年 2 月 16 日 は種月日 (台木) 平成 22 年 2 月 18 日 3 接木・移植月日 平成 22 年 2 月 25 日 4 育苗日数 35 日 5 定植年月日 平成 22 年 3 月 23 日 6 栽植距離 畦幅 150 cm × 株間 45 cm × 2 条・千鳥植え 7 定植株数 144 株/棟 8 施肥設計 土壌溶液 EC 濃度 1.0～2.2 (生育ステージによる) 養液土耕肥料 (大塚化学(株) 使用による 9 保温・暖房方法 内カーテン・温風暖房機 10 収穫期間 平成 22 年 5 月 5 日～平成 22 年 7 月下旬
調 査 項 目	生育調査 収量調査

施設野菜の部 No.7	
調 査 名	きゅうりの抑制栽培における品種比較調査（新規:平成 22 年度～24 年度）
目 的	当地域におけるきゅうり抑制栽培について品種比較し、栽培上の資料とする。
供 用 施 設	パイプハウス 6 号 (99 m ² : 約 30 坪)
調査区の構成	1 調査区 4 区 (1 品種 1 区制 5 株) 2 供試品種 4 品種
耕 種 概 要	1 栽培方法 養液土耕栽培 2 は種月日 (穂木) 平成 22 年 7 月上旬 は種月日 (台木) 平成 22 年 7 月上旬 3 接木・移植月日 平成 22 年 7 月中旬 4 育苗日数 25 日前後 5 定植年月日 平成 22 年 8 月上旬 6 栽植距離 畦幅 150 cm × 株間 45 cm × 2 条・千鳥植え 7 定植株数 144 株/棟 8 施肥設計 土壌溶液 EC 濃度 1.0～2.2 (生育ステージによる) 養液土耕肥料 (大塚化学(株) 使用による 9 保温・暖房方法 内カーテン・温風暖房機 10 収穫期間 平成 22 年 8 月下旬～平成 22 年 11 月上旬
調 査 項 目	1 生育調査 2 収量調査

施設野菜の部 No.8	
調査名	冬期間の施設利用によるこまつなの品種比較調査（新規：平成22年度～24年度）
目的	冬期間の施設利用によるこまつな栽培について品種比較し、栽培上の資料とする。
供用施設	パイプハウス6号（99㎡：約30坪）
調査区の構成	1 調査区 6区（1区：1品種1m（20株）×2箇所） 2 供試品種 6品種
耕種概要	1 栽培方法 無加温・土耕栽培（不織布べたがけ→不織布トンネル） 2 は種月日 平成22年11月中旬 3 栽植距離 畦幅120cm×株間5cm×条間20cm 4 施肥量 無施肥（きゅうり栽培後作） 5 収穫期間 平成23年2月上旬～3月上旬
調査項目	1 生育調査 2 収量調査

施設野菜の部 No.9										
調査名	トマトの促成栽培における品種比較調査（新規：平成22年度～24年度）									
目的	当地域におけるトマト促成栽培について、有望な品種が望まれていることから、品種比較し、栽培上の資料とする。									
供用施設	ガラス温室8号（165㎡：約50坪）									
調査区の構成	1 調査区 8区（1品種1区制10株） 2 供試品種 8品種 (1) 桃太郎はるか（タキイ種苗株） (5) 桃太郎サニー（タキイ種苗株） (2) 朝日和もえか（朝日工業株） (6) CF桃太郎はるか（タキイ種苗株） (3) りんか409（株サカタのタネ） (7) CF桃太郎ファイト（タキイ種苗株） (4) 麗夏（株サカタのタネ） (8) みそら64（みかど協和株）									
耕種概要	1 は種月日 平成21年12月21日 2 移植月日 平成22年1月18日（15cmポット） 3 定植月日 平成22年2月16日 4 育苗日数 57日 5 栽植距離 ベッド幅120cm×株間40cm×2条・千鳥植え 6 定植株数 320株/棟 7 施肥量（温室1棟：165㎡） <table border="1" data-bbox="391 1765 1002 1883"> <thead> <tr> <th>資材名（成分比%）</th> <th></th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>500kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>微生物資材</td> <td>62L</td> <td>ハイプロN</td> </tr> </tbody> </table> 8 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる） （養液土耕肥料の使用による） 9 収穫期間 平成22年4月26日～7月下旬	資材名（成分比%）		摘要	堆肥（バーク堆肥）	500kg		微生物資材	62L	ハイプロN
資材名（成分比%）		摘要								
堆肥（バーク堆肥）	500kg									
微生物資材	62L	ハイプロN								
調査項目	1 生育調査 2 収量調査 3 糖度調査									

施設野菜の部 No.10										
調 査 名	トマトの夏秋栽培における品種比較調査（新規：平成 22 年度～24 年度）									
目 的	当地域におけるトマト夏秋栽培について、有望な品種が望まれていることから、品種比較し、栽培上の資料とする。									
供 用 施 設	ガラス温室 5 号（165 m ² ：約 50 坪）									
調 査 区 の 構 成	1 調 査 区 7 区（1 品種 1 区制 10 株） 2 供試品種 7 品種 (1) 桃太郎サニー（タキイ種苗株） (5) 桃太郎ギフト（タキイ種苗株） (2) りんか 409（㈱サカタのタネ） (6) 桃太郎グランデ（タキイ種苗株） (3) 朝日和もえか（朝日工業株） (7) みそら 64（みかど協和株） (4) 麗夏（㈱サカタのタネ）									
耕 種 概 要	1 は種月日 平成 22 年 2 月 22 日 2 移植月日 平成 22 年 3 月 12 日（12 cmポット） 3 定植月日 平成 22 年 4 月 6 日 4 栽植距離 ベッド幅 120 cm×株間 40 cm×2 条・千鳥植え 5 定植株数 320 株/棟 6 施肥量（温室 1 棟：165 m ² ） <table border="1" data-bbox="391 884 1002 1003"> <thead> <tr> <th>資材名(成分比%)</th> <th></th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>500kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>微生物資材</td> <td>62 L</td> <td>ハイプロ N</td> </tr> </tbody> </table> 7 施肥設計 土壌溶液 EC 濃度 0.7～1.7（生育ステージによる） （養液土耕肥料の使用による） 8 収穫期間 平成 22 年 6 月上旬～10 月下旬	資材名(成分比%)		摘 要	堆肥（バーク堆肥）	500kg		微生物資材	62 L	ハイプロ N
資材名(成分比%)		摘 要								
堆肥（バーク堆肥）	500kg									
微生物資材	62 L	ハイプロ N								
調 査 項 目	1 生育調査 2 収量調査 3 糖度調査									

施設野菜の部 No.11	
調 査 名	トマトの抑制栽培における品種比較調査（平成 21 年度～24 年度）
目 的	当地域におけるトマト抑制栽培について、有望な品種が望まれていることから、品種比較し、栽培上の資料とする。
供 用 施 設	ガラス温室 8 号（165 m ² ：約 50 坪）
調 査 区 の 構 成	1 調 査 区 6 区（1 品種 1 区制 10 株） 2 供試品種 6 品種
耕 種 概 要	1 は種月日 平成 22 年 6 月上旬 2 定植月日 平成 22 年 7 月上旬 3 栽植距離 ベッド幅 120 cm×株間 40 cm×2 条・千鳥植え 4 定植株数 320 株/棟 5 施肥設計 土壌溶液 EC 濃度 0.7～1.7（生育ステージによる） （養液土耕肥料の使用による） 6 収穫期間 平成 22 年 9 月上旬～11 月下旬
調 査 項 目	1 生育調査 2 収量調査 3 糖度調査

施設野菜の部 No.12										
調査名	ミニトマトの促成栽培における品種比較調査（新規：平成22年度～24年度）									
目的	当地域におけるミニトマト促成栽培について品種比較し、栽培上の資料とする。									
供用施設	ガラス温室6号（165㎡：約50坪）									
調査区の構成	<p>1 調査区 6区（1品種1区制5株）</p> <p>2 供試品種 6品種</p> <p>(1) キャロル10（㈱サカタのタネ） (4) サンチェリーピュア（トキタ種苗㈱）</p> <p>(2) SC7-040（㈱サカタのタネ） (5) ラブリー藍（みかど協和㈱）</p> <p>(3) キャロルクイーン（㈱サカタのタネ）</p>									
耕種概要	<p>1 は種月日 平成21年12月21日</p> <p>2 移植月日 平成22年1月15日（15cmポット）</p> <p>3 定植月日 平成22年2月10日</p> <p>4 育苗日数 51日</p> <p>5 栽植距離 ベッド幅120cm×株間40cm×2条・千鳥植え</p> <p>6 定植株数 320株/棟</p> <p>7 施肥量（温室1棟：165㎡）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資材名(成分比%)</th> <th></th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>500kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>微生物資材</td> <td>62L</td> <td>ハイプロN</td> </tr> </tbody> </table> <p>8 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる） （養液土耕肥料の使用による）</p> <p>9 収穫期間 平成22年4月14日～7月下旬</p>	資材名(成分比%)		摘要	堆肥（バーク堆肥）	500kg		微生物資材	62L	ハイプロN
資材名(成分比%)		摘要								
堆肥（バーク堆肥）	500kg									
微生物資材	62L	ハイプロN								
調査項目	1 生育調査 2 収量調査 3 糖度調査									

施設野菜の部 No.13										
調査名	ミニトマトの夏秋栽培における品種比較調査（平成19年度～22年度）									
目的	当地域におけるミニトマト夏秋栽培について品種比較し、栽培上の資料とする。									
供用施設	ガラス温室5号（165㎡：約50坪）									
調査区の構成	<p>1 調査区 7区（1品種1区制5株）</p> <p>2 供試品種 7品種</p> <p>(1) キャロル10（㈱サカタのタネ） (4) CF千果（タキイ種苗㈱）</p> <p>(2) SC7-040（㈱サカタのタネ） (5) サンチェリーピュア（トキタ種苗㈱）</p> <p>(3) キャロルクイーン（㈱サカタのタネ） (6) ラブリー藍（みかど協和㈱）</p>									
耕種概要	<p>1 は種月日 平成22年2月22日</p> <p>2 移植月日 平成22年3月12日（12cmポット）</p> <p>3 定植月日 平成22年4月6日</p> <p>4 栽植距離 ベッド幅120cm×株間40cm×2条・千鳥植え</p> <p>5 定植株数 320株/棟</p> <p>6 施肥量（温室1棟：165㎡）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資材名(成分比%)</th> <th></th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥（バーク堆肥）</td> <td>500kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>微生物資材</td> <td>62L</td> <td>ハイプロN</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる） （養液土耕肥料の使用による）</p> <p>8 収穫期間 平成22年6月上旬～10月下旬</p>	資材名(成分比%)		摘要	堆肥（バーク堆肥）	500kg		微生物資材	62L	ハイプロN
資材名(成分比%)		摘要								
堆肥（バーク堆肥）	500kg									
微生物資材	62L	ハイプロN								
調査項目	1 生育調査 2 収量調査 3 糖度調査									

施設野菜の部 No.14	
調査名	ミニトマトの抑制栽培における品種比較調査（平成14年度～22年度）
目的	当地域におけるミニトマト抑制栽培について品種比較し、栽培上の資料とする。
供用施設	ガラス温室6号（165㎡：約50坪）
調査区の構成	1 調査区 6区（1品種1区制5株） 2 供試品種 6品種
耕種概要	1 は種月日 平成22年6月上旬 2 定植月日 平成22年7月上旬 3 栽植距離 ベッド幅120cm×株間40cm×2条・千鳥植え 4 定植株数 320株/棟 5 施肥設計 土壌溶液EC濃度0.7～1.7（生育ステージによる） （養液土耕肥料の使用による） 6 収穫期間 平成22年9月上旬～11月下旬
調査項目	1 生育調査 2 収量調査 3 糖度調査

3-2 調査計画（露地野菜）

露地野菜の部 No. 1																																																														
調査名	ねぎの品種比較調査（新規：平成22年度～24年度）																																																													
目的	ハウスねぎを組み合わせたねぎの周年栽培を実施し、当地方における周年出荷の可能性及びねぎの適応品種について調査し栽培上の資料とする。																																																													
調査区の構成	ハウスねぎ：供試品種（4品種） 露地ねぎ：供試品種（10品種）																																																													
耕種概要	<table border="1"> <tr> <th>栽培方法</th> <th>ハウスねぎ</th> <th colspan="3">露地ねぎ</th> </tr> <tr> <td>供用施設</td> <td>パイプハウス12号(1a)</td> <td>12月1日</td> <td>4/上</td> <td>5/中</td> </tr> <tr> <td>は種月日</td> <td>11月2日</td> <td colspan="3">チエーンポットCP-303 (264穴)</td> </tr> <tr> <td>育苗方法</td> <td>プラグポット (220穴)</td> <td colspan="3">(7)夏扇4</td> </tr> <tr> <td>供試品種</td> <td>(1)K-905 (2)冬扇3号 (3)みちのく701号 (4)YO-810</td> <td>(1)K-904 (2)K-924 (3)夏扇パワー (4)みちのく701号 (5)MSI-856 (6)夏扇2</td> <td>(8)YO-810 (9)夏秋白扇5号 (10)おいらせ111</td> <td>※ 4/上、5/中は種について はSK1-24、W910も供試</td> </tr> <tr> <td>培土</td> <td colspan="4">ねぎの助</td> </tr> <tr> <td>定植月日</td> <td>2月10日</td> <td>3/下</td> <td>5/中</td> <td>6/中</td> </tr> <tr> <td>育苗日数</td> <td>100日</td> <td>120日</td> <td>45日</td> <td>30日</td> </tr> <tr> <td>植栽距離</td> <td>30×3.5cm×1</td> <td colspan="3">畦幅100cm×株間5cm×2本</td> </tr> <tr> <td>植付本数</td> <td>5,400本/a</td> <td colspan="3">40,000本/10a</td> </tr> <tr> <td>収穫月日</td> <td>6/下</td> <td>7/下</td> <td>9/中</td> <td>10/中</td> </tr> <tr> <td>施肥量</td> <td> 【元肥】 ねぎの糠き12kg (10-10-8) 新ぼかしみらい15kg (1.83-5.16-1.44) バーク堆肥300kg 【追肥】 大塚5号 8kg/a/5回 (12-20-20) 合計：2.43-4.47-2.78 </td> <td colspan="4"> 【元肥】 ハイパーCDU555 40kg/10a (15-15-15) 堆肥2t/10a 【追肥】 ハイパーCDU555 120kg/10a/3回(15-15-15) 合計：24-24-24/10a </td> </tr> </table>	栽培方法	ハウスねぎ	露地ねぎ			供用施設	パイプハウス12号(1a)	12月1日	4/上	5/中	は種月日	11月2日	チエーンポットCP-303 (264穴)			育苗方法	プラグポット (220穴)	(7)夏扇4			供試品種	(1)K-905 (2)冬扇3号 (3)みちのく701号 (4)YO-810	(1)K-904 (2)K-924 (3)夏扇パワー (4)みちのく701号 (5)MSI-856 (6)夏扇2	(8)YO-810 (9)夏秋白扇5号 (10)おいらせ111	※ 4/上、5/中は種について はSK1-24、W910も供試	培土	ねぎの助				定植月日	2月10日	3/下	5/中	6/中	育苗日数	100日	120日	45日	30日	植栽距離	30×3.5cm×1	畦幅100cm×株間5cm×2本			植付本数	5,400本/a	40,000本/10a			収穫月日	6/下	7/下	9/中	10/中	施肥量	【元肥】 ねぎの糠き12kg (10-10-8) 新ぼかしみらい15kg (1.83-5.16-1.44) バーク堆肥300kg 【追肥】 大塚5号 8kg/a/5回 (12-20-20) 合計：2.43-4.47-2.78	【元肥】 ハイパーCDU555 40kg/10a (15-15-15) 堆肥2t/10a 【追肥】 ハイパーCDU555 120kg/10a/3回(15-15-15) 合計：24-24-24/10a			
	栽培方法	ハウスねぎ	露地ねぎ																																																											
	供用施設	パイプハウス12号(1a)	12月1日	4/上	5/中																																																									
	は種月日	11月2日	チエーンポットCP-303 (264穴)																																																											
	育苗方法	プラグポット (220穴)	(7)夏扇4																																																											
	供試品種	(1)K-905 (2)冬扇3号 (3)みちのく701号 (4)YO-810	(1)K-904 (2)K-924 (3)夏扇パワー (4)みちのく701号 (5)MSI-856 (6)夏扇2	(8)YO-810 (9)夏秋白扇5号 (10)おいらせ111	※ 4/上、5/中は種について はSK1-24、W910も供試																																																									
	培土	ねぎの助																																																												
	定植月日	2月10日	3/下	5/中	6/中																																																									
	育苗日数	100日	120日	45日	30日																																																									
	植栽距離	30×3.5cm×1	畦幅100cm×株間5cm×2本																																																											
植付本数	5,400本/a	40,000本/10a																																																												
収穫月日	6/下	7/下	9/中	10/中																																																										
施肥量	【元肥】 ねぎの糠き12kg (10-10-8) 新ぼかしみらい15kg (1.83-5.16-1.44) バーク堆肥300kg 【追肥】 大塚5号 8kg/a/5回 (12-20-20) 合計：2.43-4.47-2.78	【元肥】 ハイパーCDU555 40kg/10a (15-15-15) 堆肥2t/10a 【追肥】 ハイパーCDU555 120kg/10a/3回(15-15-15) 合計：24-24-24/10a																																																												
調査項目	1 生育調査 2 収量調査 3 品質調査																																																													

露地野菜の部 No. 2																									
調査名	養液土耕によるピーマンの品種比較調査（新規：平成22年度～24年度）																								
目的	露地栽培において、は種期別の品種比較調査をし栽培上の資料とする。																								
調査区の構成	1 調査区 12区 (4品種×は種期3期) 2 供試品種 4品種 (1)かがやき (栃南国育種研究農場) (2)かがやきK (栃南国育種研究農場) (3)スーパーかがやき (栃南国育種研究農場) (4)TPX園大 (栃南国育種研究農場)																								
耕種概要	<table border="1"> <tr> <th>栽培方法</th> <th>トンネル栽培 (ポリトンネル)</th> <th>トンネル栽培 (バスライト)</th> <th>マルチ栽培 抑制/10月～被覆</th> </tr> <tr> <td>は種月日</td> <td>2月13日</td> <td>3月2日</td> <td>3月下旬</td> </tr> <tr> <td>定植月日</td> <td>4月下旬</td> <td>5月上旬</td> <td>5月下旬</td> </tr> <tr> <td>育苗日数</td> <td>70日</td> <td>60日</td> <td>60日</td> </tr> <tr> <td>収穫期間</td> <td>6/上～11/下</td> <td>6/中～11/下</td> <td>6/下～11/下</td> </tr> <tr> <td>栽植距離</td> <td colspan="3">畦幅150cm×株間50cm 1,300株/10a</td> </tr> </table> <p>土壌溶液濃度EC濃度 0.7～1.7(生育ステージによる) 施肥設計…大塚化学(株)製 養液土耕5号(12-20-20)、1号(15-8-16)使用</p>	栽培方法	トンネル栽培 (ポリトンネル)	トンネル栽培 (バスライト)	マルチ栽培 抑制/10月～被覆	は種月日	2月13日	3月2日	3月下旬	定植月日	4月下旬	5月上旬	5月下旬	育苗日数	70日	60日	60日	収穫期間	6/上～11/下	6/中～11/下	6/下～11/下	栽植距離	畦幅150cm×株間50cm 1,300株/10a		
	栽培方法	トンネル栽培 (ポリトンネル)	トンネル栽培 (バスライト)	マルチ栽培 抑制/10月～被覆																					
	は種月日	2月13日	3月2日	3月下旬																					
	定植月日	4月下旬	5月上旬	5月下旬																					
	育苗日数	70日	60日	60日																					
	収穫期間	6/上～11/下	6/中～11/下	6/下～11/下																					
	栽植距離	畦幅150cm×株間50cm 1,300株/10a																							
	合計成分量 (N-P-K=31-20-35kg/10a)	期間	窒素量 (g/株/日)	株数	1日当り窒素 必要量/定植 数 (g)	1日当り灌水 量/定植数 (ml)	原液倍率	ゲージ 倍率	倍率	期間中合 計 窒素量(g)	10a当たり 換算 (同左)														
	定植	4/下～(2/中は種)	10	0.07	40	2.8	40,833	7	250	1750	28	910													
		5/上～(3/上は種)	31	0.1	120	12	133,000	7	190	1330	372	4,030													
収穫	6/11～(2/中は種)	20	0.14	120	16.8	134,400	6	200	1200	336	3,640														
定植	6/上(3/下は種)		0.14	160	22.4	179,200	6	200	1200	0	0														
	7/1～8/31	62	0.17	160	27.2	217,600	6	200	1200	1,686	13,702														
	9/1～9/31	30	0.17	160	27.2	217,600	6	200	1200	843	6,851														
	10/1～10/30	31	0.17	160	27.2	217,600	6	200	1200	816	6,630														
	11/1～30	30	0.17	160	27.2	217,600	6	200	1200	816	6,630														
調査項目	1 生育調査 2 収量調査 3 品質調査																								

露地野菜の部 No. 3	
調 査 名	ながいもの追肥省略型肥料における施肥効果の調査（新規：平成22年度～24年度）
目 的	追肥時期の遅れによる秀品率低下の解消、追肥作業の省力化を図るため、追肥省略型肥料における品質・収量について調査し、栽培上の資料とする。
調 査 区 の 構 成	<p>1 調査区 6区（1品種×肥料：6種類）</p> <p>(1)慣行 (2)秋のごたえ7（太平物産） ※メーカー標準量 (3)秋のごたえ7（太平物産） ※N成分で慣行と同程度に施肥 (4)ハイパーCDU555 中期（コープケミカル） (5)スーパーロング 424-S70（旭化成ケミカルズ） (6)ハイパーCDU555 長期（コープケミカル）</p> <p>2 供試品種 南部太長（1年子 91g～120g）</p>
耕 種 概 要	<p>1 植付月日 平成22年5月中旬</p> <p>2 栽植距離 畦幅120cm×株間20cm</p> <p>3 植付本数 4,000本/10a</p> <p>4 施肥量 堆肥2t/10a</p> <p>(1) 慣行区 太平新長いも 80kg/10a(12-18-12) パワーリン 50kg/10a(30%) (追肥)くみあい燐硝安加里 S440 90kg/3回/10a 【合計】22.6-33.0-27.6kg/10a</p> <p>(2) 秋のごたえ7 300kg/10a(10-12-7有機40%) 【合計】30-36-21kg/10a</p> <p>(3) 秋のごたえ7 230kg/10a(10-12-7有機40%) 【合計】23-27.6-16.1kg/10a</p> <p>(4) ハイパーCDU555 中期 120kg/10a(15-15-15) (追肥)くみあい燐硝安加里 S440 30kg/1回/10a 【合計】22.2-19.2-24kg/10a</p> <p>(5) スーパーロング 424-S70 130kg/10a(14-12-14) (追肥)くみあい燐硝安加里 S440 30kg/1回/10a 【合計】22.4-16.8-24.2kg/10a</p> <p>(6) ハイパーCDU555 長期 150kg/10a(15-15-15) 【合計】22.5-22.5-22.5kg/10a</p> <p>5 収穫月日 平成22年11月下旬～</p>
調 査 項 目	1 生育調査 2 収量調査 3 品質調査

露地野菜の部 No. 4	
調査名	ながいも年子の違いによる内部品質調査 (平成 21 年度～23 年度)
目的	種いもの種類 (1 年子、2 年子) 別による、成いも内部品質について調査し、栽培上の資料とする。
調査区の構成	1 調査区 2 区 (1 年子、2 年子) 2 供試品種 遠藤系
耕種概要	1 植付月日 平成 22 年 5 月中旬 2 栽植距離 畦幅 120 cm×株間 15 cm (角目ネット使用) 3 植付本数 5,333 本/10a 4 施肥量 堆肥 2t/10a (基肥) 太平新長いも 80kg/10a(12-18-12) パワーリン 50kg/10a(30%) (追肥) くみあい磷硝安加里 S440 120kg/3 回/10a(14-4-20) 【合計】 22.6-33.0-27.6kg/10a 5 収穫月日 平成 22 年 11 月下旬
調査項目	1 収量・品質調査 2 糖度調査 3 乾物率調査 4 粘度調査

露地野菜の部 No. 5	
調査名	ながいもの品種比較調査 (平成 18 年度～22 年度)
目的	当地方で栽培されているながいもの品種・系統について品種比較調査をし、栽培上の資料とする。
調査区の構成	1 調査区 12 区 (4 品種×株間 3 種類) 2 供試品種 1 年子 91g～120g (1)遠藤系 (2)庄司系 (3)園試系 6 (4)園試系短 8 号
耕種概要	1 植付月日 平成 22 年 5 月中旬 2 栽植距離 畦幅 120 cm×株間 24、20、15 cm 3 植付本数 3,333 本、4,000 本、5,333 本/10a 4 施肥量 堆肥 2t/10a (基肥) 太平新長いも 80kg/10a(12-18-12) パワーリン 50kg/10a(30%) (追肥) くみあい磷硝安加里 S440 120kg/3 回/10a(14-4-20) 【合計】 22.6-33.0-27.6kg/10a 5 収穫月日 平成 22 年 11 月下旬
調査項目	1 生育調査 2 収量調査 3 品質調査

露地野菜の部 No. 6	
調 査 名	にんにくの品種・種子重量別調査（平成 18 年度～22 年度）
目 的	当地方におけるにんにくの適応品種及び種子重量別収量について調査し、栽培上の資料とする。
調 査 区 の 構 成	1 調査区 12 区（4 品種×種子重別：3 種類） 2 供試品種 (1) 福地ホワイト (八戸産) (2) 福地ホワイト (田子産) (3) エム・ジー・エス (住友化学) (4) エム・ジー・エス (バイオ由来) 3 種子重量 小(8.0g～12.0g) 中(12.1g～16.0g) 大(16.1g～)
耕 種 概 要	1 栽培方法 マルチ栽培（コーターコンビ・グリーン） 2 植付月日 平成 21 年 10 月 19 日 3 栽植距離 畦幅 150 cm×株間 17 cm×条間 25 cm×4 条 4 植付本数 14,500 片/10a 5 施肥量 堆肥 3t/10a サイトニンエース Z 90kg/10a (元肥) 大玉宣言 250kg/10a(10-14-8) (追肥) 葉面散布 (4 回) 【合計】 25-35-20kg/10a 6 収穫月日 平成 22 年 6 月下旬
調 査 項 目	1 生育調査 2 収量調査 3 品質調査 4 病害調査

3-3 調査計画（花き）

花きの部 No.1																															
調査名	エラータム系デルフィニウムの周年栽培調査（新規：平成22年度～24年度）																														
目的	当地域におけるエラータム系品種の特性を把握するため、据え置き栽培について調査し、栽培上の資料とする。																														
供用施設	パイプハウス9号（99㎡：約30坪）																														
調査区の構成	1 調査区 5 区（1品種1区制10株） 2 供試品種 5 品種																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品種名</th> <th>花色</th> <th>会社名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ブルースピアー</td> <td>青</td> <td>青森県</td> <td>種子系</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>マジックフオンテンブルーイン[®]</td> <td>青</td> <td>(株)ミヨシ</td> <td>種子系</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>パシフィックジャイアントブルーハート[®]</td> <td>青</td> <td>福花園種苗(株)</td> <td>種子系</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>オーロラブルーイン[®]</td> <td>青</td> <td>タキイ種苗(株)</td> <td>種子系</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>青フラ交De14号</td> <td>青</td> <td>青森県</td> <td>種子系</td> </tr> </tbody> </table>	No.	品種名	花色	会社名	備考	1	ブルースピアー	青	青森県	種子系	2	マジックフオンテンブルーイン [®]	青	(株)ミヨシ	種子系	3	パシフィックジャイアントブルーハート [®]	青	福花園種苗(株)	種子系	4	オーロラブルーイン [®]	青	タキイ種苗(株)	種子系	5	青フラ交De14号	青	青森県	種子系
	No.	品種名	花色	会社名	備考																										
	1	ブルースピアー	青	青森県	種子系																										
	2	マジックフオンテンブルーイン [®]	青	(株)ミヨシ	種子系																										
	3	パシフィックジャイアントブルーハート [®]	青	福花園種苗(株)	種子系																										
4	オーロラブルーイン [®]	青	タキイ種苗(株)	種子系																											
5	青フラ交De14号	青	青森県	種子系																											
1 は種時期	平成22年 2月22日																														
2 定植時期	平成22年 4月上旬																														
3 栽植距離	ベツト幅80cm、株間20cm、条間20cm、4条植え（1,080株/a）																														
4 採花期間	平成22年 6月下旬～																														
5 使用資材	20cm×4目フラワーネット、メガクール(遮光フィルム) カビ取りマッセ、ケイントップ（有機質資材）20kg																														
6 施肥量	バーク堆肥100kg、トリオ有機S048号10kg (N:P:K=1.0:0.4:0.8kg/a)																														
調査項目	1 生育調査 2 開花調査 3 切り花調査																														

花きの部 No.2																																				
調 査 名	アルストロメリアの新品種比較調査 (平成 20 年度～22 年度)																																			
目 的	当地域の夏季冷涼な気候を利用し、周年生産が可能と考えられる品目として有望なアルストロメリアの新品種について、比較調査を行い品種の特性を把握し、栽培上の資料とする。																																			
供 用 施 設	パイプハウス 1号 (132 m ² : 約 40 坪)																																			
調査区の構成	1 調査区 6 区 (1品種 1区制 9株) 2 供試品種 6 品種																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品種名</th> <th>花色</th> <th>会社名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>レベッカ</td> <td>白に赤班</td> <td>RoyalVanZanten</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>カルタヘナ</td> <td>紫</td> <td>Hilverda</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ハッピーフィート</td> <td>桃</td> <td>Hilverda</td> <td>覆輪・スポットレス</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>セルビノ</td> <td>赤</td> <td>Hilverda</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ハワイアンドリーム</td> <td>紫</td> <td>Hilverda</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>オライオン</td> <td>黄</td> <td>Hilverda</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No.	品種名	花色	会社名	備考	1	レベッカ	白に赤班	RoyalVanZanten	標準	2	カルタヘナ	紫	Hilverda		3	ハッピーフィート	桃	Hilverda	覆輪・スポットレス	4	セルビノ	赤	Hilverda		5	ハワイアンドリーム	紫	Hilverda		6	オライオン	黄	Hilverda	
	No.	品種名	花色	会社名	備考																															
	1	レベッカ	白に赤班	RoyalVanZanten	標準																															
	2	カルタヘナ	紫	Hilverda																																
	3	ハッピーフィート	桃	Hilverda	覆輪・スポットレス																															
	4	セルビノ	赤	Hilverda																																
5	ハワイアンドリーム	紫	Hilverda																																	
6	オライオン	黄	Hilverda																																	
1 定植時期	平成20年6月30日																																			
2 仕立て法	草丈70cm未満、小花数・蕾数共に3個以下の花茎を花梗から摘蕾及び 適宜間引き																																			
3 栽植距離	ベツ幅70cm、株間30cm、1条植え (300株/a)																																			
4 加温期間	平成22年10月下旬～ (最低温度 3度)																																			
5 使用資材	[フラワーネット] 10cm×8目 (1段目)、18cm×4目 (2～4段目)																																			
施肥量	大塚化学養液土耕 3号 20kg/132m ² (N : P : K=2.25 : 2.25 : 2.25kg/a)																																			
調 査 項 目	1 生育調査 2 開花調査 3 切り花調査																																			

花きの部 No.4	
調 査 名	秋菊の栽培調査(11月出し)(平成20年度～22年度)
目 的	当地域における白輪菊の特性を把握するため、開花時期及び切り花品質について調査し栽培上の資料とする。
供 用 施 設	パイプハウス12号(99㎡:約30坪)
調 査 区 の 構 成	1 調査区 3 区 (1品種 1区制 30株) 2 供試品種 3 品種
	<hr/>
	No. 品種・系統名 備考
	1 神馬2号・長崎2 長崎県農試選抜 2 新神2 鹿児島県育成 3 神馬(標準)
耕 種 概 要	1 採穂時期 平成22年 8月上旬 2 定植時期 平成22年 8月中旬、下旬 3 仕立て法 無摘心 4 栽植距離 ベット幅45cm、株間15cm、条間15cm、1マス3本の2条植え(3,600本/㎡) 5 電照期間 平成22年 8月中旬～(22時～2時:深夜暗期中断 4時間) 草丈65cmで消灯 6 採花期間 平成22年11月下旬～ 7 加温期間 平成22年10月上旬～(最低温度 13度) 8 使用資材 15cm×3目フラワーネット、オキシベロン液剤、 ビーナイン水和剤80、ケイントップ(有機質資材)60kg、 ハイプロN(微生物資材)15kg、バイオテックライト 9 施肥量 バーク堆肥 200kg、トリオ有機S048号 10kg/99㎡ (N:P:K=1.0:0.4:0.8kg/a)
調 査 項 目	1 生育調査 2 開花調査 3 切り花調査

花きの部 No.5																															
調 査 名	ハボタン（切花）の栽培調査（平成20年度～22年度）																														
目 的	近年、灯油の高騰が著しく、冬期間のハウスで栽培する品目の選定が求められているところである。そこで冬期間のハウスの有効利用を図るため、無加温での栽培が可能であるハボタンについて、調査し栽培上の資料とする。																														
供 用 施 設	パイプハウス5号（132㎡：約40坪）																														
調 査 区 の 構 成	1 調査区 5 区（1品種1区制10株） 2 供試品種 5 品種																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品種名</th> <th>花色</th> <th>会社名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>晴姿（標準）</td> <td>白</td> <td>タキイ種苗㈱</td> <td>立性</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>紅寿2号</td> <td>濃紅</td> <td>㈱ミヨシ</td> <td>立性</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ウィンターチェリー</td> <td>淡紅</td> <td>タキイ種苗㈱</td> <td>立性</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>紅神楽</td> <td>淡紅</td> <td>㈱ムラカミシード</td> <td>中間タイプ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>雪神楽</td> <td>白</td> <td>㈱ムラカミシード</td> <td>中間タイプ</td> </tr> </tbody> </table>	No.	品種名	花色	会社名	備考	1	晴姿（標準）	白	タキイ種苗㈱	立性	2	紅寿2号	濃紅	㈱ミヨシ	立性	3	ウィンターチェリー	淡紅	タキイ種苗㈱	立性	4	紅神楽	淡紅	㈱ムラカミシード	中間タイプ	5	雪神楽	白	㈱ムラカミシード	中間タイプ
	No.	品種名	花色	会社名	備考																										
	1	晴姿（標準）	白	タキイ種苗㈱	立性																										
	2	紅寿2号	濃紅	㈱ミヨシ	立性																										
	3	ウィンターチェリー	淡紅	タキイ種苗㈱	立性																										
4	紅神楽	淡紅	㈱ムラカミシード	中間タイプ																											
5	雪神楽	白	㈱ムラカミシード	中間タイプ																											
1 は種時期	平成22年 8月上旬																														
2 定植時期	平成22年 8月下旬																														
3 栽植距離	ベツ幅80cm、株間10cm、条間10cm、6条植え（中2条抜き）（3,240本/a）																														
4 採花期間	平成22年12月上旬																														
5 使用資材	セルトレイ 200穴																														
6 施肥量	トリオ有機S048 10kg/132㎡ (N:P:K = 0.75:0.3:0.6 kg/a)																														
調 査 項 目	1 生育調査 2 開花調査 3 切り花調査																														

花きの部 No.6																																																																																																																															
調 査 名	トルコギキョウの品種比較調査 (8月出荷) (平成7年度～26年度)																																																																																																																														
目 的	8月出し栽培におけるトルコギキョウの品種について比較調査し、栽培上の資料とする。																																																																																																																														
供 用 施 設	パイプハウス5号棟 (132㎡:約40坪)																																																																																																																														
調査区の構成	1 調査区 20区 (1品種1区制10株) 2 供試品種 20品種																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品 種 名</th> <th>早晩性</th> <th>花色</th> <th>花径</th> <th>会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>トレーシー</td><td>中生</td><td>紫</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>2</td><td>バルカングリーン</td><td>中早生</td><td>緑</td><td>中小輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>3</td><td>セレスマリン</td><td>中早生</td><td>紫・覆輪</td><td>小輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>4</td><td>セレスグリーン</td><td>中早生</td><td>緑</td><td>小輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>5</td><td>ブランシュール</td><td>中早～中生</td><td>純白・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>6</td><td>バルカンホワイト</td><td>中生</td><td>白</td><td>中小輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>7</td><td>バルカンマリン</td><td>中生</td><td>紫・覆輪</td><td>中小輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>8</td><td>バルカンバイオレット</td><td>中生</td><td>紫</td><td>中小輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>9</td><td>エバーパープルピコティ</td><td>中生</td><td>紫・覆輪</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>10</td><td>グリーンゲイブルス</td><td>中生</td><td>緑・八重</td><td>中大輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>11</td><td>エバーピンクピコティ</td><td>中生</td><td>桃・覆輪</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>12</td><td>リップブルーミスト</td><td>中生</td><td>紫・緋</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>13</td><td>マリアージュ</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>14</td><td>ダイヤモンドピーチ</td><td>中生</td><td>桃・覆輪・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>15</td><td>紫音</td><td>中生</td><td>紫・覆輪</td><td>中大輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>16</td><td>アルベールスノー</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>17</td><td>アルベールホワイト</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>18</td><td>ブーケホワイト</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>19</td><td>ブーケグリーン</td><td>中生</td><td>緑・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>20</td><td>ブーケブルーフラッシュ</td><td>中生</td><td>紫・緋・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> </tbody> </table>	No.	品 種 名	早晩性	花色	花径	会社名	1	トレーシー	中生	紫	中輪	福花園種苗(株)	2	バルカングリーン	中早生	緑	中小輪	タキイ種苗(株)	3	セレスマリン	中早生	紫・覆輪	小輪	(株)ミヨシ	4	セレスグリーン	中早生	緑	小輪	(株)ミヨシ	5	ブランシュール	中早～中生	純白・八重	中大輪	(株)ミヨシ	6	バルカンホワイト	中生	白	中小輪	タキイ種苗(株)	7	バルカンマリン	中生	紫・覆輪	中小輪	タキイ種苗(株)	8	バルカンバイオレット	中生	紫	中小輪	タキイ種苗(株)	9	エバーパープルピコティ	中生	紫・覆輪	中輪	福花園種苗(株)	10	グリーンゲイブルス	中生	緑・八重	中大輪	福花園種苗(株)	11	エバーピンクピコティ	中生	桃・覆輪	中輪	福花園種苗(株)	12	リップブルーミスト	中生	紫・緋	中輪	福花園種苗(株)	13	マリアージュ	中生	白・八重	中大輪	(株)ミヨシ	14	ダイヤモンドピーチ	中生	桃・覆輪・八重	中大輪	(株)ミヨシ	15	紫音	中生	紫・覆輪	中大輪	カネコ種苗(株)	16	アルベールスノー	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード	17	アルベールホワイト	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード	18	ブーケホワイト	中生	白・八重	中大輪	(株)ムラカミシード	19	ブーケグリーン	中生	緑・八重	中大輪	(株)ムラカミシード	20	ブーケブルーフラッシュ	中生	紫・緋・八重	中大輪	(株)ムラカミシード
	No.	品 種 名	早晩性	花色	花径	会社名																																																																																																																									
	1	トレーシー	中生	紫	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																									
	2	バルカングリーン	中早生	緑	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																									
	3	セレスマリン	中早生	紫・覆輪	小輪	(株)ミヨシ																																																																																																																									
	4	セレスグリーン	中早生	緑	小輪	(株)ミヨシ																																																																																																																									
	5	ブランシュール	中早～中生	純白・八重	中大輪	(株)ミヨシ																																																																																																																									
	6	バルカンホワイト	中生	白	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																									
	7	バルカンマリン	中生	紫・覆輪	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																									
	8	バルカンバイオレット	中生	紫	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																									
	9	エバーパープルピコティ	中生	紫・覆輪	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																									
	10	グリーンゲイブルス	中生	緑・八重	中大輪	福花園種苗(株)																																																																																																																									
	11	エバーピンクピコティ	中生	桃・覆輪	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																									
	12	リップブルーミスト	中生	紫・緋	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																									
	13	マリアージュ	中生	白・八重	中大輪	(株)ミヨシ																																																																																																																									
	14	ダイヤモンドピーチ	中生	桃・覆輪・八重	中大輪	(株)ミヨシ																																																																																																																									
	15	紫音	中生	紫・覆輪	中大輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																									
	16	アルベールスノー	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																									
	17	アルベールホワイト	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																									
	18	ブーケホワイト	中生	白・八重	中大輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																									
	19	ブーケグリーン	中生	緑・八重	中大輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																									
	20	ブーケブルーフラッシュ	中生	紫・緋・八重	中大輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																									
	耕 種 概 要	1 播種時期 平成22年2月16日																																																																																																																													
2 定植時期 平成22年4月上旬																																																																																																																															
3 栽植距離 ベット幅10cm、株間10cm、条間10cm、8条植え(中3条抜き) (4,300本/)																																																																																																																															
4 採花期間 平成22年8月上旬～																																																																																																																															
5 使用資材 セルトレイ 288穴、10cm×11目フラワーネット、 白黒ダブルマルチ、ネニソイル 15kg (微生物資材)																																																																																																																															
6 施肥量 バーク堆肥200kg、 大塚化学養夜土耕5号 1.7kg、2号 5.7kg/132㎡ (N:P:K=0.9:0.7:1.7kg/a)																																																																																																																															
結 果 の 概 要	1 生育調査 2 開花調査 3 切り花調査																																																																																																																														

花きの部 No.7																																																																																																																																											
調 査 名	トルコギキョウの品種比較調査 (9月出荷) (平成12年度～26年度)																																																																																																																																										
目 的	9月出し栽培におけるトルコギキョウの品種について比較調査し、栽培上の資料とする。																																																																																																																																										
供 用 施 設	パイプハウス2号棟 (132㎡:約40坪)																																																																																																																																										
調査区の構成	1 調査区 22区 (1品種1区制10株) 2 供試品種 22品種																																																																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>品 種 名</th> <th>早晚性</th> <th>花 色</th> <th>花 径</th> <th>会 社 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>トレーシー</td><td>中生</td><td>紫</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>2</td><td>グリーンゲイブルス</td><td>中生</td><td>緑・八重</td><td>中大輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>3</td><td>エバーピンクピコティ</td><td>中生</td><td>桃・覆輪</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>4</td><td>リップブルーミスト</td><td>中生</td><td>紫・緋</td><td>中輪</td><td>福花園種苗(株)</td></tr> <tr><td>5</td><td>マリアージュ</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>6</td><td>ダイヤモンドピーチ</td><td>中生</td><td>桃・覆輪・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>7</td><td>バルカンホワイト</td><td>中生</td><td>白</td><td>中小輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>8</td><td>バルカンマリン</td><td>中生</td><td>紫・覆輪</td><td>中小輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>9</td><td>紫音</td><td>中生</td><td>紫・覆輪</td><td>中大輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>10</td><td>アルベールスノー</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>11</td><td>アルベールホワイト</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>12</td><td>ブーケホワイト</td><td>中生</td><td>白・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>13</td><td>ブーケグリーン</td><td>中生</td><td>緑・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>14</td><td>ブーケブルーフラッシュ</td><td>中生</td><td>紫・緋・八重</td><td>中大輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> <tr><td>15</td><td>パレオアプリコット</td><td>中晩生</td><td>杏・八重</td><td>大輪</td><td>タキイ種苗(株)</td></tr> <tr><td>16</td><td>イエローダンス</td><td>中晩生</td><td>黄・フジ・八重</td><td>大輪</td><td>(株)ミヨシ</td></tr> <tr><td>17</td><td>ハーレスピンク</td><td>中晩生</td><td>濃桃・緋・八重</td><td>中輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>18</td><td>パルスィート</td><td>中晩生</td><td>桃・緋・八重</td><td>中輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>19</td><td>アンジェリケ</td><td>中晩生</td><td>濃桃・緋・八重</td><td>中大輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>20</td><td>プチハートブルー</td><td>晩生</td><td>純白</td><td>小輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>21</td><td>プチハートホワイト</td><td>晩生</td><td>濃紫</td><td>小輪</td><td>カネコ種苗(株)</td></tr> <tr><td>22</td><td>ジュエリースノー</td><td>晩生</td><td>白・八重</td><td>大輪</td><td>(株)ムラカミシード</td></tr> </tbody> </table>	No.	品 種 名	早晚性	花 色	花 径	会 社 名	1	トレーシー	中生	紫	中輪	福花園種苗(株)	2	グリーンゲイブルス	中生	緑・八重	中大輪	福花園種苗(株)	3	エバーピンクピコティ	中生	桃・覆輪	中輪	福花園種苗(株)	4	リップブルーミスト	中生	紫・緋	中輪	福花園種苗(株)	5	マリアージュ	中生	白・八重	中大輪	(株)ミヨシ	6	ダイヤモンドピーチ	中生	桃・覆輪・八重	中大輪	(株)ミヨシ	7	バルカンホワイト	中生	白	中小輪	タキイ種苗(株)	8	バルカンマリン	中生	紫・覆輪	中小輪	タキイ種苗(株)	9	紫音	中生	紫・覆輪	中大輪	カネコ種苗(株)	10	アルベールスノー	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード	11	アルベールホワイト	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード	12	ブーケホワイト	中生	白・八重	中大輪	(株)ムラカミシード	13	ブーケグリーン	中生	緑・八重	中大輪	(株)ムラカミシード	14	ブーケブルーフラッシュ	中生	紫・緋・八重	中大輪	(株)ムラカミシード	15	パレオアプリコット	中晩生	杏・八重	大輪	タキイ種苗(株)	16	イエローダンス	中晩生	黄・フジ・八重	大輪	(株)ミヨシ	17	ハーレスピンク	中晩生	濃桃・緋・八重	中輪	カネコ種苗(株)	18	パルスィート	中晩生	桃・緋・八重	中輪	カネコ種苗(株)	19	アンジェリケ	中晩生	濃桃・緋・八重	中大輪	カネコ種苗(株)	20	プチハートブルー	晩生	純白	小輪	カネコ種苗(株)	21	プチハートホワイト	晩生	濃紫	小輪	カネコ種苗(株)	22	ジュエリースノー	晩生	白・八重	大輪	(株)ムラカミシード
	No.	品 種 名	早晚性	花 色	花 径	会 社 名																																																																																																																																					
	1	トレーシー	中生	紫	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																																					
	2	グリーンゲイブルス	中生	緑・八重	中大輪	福花園種苗(株)																																																																																																																																					
	3	エバーピンクピコティ	中生	桃・覆輪	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																																					
	4	リップブルーミスト	中生	紫・緋	中輪	福花園種苗(株)																																																																																																																																					
	5	マリアージュ	中生	白・八重	中大輪	(株)ミヨシ																																																																																																																																					
	6	ダイヤモンドピーチ	中生	桃・覆輪・八重	中大輪	(株)ミヨシ																																																																																																																																					
	7	バルカンホワイト	中生	白	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																																					
	8	バルカンマリン	中生	紫・覆輪	中小輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																																					
	9	紫音	中生	紫・覆輪	中大輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																					
	10	アルベールスノー	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																					
	11	アルベールホワイト	中生	白・八重	中輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																					
	12	ブーケホワイト	中生	白・八重	中大輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																					
	13	ブーケグリーン	中生	緑・八重	中大輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																					
	14	ブーケブルーフラッシュ	中生	紫・緋・八重	中大輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																					
	15	パレオアプリコット	中晩生	杏・八重	大輪	タキイ種苗(株)																																																																																																																																					
	16	イエローダンス	中晩生	黄・フジ・八重	大輪	(株)ミヨシ																																																																																																																																					
	17	ハーレスピンク	中晩生	濃桃・緋・八重	中輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																					
	18	パルスィート	中晩生	桃・緋・八重	中輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																					
	19	アンジェリケ	中晩生	濃桃・緋・八重	中大輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																					
	20	プチハートブルー	晩生	純白	小輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																					
	21	プチハートホワイト	晩生	濃紫	小輪	カネコ種苗(株)																																																																																																																																					
	22	ジュエリースノー	晩生	白・八重	大輪	(株)ムラカミシード																																																																																																																																					
	耕 種 概 要	1 は種時期 平成22年 3月19日																																																																																																																																									
		2 育苗方法 セルトレイに播種、吸水後、6℃暗黒条件下にて35日間冷蔵処理、その後普通育苗																																																																																																																																									
3 定植時期 平成22年 5月下旬																																																																																																																																											
4 栽植距離 ベット幅110cm、株間10cm、条間10cm、8条植え (中3条抜き) (4,300本/a)																																																																																																																																											
5 短日処理 定植2週間後から30日間 (17時～8時)																																																																																																																																											
6 採花期間 平成22年 9月中旬～																																																																																																																																											
7 使用資材 10cm×11目フラワーネット、白黒ダブルマルチ、メガクール(遮光フィルム)、エクセルソイル(育苗培土) 288穴、ネニソイル(微生物資材) 15kg																																																																																																																																											
8 施肥量 バーク堆肥200kg、大塚化学養液土耕 5号 1.7kg、2号 5.7kg/132㎡ (N:P:K=0.9:0.7:1.7 kg/a)																																																																																																																																											
調 査 項 目	1 生育調査 2 開花調査 3 切り花調査																																																																																																																																										

3-4 土壌分析

<p>目的</p>	<p>農業者及び農業団体から依頼された土壌を分析し、土壌改良の資料とする。</p> <p>また、当市において、産地形成されている地域のモデルとなる地点を定点観測地点に設定し、土壌分析を行ない、土壌改良の資料とする。</p>																																																																		
<p>分析項目</p>	<p>(1) pH (H₂O・KCl)</p> <p>(2) EC (電気伝導度)</p> <p>(3) 有効態リン酸</p> <p>(4) リン酸吸収係数</p> <p>(5) CEC (塩基置換容量)</p> <p>(6) 置換性カルシウム</p> <p>(7) 置換性マグネシウム</p> <p>(8) 置換性カリウム</p> <p>(9) 水分</p>																																																																		
<p>定点観測地点の概要</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th colspan="2">地点数</th> <th colspan="2">対象作物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市川地区</td> <td colspan="2">11</td> <td>いちご</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>下長地区</td> <td colspan="2">3</td> <td>花き</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上長地区</td> <td rowspan="2">2</td> <td>1</td> <td>ながいも</td> <td>露地</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>食用菊</td> <td>露地</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">豊崎地区</td> <td rowspan="3">3</td> <td>1</td> <td>にんにく</td> <td>露地</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ピーマン</td> <td>露地</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ながいも</td> <td>露地</td> </tr> <tr> <td>館地区</td> <td colspan="2">6</td> <td>ミニトマト</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">是川地区</td> <td rowspan="3">7</td> <td>2</td> <td>ねぎ</td> <td>露地</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ながいも</td> <td>露地</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>きゅうり</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">南郷地区</td> <td rowspan="3">6</td> <td>1</td> <td>トマト</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>きゅうり</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>そば</td> <td>露地</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>農園</td> <td>露地</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	地点数		対象作物		市川地区	11		いちご	施設	下長地区	3		花き	施設	上長地区	2	1	ながいも	露地	1	食用菊	露地	豊崎地区	3	1	にんにく	露地	1	ピーマン	露地	1	ながいも	露地	館地区	6		ミニトマト	施設	是川地区	7	2	ねぎ	露地	1	ながいも	露地	4	きゅうり	施設	南郷地区	6	1	トマト	施設	1	きゅうり	施設	2	そば	露地			2	農園	露地
地区名	地点数		対象作物																																																																
市川地区	11		いちご	施設																																																															
下長地区	3		花き	施設																																																															
上長地区	2	1	ながいも	露地																																																															
		1	食用菊	露地																																																															
豊崎地区	3	1	にんにく	露地																																																															
		1	ピーマン	露地																																																															
		1	ながいも	露地																																																															
館地区	6		ミニトマト	施設																																																															
是川地区	7	2	ねぎ	露地																																																															
		1	ながいも	露地																																																															
		4	きゅうり	施設																																																															
南郷地区	6	1	トマト	施設																																																															
		1	きゅうり	施設																																																															
		2	そば	露地																																																															
		2	農園	露地																																																															

3-5 植物組織培養

1 優良種苗の増殖計画

- (1) にんにく・・・(1品種、培養予定)
- (2) いちご・・・(4品種、培養予定)
- (3) デルフィニウム・・・(2品種、培養予定)
- (4) 食用菊・・・(4品種、培養予定)

2 優良種苗の配布計画

デルフィニウムの苗については、市内の花き生産農家からの要望に応じて随時順化後、配布予定。

3-6 市民農園設置事業

目的	自然環境の中で市民が家族ぐるみによる農業体験を通じて、農業知識の向上並びに農業に対する理解を深めてもらうために実施する。
場所	八戸市農業交流研修センター内
期間	平成22年4月18日～平成22年11月19日まで
面積及び募集区画数	1区画当たり33㎡、280区画
対象	八戸市民（1世帯1区画）
使用料	2,500円（1区画）
主要施設	休憩所（1ヶ所） トイレ（2基） 電話（1台） 農業用水道（6ヶ所） 駐車場（1ヶ所 1,000㎡）

3-7 農業体験学習

目的	小学生等の食育の一環として、農作物を育て、収穫する喜びを体験し、農業及び食物に対する理解を深めてもらうため、農業体験の場を提供する。
計画	<ol style="list-style-type: none">1 鷗盟大学（園芸科1学年、2学年） 平成22年4月下旬から11月下旬 じゃがいも等の栽培指導 （畝作り、植付、管理、収穫）2 小学校等への出張指導 作物の植付けから収穫までの指導3 幼稚園、小学校等を対象に体験学習 作物の植付け（種まき）、管理、収穫の体験 八戸の農業についての勉強

発行：八戸市農業交流研修センター（平成 22 年 5 月）

〒番号	039-1101
住 所	青森県八戸市大字尻内町字毛合清水 29
電 話	0178-27-9163
F A X	0178-27-9166
E-mail	noken@city.hachinohe.aomori.jp